８．占冠ＰＡアクセス路橋

図　面　目　録

占冠ＰＡアクセス路橋上部工設計図

図面番号	図　　面　　名
１	数量総括表
２～３	橋梁一般図（その１～２）
４	上部工構造一般図
５～６	線形図（その１～２）
７	支承配置図
８～９	断面構成図（その１～２）
１０～１２	共通詳細図（その１～３）
１３～１６	主桁Ｇ１（その１～４）
１７～２０	主桁Ｇ２（その１～４）
２１～２４	横桁図（その１～４）
２５～２６	スタッドジベル配置図（その１～２）
２７～３４	巻き立てコンクリート図（その１～８）
３５	ＰＣ鋼材配置図
３６～３７	床版配筋図（その１～２）
３８	壁高欄配筋図
３９～４１	支承詳細図（その１～３）
４２～４３	伸縮装置図（その１～２）
４４	排水装置詳細図
４５	橋名板・橋歴板
４６～４７	段差防止配置図（その１～２）
４８	コンクリート表面被覆工詳細図

占冠ＰＡアクセス路橋下部工設計図

図面番号	図　　面　　名
４９～５０	Ａ１橋台構造一般図（その１～２）
５１～５２	Ａ１橋台配筋図（その１～２）
５３	Ｐ１橋脚構造一般図
５４～５５	Ａ２橋台構造一般図（その１～２）
５６～５７	Ａ２橋台配筋図（その１～２）

占冠ＰＡアクセス路橋 数量総括表

項　目	種　別			単位	数　量	摘　要
コンクリート	A1-1			m3	20.0	巻き立てコンクリート部(σck=30N/mm2)
	A1-4			m3	68.2	壁高欄部(σck=30N/mm2)
	P2-2			m3	186.9	床版部(σck=40N/mm2)
	合計			m3	271.6	
型わく	A	床版部		m2	583.6	床版部
		床版部以外		m2	574.8	壁高欄部、巻き立てコンクリート部
	合計			m2	1158.4	
鉄筋	A	床版部	D13	t	0.000	SD345、重ね継手
			D16～D25	t	33.527	SD345、重ね継手
			合計	t	33.527	SD345、重ね継手
		床版以外	D13	t	0.338	SD345、重ね継手
			D16～D25	t	0.418	SD345、重ね継手
			合計	t	0.756	SD345、重ね継手
	A(E)	床版部	D13	t	10.673	SD345、重ね継手、エポキシ樹脂塗装鉄筋
			D16～D25	t	0.000	SD345、重ね継手、エポキシ樹脂塗装鉄筋
			合計	t	10.673	SD345、重ね継手、エポキシ樹脂塗装鉄筋
		床版以外	D13	t	9.303	SD345、重ね継手、エポキシ樹脂塗装鉄筋
			D16～D25	t	1.048	SD345、重ね継手、エポキシ樹脂塗装鉄筋
			合計	t	10.351	SD345、重ね継手、エポキシ樹脂塗装鉄筋
PC鋼材	PC鋼より線 (1S28.6)S			kg	5133	プレグラウトPC鋼材
鋼構造物の製作	製作材料費(鋼板) A			t	8.123	SS400,SM400
	製作材料費(鋼板) B			t	85.513	SM490,SM490Y,SM520
	製作材料費(形鋼) A			t	5.056	SS400
	製作材料費(スタッドジベル)			t	1.798	
	大型部材の製作			個	57	主桁、横桁のフランジ、ウェブ
				t	75.660	
	小型部材の製作			個	519	補剛材,ブラケット,仕口等
				t	17.976	
	中間横桁部材の製作			個	9	中間横桁のH形鋼
				t	5.056	
	Ｔ継手溶接工			m	688	主桁、横桁等のフランジ、ウェブ同士のT継手溶接実長
鋼構造物の防錆	C-5			m2	1319.2	全塗装面積
鋼構造物の輸送	鋼橋の輸送			t	100.197	
鋼構造物の架設	鋼橋の架設			t	100.197	
	鋼橋の現場溶接工			m	48.8	平均板厚15mm
	高力ボルト本締工			t	0.908	高力ボルト組数 S10T (1616)組
支承	E-12			箇所	2	ゴムを主材料とした支承(A1)
	E-13			箇所	2	ゴムを主材料とした支承(P1)
	E-14			箇所	2	ゴムを主材料とした支承(A2)
伸縮装置	E(S=116mm)			m	16.0	製品ジョイントで金属を主材料としたもの
排水装置	排水ますA1			箇所	20	ガラス繊維強化熱硬化性樹脂、753×333×450
橋名板	-			箇所	1	
橋歴板	-			箇所	1	
表面保護工	コンクリート表面被覆工			m2	162.2	

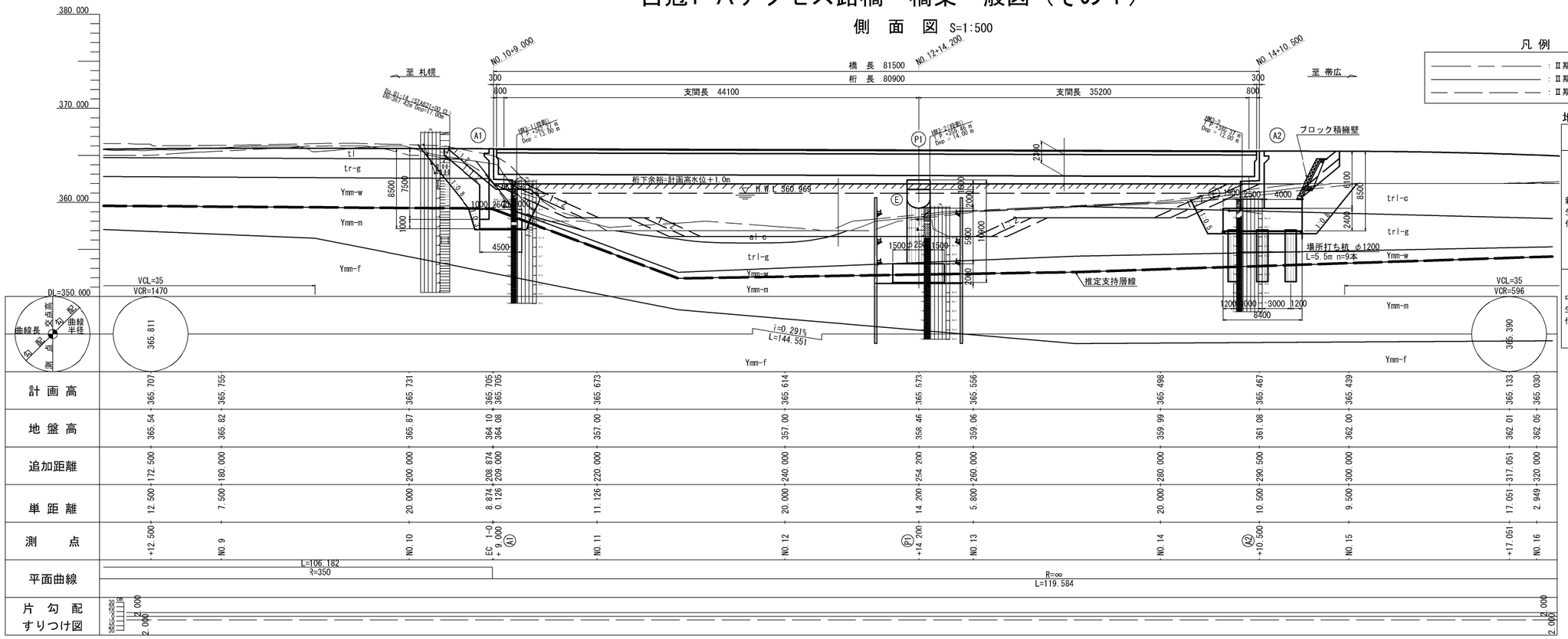
下部工数量総括表（上部工施工分）

項　目	種　別				単位	A1橋台	P1橋脚	A2橋台	合計	摘　要
コンクリート	A1-4	壁高欄	H<20m		m3	4.2	-	4.4	8.6	σck=30N/mm2
	A1-3	躯体	H<20m		m3	1.7	-	1.7	3.4	σck=30N/mm2
型わく	C	壁高欄	H<20m		m2	29.2	-	32.2	61.4	
		躯体	H<20m	逆T式	m2	4.2	-	4.5	8.7	
鉄筋	A	本体工	D13		t	0.200	-	0.238	0.438	
			合　計		t	0.200	-	0.238	0.438	
	A(E)	本体工	D13		t	0.172	-	0.221	0.393	
			D16～D25		t	0.130	-	0.118	0.248	
			合　計		t	0.302	-	0.339	0.641	

道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 数量総括表		
縮　尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　橋梁一般図（その１）

側　面　図 S=1:500



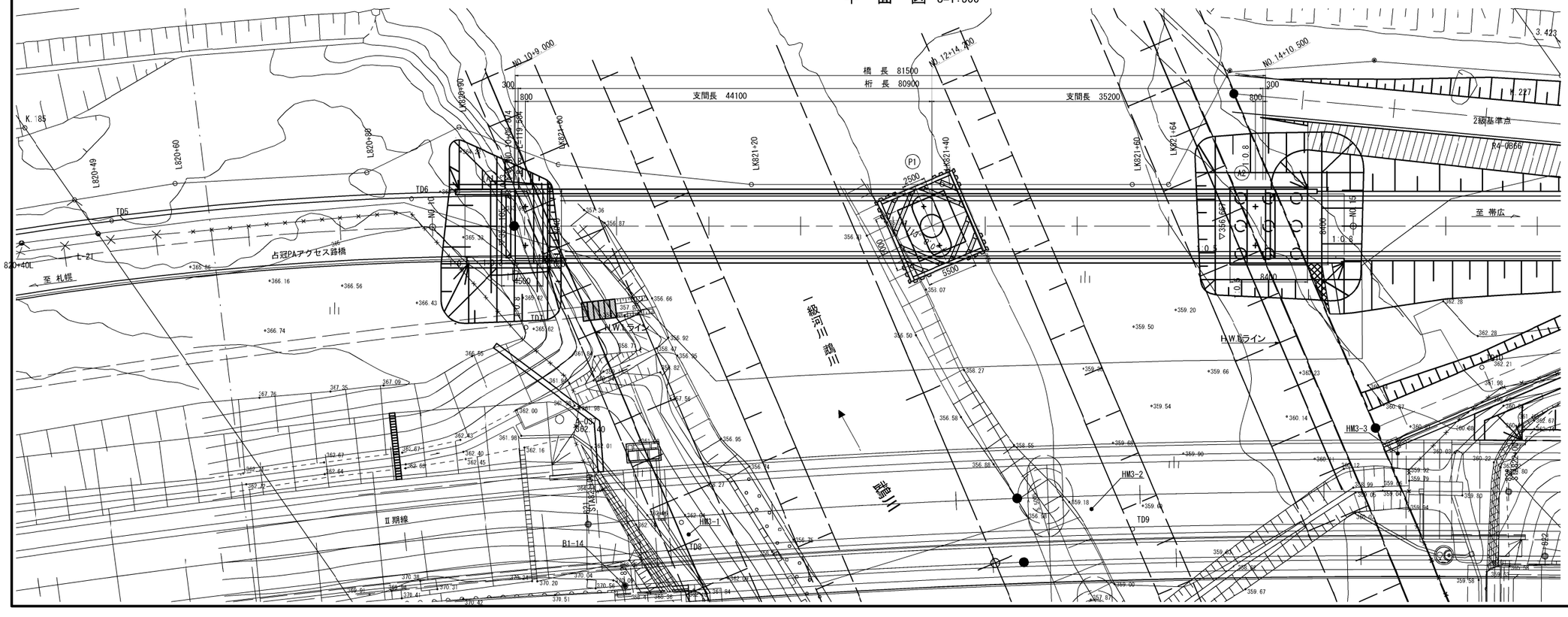
凡例

——— — ———	Ⅱ期線 左壁高欄外側
——— — ———	Ⅱ期線 道路中心線
— ——— — ———	Ⅱ期線 右壁高欄外側

地層構成一覧表

地質時代		地層名	記号	地質構成
		盛土・埋土	BK	礫・砂・シルト
新生代	第四紀完新世	現河床堆積物・氾濫原堆積物	al-c	粘性土
		崖錐堆積物	tl	礫質土・礫混り粘土
		低位(沖積)段丘堆積物	trl-c	粘性土
			trl-g	礫質土
	更新世第四紀	段丘堆積物	tr-g	礫・砂
中生代	白亜紀	空知・エゾ帯 蝦夷累層群 上部蝦夷層群	Yum-w	泥岩(弱風化)
			Yum-m	泥岩(中風化)
			Yum-f	泥岩(弱～未風化)

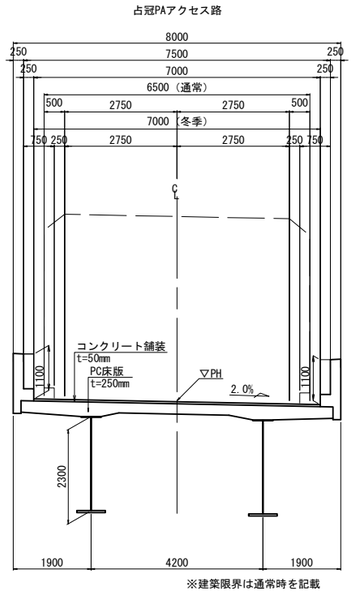
平　面　図 S=1:500



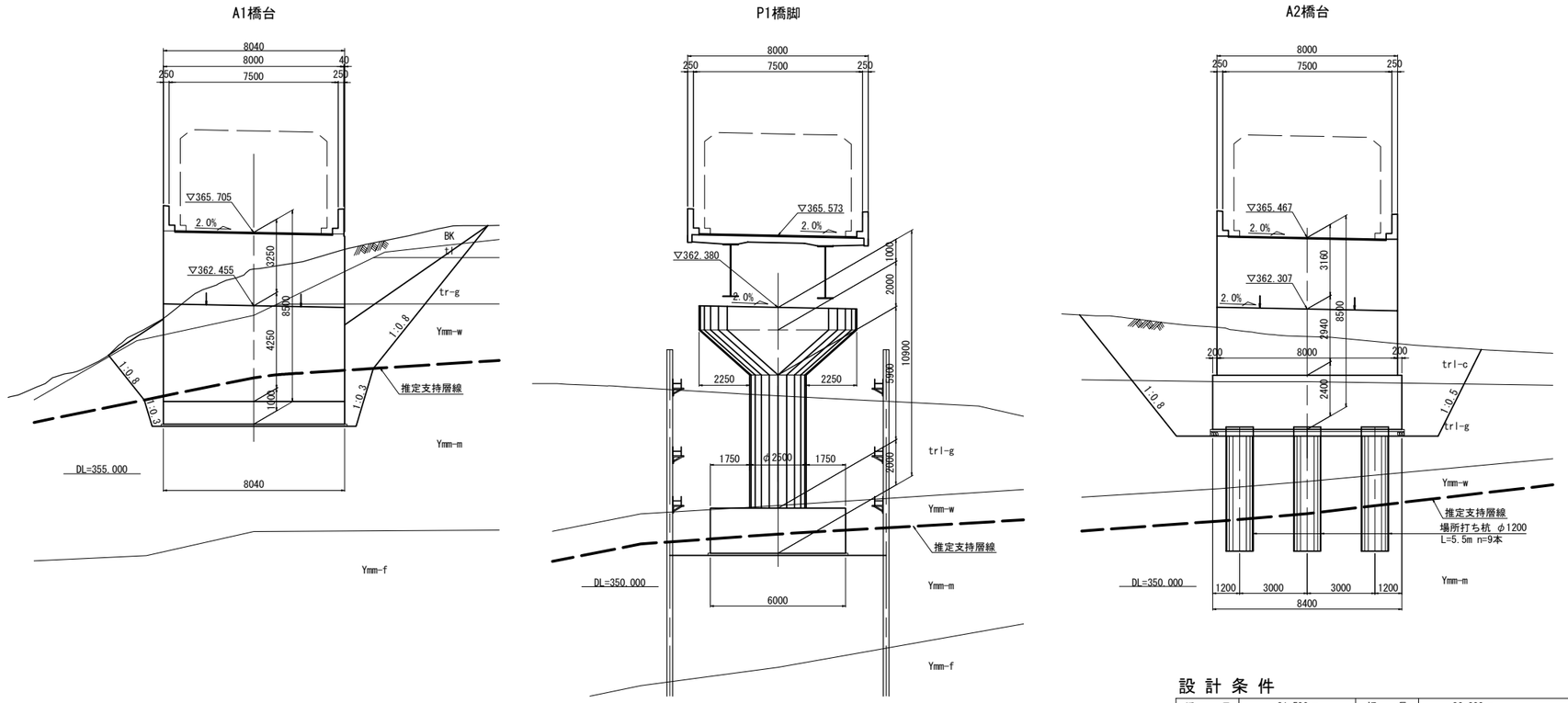
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事	
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 橋梁一般図（その１）
縮　尺	図 示
図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所

占冠ＰＡアクセス路橋　橋梁一般図（その２）

断　面　図 S=1:150



下部工正面図 S=1:250



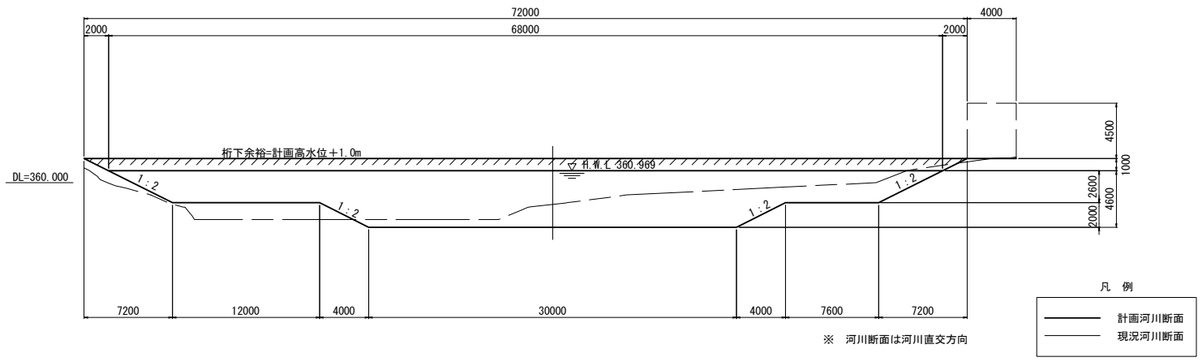
設 計 条 件

橋　　長	81.500 m	桁　　長	80.900 m
道路規格	第3種 第 4 級　　設計速度 V ＝40 km/h		
設計活荷重	A 活 荷 重		
上部工形式	鋼2径間連続少数鈑桁橋		
支 間 長	44.100 m ＋ 35.200 m		
有 効 幅 員	7.000 m		
斜　　角	A1 90° 00′ 00″　A2 90° 00′ 00″		
平面線形	R= ∞ m		
横断勾配	2.000 %		
縦断勾配	0.291%		
設 計 震 度	kh=Cz・kh0=0.85・0.20=0.17		
材　　料	上 部 工	コンクリート	σck=40N/mm2（床版） σck=30N/mm2（地覆）
		鋼　　材	SS400,SM400,SM490Y,SM520,S10T
		鉄　　筋	SD345
		ＰＣ鋼材	SWPR19L　1S28.6
	下 部 工	コンクリート	σck=30N/mm2（躯体） σck=24N/mm2（A1･P1底版） σck=30N/mm2（A2底版）
		鉄　　筋	SD345
	基 礎 工	コンクリート	σck=24N/mm2（直接基礎） σck=30N/mm2（場所打ち杭）
		鉄　　筋	SD345,SD490
		基礎構造	A1:直接基礎 P1:直接基礎 A2:ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ工法場所打ち杭 φ1200 9本
適用示方書	道路橋示方書・同解説(平成29年11月) 設計要領第二集(平成28年8月)		

交 差 条 件 S=1:500

一級河川　鵡川

Q=880m3/s(n=1/50)

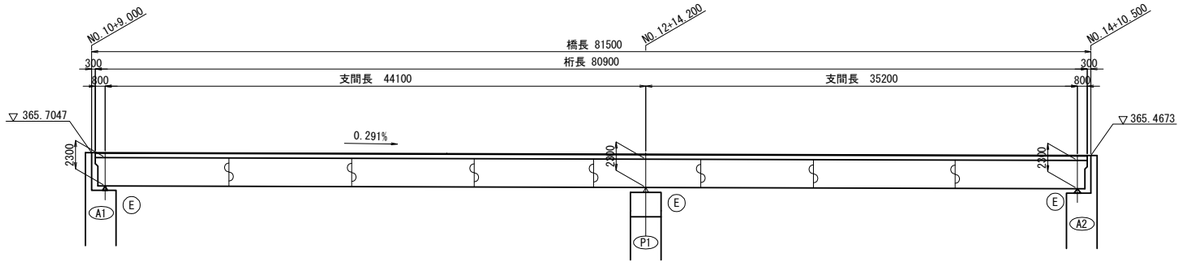


※　河川断面は河川直交方向

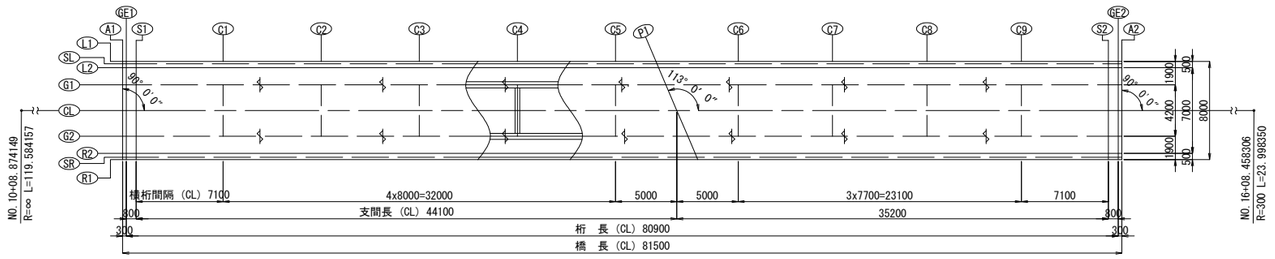
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事	
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 橋梁一般図（その２）
縮　　尺	図 示　　図面番号　－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所

占冠ＰＡアクセス路橋　上部工構造一般図　S=1:500

側面図



平面図

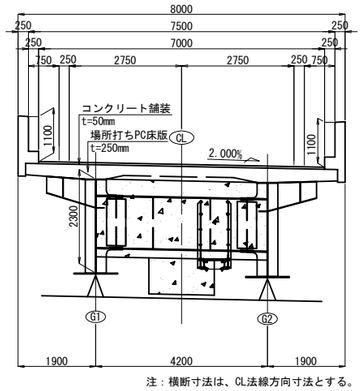


設計条件

橋名		占冠PAアクセス路橋
道路規格		第3種 第 4 級
設計速度		V ＝40 km/h
設計荷重		A活荷重
橋梁形式		鋼2径間連続少数鈑桁橋
橋長		81.500m (CL上)
桁長		80.900m (CL上)
支間長		44.100 m + 35.200 m(CL上)
幅員	総幅員	8.000m
	有効幅員	7.000m
縦断勾配		i=0.291%
横断勾配		i=2.000%
平面線形		R= ∞ m
斜角		A1 90° 00′ 00″ P1 113° 00′ 00″ A2 90° 00′ 00″
設計水平震度	橋軸方向	k_h=0.17 $k_{I\,h}$=0.97 $k_{II\,h}$=0.99
	橋軸直角方向	k_h=0.17 $k_{I\,h}$=0.93 $k_{II\,h}$=0.91
舗装		コンクリート舗装 t=50mm
床版		場所打ちPC床版 t=250mm
使用材料	コンクリート	σck= 40 N/mm2(床版), σck= 30 N/mm2(壁高欄,巻立コンクリート)
	PC 鋼材	SWPR19L
	鉄筋	SD345
	鋼材	SM520, SM490, SM490Y, SM400, SS400, S10T
適用基準		設計要領第二集 (平成28年8月 東日本高速道路(株))
		道路橋示方書・同解説(Ⅰ～Ⅴ) (平成29年11月 日本道路協会)

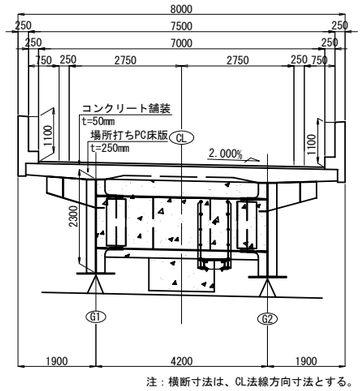
断面図　S=1:150

端支点部 S1



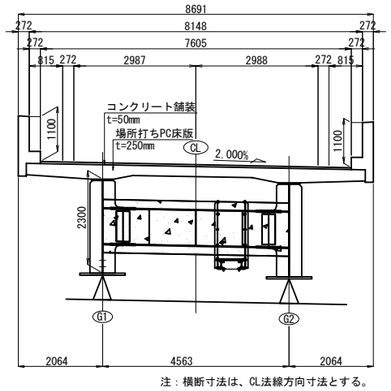
注：横断寸法は、CL法線方向寸法とする。

端支点部 S2



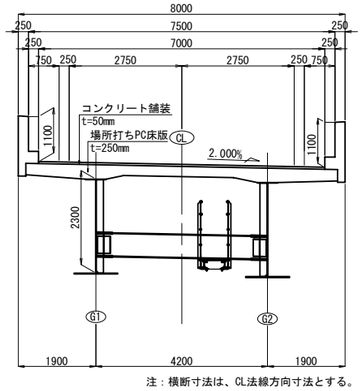
注：横断寸法は、CL法線方向寸法とする。

中間支点部 P1



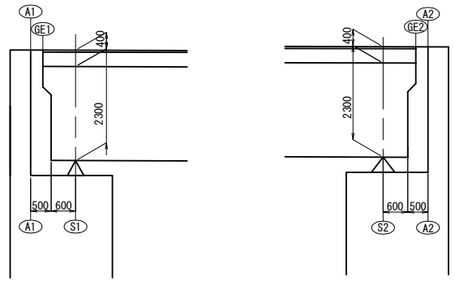
注：横断寸法は、CL法線方向寸法とする。

中間部 C1～C9



注：横断寸法は、CL法線方向寸法とする。

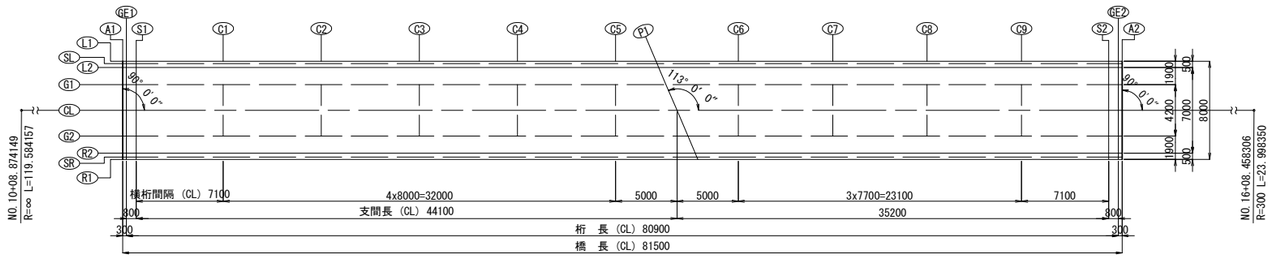
桁端部形状　S=1:150



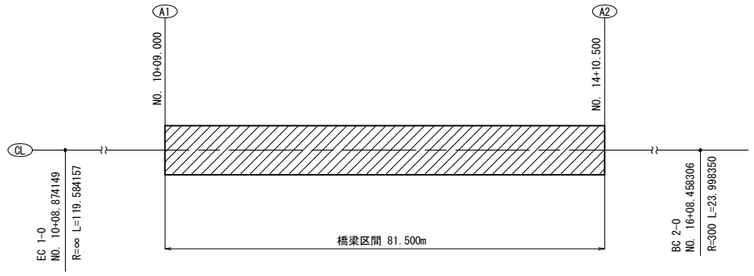
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事	
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 上部工構造一般図
縮尺	図 示
図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所

占冠ＰＡアクセス路橋　線形図（その１）　S= 1:500

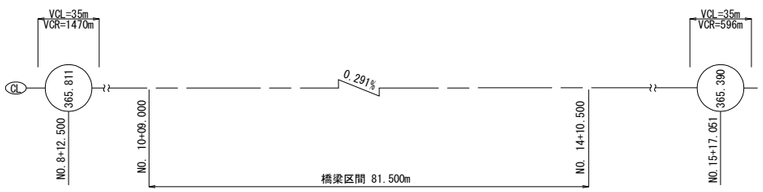
平 面 図



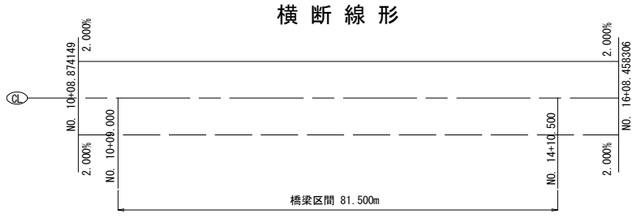
平 面 線 形



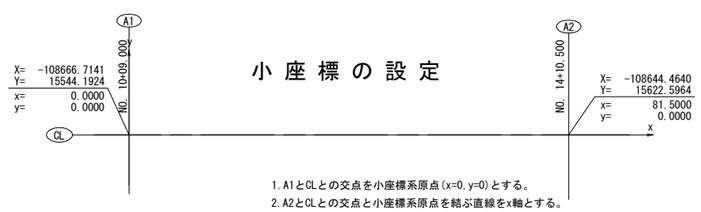
縦 断 線 形



横 断 線 形



小 座 標 の 設 定



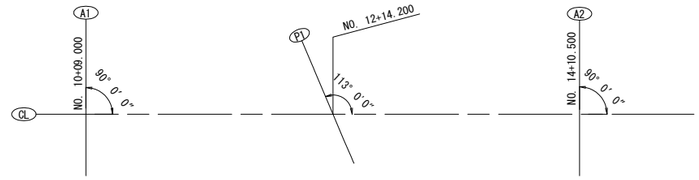
1. A1とCLとの交点を小座標系原点(x=0,y=0)とする。
2. A2とCLとの交点と小座標系原点を結ぶ直線をx軸とする。
3. 小座標系原点を通り、x軸の法線をy軸とする。

桁配置要領

1. 橋台線の設定

A1,A2橋台
CL上で下記測点位置で、A1,A2共にCLに対して90° に設置する。
A1 : NO. 10+09.000
A2 : NO. 14+10.500

P1橋脚
CL上で下記測点位置で、P1共にCLに対して113° 0′ 0″ に設置する。
P1 : NO. 12+14.200



2. 桁端線、支承線の設定

GE1 : A1からA2に向かって、CL上で0.300mの位置を通る、A1の平行線とする。
S1 : A1からA2に向かって、CL上で1.100mの位置を通る、A1の平行線とする。
GE2 : A2からA1に向かって、CL上で0.300mの位置を通る、A2の平行線とする。
S2 : A2からA1に向かって、CL上で1.100mの位置を通る、A2の平行線とする。

3. 主桁の設定

G1 : CLからL1側に　2100mm の平行線。
G2 : CLからR1側に　2100mm の平行線。

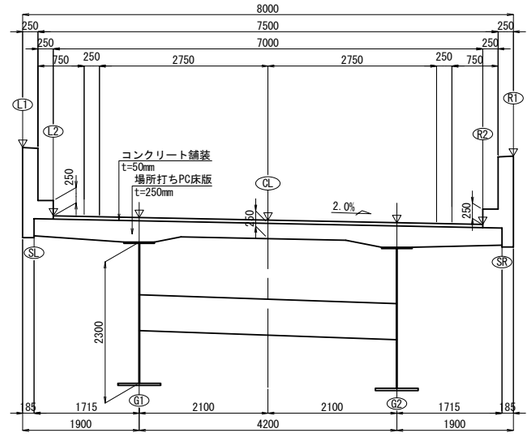
4. 横桁の設定

横桁配置は平面図に示す通りとし、CLに対して法線方向に設置する。

主要点座標値

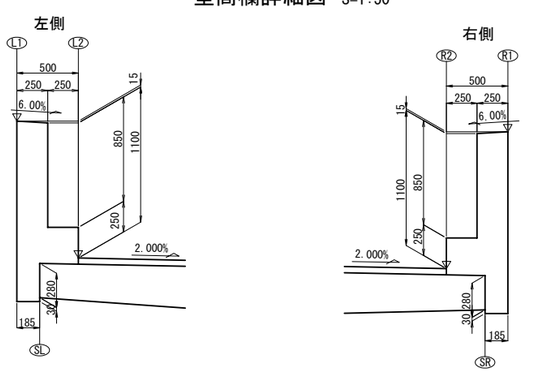
主要点名	測　　点	X 座 標	Y 座 標	要　　素
EC 1-0	NO. 10+08.874149	-108666.748419	15544.071347	R = ∞
BC 2-0	NO. 16+08.458306	-108634.101154	15659.112760	

断 面 図　S=1:100



注：横断寸法は、CL法線方向寸法とする。

壁高欄詳細図　S=1:50



道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 線形図（その１）		
縮　　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

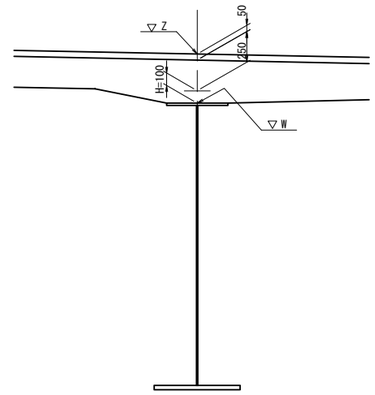
占冠ＰＡアクセス路橋　線形図（その２）　S= 1:500

小座標値及び路面計画高

		A1	GE1	S1	C1	C2	C3	C4	C5	P1	C6	C7	C8	C9	S2	GE2	A2
L1	X	0.0000	0.3000	1.1000	8.2000	16.2000	24.2000	32.2000	40.2000	43.5021	50.2000	57.9000	65.6000	73.3000	80.4000	81.2000	81.5000
	Y	4.0000	4.0000	4.0000	4.0000	4.0000	4.0000	4.0000	4.0000	4.0000	4.0000	4.0000	4.0000	4.0000	4.0000	4.0000	4.0000
	Z	366.8897	366.8888	366.8865	366.8658	366.8425	366.8192	366.7959	366.7726	366.7630	366.7435	366.7211	366.6986	366.6762	366.6555	366.6532	366.6523
SL	X	0.0000	0.3000	1.1000	8.2000	16.2000	24.2000	32.2000	40.2000	43.5806	50.2000	57.9000	65.6000	73.3000	80.4000	81.2000	81.5000
	Y	3.8150	3.8150	3.8150	3.8150	3.8150	3.8150	3.8150	3.8150	3.8150	3.8150	3.8150	3.8150	3.8150	3.8150	3.8150	3.8150
	Z	366.8897	366.8888	366.8865	366.8658	366.8425	366.8192	366.7959	366.7726	366.7628	366.7435	366.7211	366.6986	366.6762	366.6555	366.6532	366.6523
L2	X	0.0000	0.3000	1.1000	8.2000	16.2000	24.2000	32.2000	40.2000	43.7143	50.2000	57.9000	65.6000	73.3000	80.4000	81.2000	81.5000
	Y	3.5000	3.5000	3.5000	3.5000	3.5000	3.5000	3.5000	3.5000	3.5000	3.5000	3.5000	3.5000	3.5000	3.5000	3.5000	3.5000
	Z	365.7747	365.7738	365.7715	365.7508	365.7275	365.7042	365.6809	365.6576	365.6474	365.6285	365.6061	365.5836	365.5612	365.5405	365.5382	365.5373
G1	X	0.0000	0.3000	1.1000	8.2000	16.2000	24.2000	32.2000	40.2000	44.3086	50.2000	57.9000	65.6000	73.3000	80.4000	81.2000	81.5000
	Y	2.1000	2.1000	2.1000	2.1000	2.1000	2.1000	2.1000	2.1000	2.1000	2.1000	2.1000	2.1000	2.1000	2.1000	2.1000	2.1000
	Z	365.7467	365.7458	365.7435	365.7228	365.6995	365.6762	365.6529	365.6296	365.6176	365.6005	365.5781	365.5556	365.5332	365.5125	365.5102	365.5093
	H	－	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	－
	W	－	365.3458	365.3435	365.3228	365.2995	365.2762	365.2529	365.2296	365.2176	365.2005	365.1781	365.1556	365.1332	365.1125	365.1102	－
CL	X	0.0000	0.3000	1.1000	8.2000	16.2000	24.2000	32.2000	40.2000	45.2000	50.2000	57.9000	65.6000	73.3000	80.4000	81.2000	81.5000
	Y	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	Z	365.7047	365.7038	365.7015	365.6808	365.6575	365.6342	365.6109	365.5876	365.5731	365.5585	365.5361	365.5136	365.4912	365.4705	365.4682	365.4673
G2	X	0.0000	0.3000	1.1000	8.2000	16.2000	24.2000	32.2000	40.2000	46.0914	50.2000	57.9000	65.6000	73.3000	80.4000	81.2000	81.5000
	Y	-2.1000	-2.1000	-2.1000	-2.1000	-2.1000	-2.1000	-2.1000	-2.1000	-2.1000	-2.1000	-2.1000	-2.1000	-2.1000	-2.1000	-2.1000	-2.1000
	Z	365.6627	365.6618	365.6595	365.6388	365.6155	365.5922	365.5689	365.5456	365.5285	365.5165	365.4941	365.4716	365.4492	365.4285	365.4262	365.4253
	H	－	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	－
	W	－	365.2618	365.2595	365.2388	365.2155	365.1922	365.1689	365.1456	365.1285	365.1165	365.0941	365.0716	365.0492	365.0285	365.0262	－
R2	X	0.0000	0.3000	1.1000	8.2000	16.2000	24.2000	32.2000	40.2000	46.6857	50.2000	57.9000	65.6000	73.3000	80.4000	81.2000	81.5000
	Y	-3.5000	-3.5000	-3.5000	-3.5000	-3.5000	-3.5000	-3.5000	-3.5000	-3.5000	-3.5000	-3.5000	-3.5000	-3.5000	-3.5000	-3.5000	-3.5000
	Z	365.6347	365.6338	365.6315	365.6108	365.5875	365.5642	365.5409	365.5176	365.4987	365.4885	365.4661	365.4436	365.4212	365.4005	365.3982	365.3973
SR	X	0.0000	0.3000	1.1000	8.2000	16.2000	24.2000	32.2000	40.2000	46.8194	50.2000	57.9000	65.6000	73.3000	80.4000	81.2000	81.5000
	Y	-3.8150	-3.8150	-3.8150	-3.8150	-3.8150	-3.8150	-3.8150	-3.8150	-3.8150	-3.8150	-3.8150	-3.8150	-3.8150	-3.8150	-3.8150	-3.8150
	Z	366.7497	366.7488	366.7465	366.7258	366.7025	366.6792	366.6559	366.6326	366.6133	366.6035	366.5811	366.5586	366.5362	366.5155	366.5132	366.5123
R1	X	0.0000	0.3000	1.1000	8.2000	16.2000	24.2000	32.2000	40.2000	46.8979	50.2000	57.9000	65.6000	73.3000	80.4000	81.2000	81.5000
	Y	-4.0000	-4.0000	-4.0000	-4.0000	-4.0000	-4.0000	-4.0000	-4.0000	-4.0000	-4.0000	-4.0000	-4.0000	-4.0000	-4.0000	-4.0000	-4.0000
	Z	366.7497	366.7488	366.7465	366.7258	366.7025	366.6792	366.6559	366.6326	366.6131	366.6035	366.5811	366.5586	366.5362	366.5155	366.5132	366.5123

注）1. 座標は全て小座標系である。
　　2. 記号の説明：
　　X、Y：平面座標
　　Z：路面標高
　　H：ハンチ高
　　W：主桁天端標高

ハンチ高の設定　S=1:50

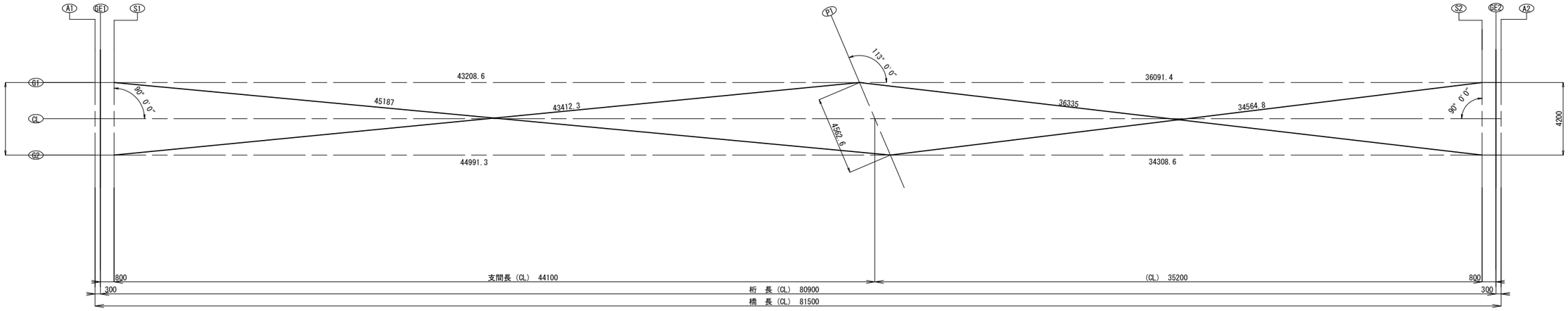


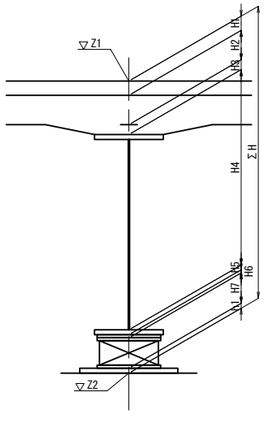
ハンチ高は床版下面からU-FLG上縁まで100mm一定とする。

道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事				
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 線形図（その２）			
縮　　尺	図 示	図面番号	－	
設計会社名	株式会社　建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所			

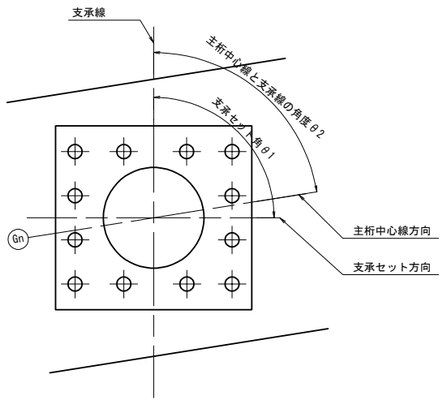
占冠ＰＡアクセス路橋　支承配置図　　S=1:250

平 面 図





Z1　路面計画高(m)
H1　舗装厚
H2　床版厚
H3　ハンチ高
H4　主桁高
H5　下フランジ厚
H6　ソールプレート厚
H7　支承高
h1　調整プレート厚/モルタル厚
ΣH　構造高合計
Z2　下部工天端高(m)



支承位置平面座標

世界測地系(m)

		S1		P1		S2	
		X	Y	X	Y	X	Y
大座標	G1	-108664.3935	15544.6773	-108652.5973	15586.2445	-108642.7441	15620.9649
	G2	-108668.4340	15545.8239	-108656.1510	15589.1062	-108646.7846	15622.1115
小座標	G1	1.1000	2.1000	44.3086	2.1000	80.4000	2.1000
	G2	1.1000	-2.1000	46.0914	-2.1000	80.4000	-2.1000

支点構造高表

(m)

占冠PAアクセス路橋		A1(S1)		P1		A2(S2)	
		G1	G2	G1	G2	G1	G2
路面計画高	Z1	365.744	365.660	365.618	365.529	365.513	365.429
舗装厚	H1	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050
床版厚	H2	0.250	0.250	0.250	0.250	0.250	0.250
ハンチ高	H3	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100
主桁高	H4	2.300	2.300	2.300	2.300	2.300	2.300
下フランジ厚	H5	0.022	0.022	0.051	0.053	0.022	0.022
ソールプレート厚	H6	0.040	0.040	0.040	0.040	0.039	0.039
支承高	H7	0.458	0.458	0.333	0.333	0.374	0.374
調整モルタル厚	h1	0.060	0.060	0.068	0.069	0.062	0.062
構造高合計	ΣH	3.280	3.280	3.192	3.195	3.197	3.197
下部工天端高	Z2	362.464	362.380	362.426	362.334	362.316	362.232

支承セット角θ1

	S1	P1	S2
G1	90° 00′ 00″	113° 00′ 00″	90° 00′ 00″
G2	90° 00′ 00″	113° 00′ 00″	90° 00′ 00″

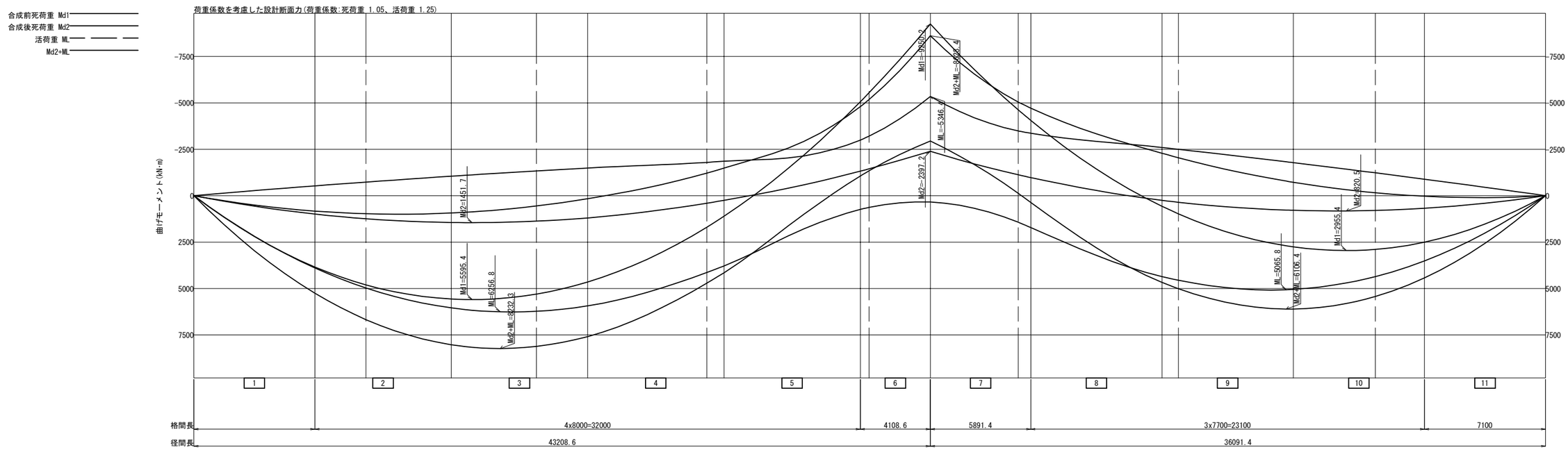
主桁中心線と支承線の角度θ2

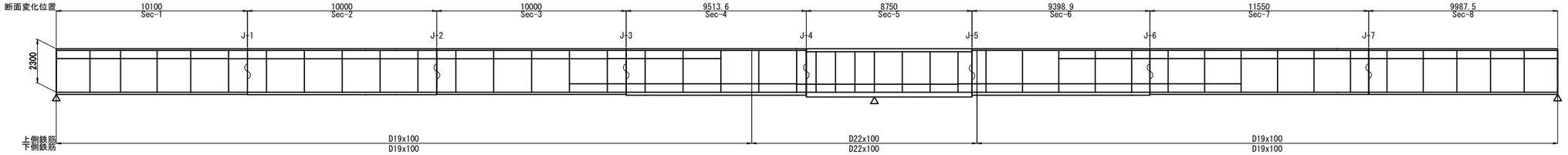
	S1	P1	S2
G1	90° 00′ 00″	113° 00′ 00″	90° 00′ 00″
G2	90° 00′ 00″	113° 00′ 00″	90° 00′ 00″

道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 支承配置図		
縮　　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　断面構成図（その１） S=1:250

G1





単位：mm N/mm2

第 1主桁		1	2	3	4	5	6	7	8
	断面名	Sec-1	Sec-2	Sec-3	Sec-4	Sec-5	Sec-6	Sec-7	Sec-8
上フランジ	幅	500	500	500	500	500	500	500	500
	厚	16(3)	18(3)	17(3)	16(3)	32(3)	16(3)	16(3)	16(3)
腹板	高さ	2284	2282	2283	2284	2268	2284	2284	2284
	厚	12(3)	11(3)	12(3)	14(3)	15(3)	13(3)	11(3)	11(3)
下フランジ	幅	700	700	700	700	700	700	700	700
	厚	22(3)	24(3)	22(3)	31(3)	51(7)	31(3)	22(3)	22(3)
上フランジ	σd	-154	-172	-164	232	262	198	-97	-95
	σud	171	193	184	272	272	272	171	171
	σud-σd	17	21	20	40	10	73	74	76
	応力ケース	1:鋼桁	1:鋼桁	1:鋼桁	14:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	1:鋼桁	1:鋼桁
下フランジ	σd	226	257	258	-211	-233	-206	170	162
	σud	272	272	272	225	243	243	272	272
	σud-σd	46	15	13	14	10	37	102	109
	応力ケース	5:合成	5:合成	5:合成	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	5:合成	5:合成
腹板	τd	61	32	-49	-66	-70	60	40	-55
	τud	157	157	157	157	157	157	157	157
	合成	0.70	0.87	0.89	0.89	1.08	0.70	0.39	0.36
決定要因	上フランジ	D	B	B	E	A	E	D	D
	下フランジ	D	A	A	B	B	E	D	D

材質　(1):SM400 ,(5):SM400-H
(2):SM490 ,(6):SM490-H
(3):SM490Y ,(7):SM520-H
(4):SM570 ,(8):SM570-H
(9):SBHS400
(10):SBHS500

応力ケース:以下の番号と抵抗断面で表示
1:D1[①]（合成前死荷重）
2:D+TF+CR+SH[①]　12:2+TH[③]　22:2-TH[③]
3:D-TF+CR+SH[〃]　13:3+TH[〃]　23:3-TH[〃]
4:D+Lmax+TF+CR+SH[②]　14:4+TH[⑤]　24:4-TH[⑤]
5:D+Lmax-TF+CR+SH[〃]　15:5+TH[〃]　25:5-TH[〃]
6:D+Lmin+TF+CR+SH[〃]　16:6+TH[〃]　26:6-TH[〃]
7:D+Lmin-TF+CR+SH[〃]　17:7+TH[〃]　27:7-TH[〃]
[ ]:道示Ⅰ表-3.3.1 作用の組合せ番号

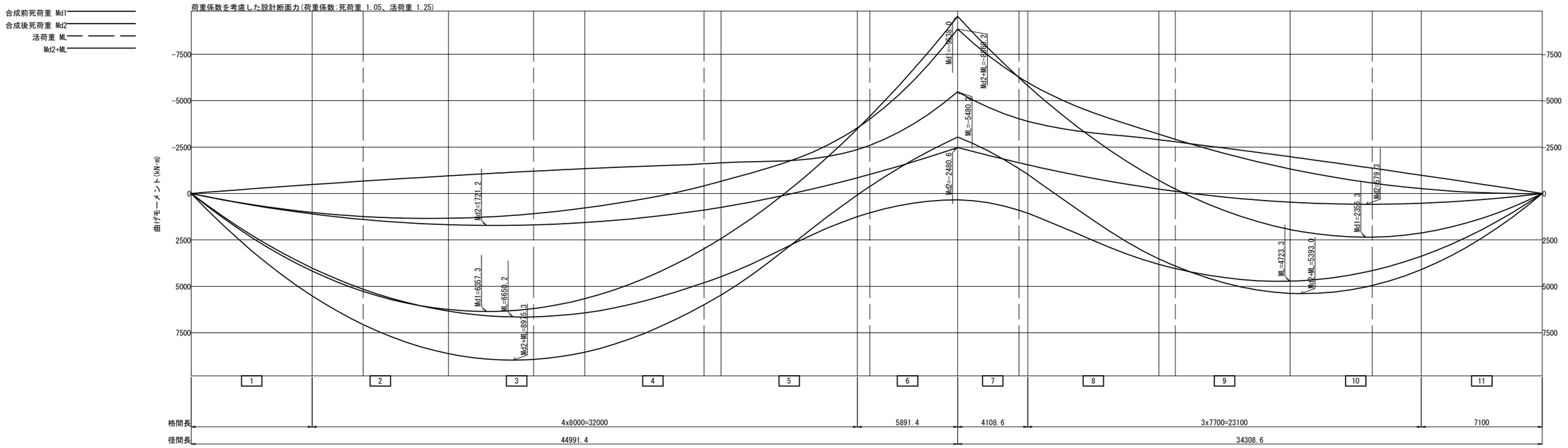
抵抗断面　鋼桁：鋼桁のみ（合成前）
鋼+鉄筋：鋼桁+鉄筋（合成後）
合成：鋼桁+ｺﾝｸﾘｰﾄ床版（合成後）

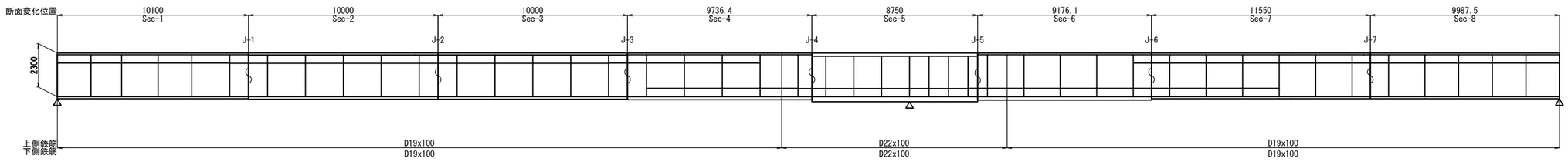
決定要因　A:引張応力度
B:圧縮応力度
C:孔引応力度
D:フランジ自由突出
E:フランジ板厚差

道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 断面構成図（その１）		
縮　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　断面構成図（その２） S=1:250

G2





単位：mm N/mm2

第 2主桁		1	2	3	4	5	6	7	8
断面名		Sec-1	Sec-2	Sec-3	Sec-4	Sec-5	Sec-6	Sec-7	Sec-8
上フランジ	幅	500	500	500	500	500	500	500	500
	厚	17(3)	19(3)	19(3)	17(3)	34(3)	17(3)	16(3)	16(3)
腹板	高さ	2283	2281	2281	2283	2266	2283	2284	2284
	厚	12(3)	12(3)	12(3)	13(3)	15(3)	13(3)	11(3)	11(3)
下フランジ	幅	700	700	700	700	700	700	700	700
	厚	22(3)	27(3)	26(3)	33(3)	53(7)	37(3)	22(3)	22(3)
上フランジ	σd	-164	-181	-178	173	261	250	-127	-127
	σud	184	193	193	272	272	272	272	272
	σud-σd	20	12	15	99	11	21	145	145
	応力ケース	1:鋼桁	1:鋼桁	1:鋼桁	16:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	22:合成	22:合成
下フランジ	σd	242	258	261	-177	-231	-215	-88	140
	σud	272	272	272	243	243	228	166	272
	σud-σd	30	14	11	66	12	13	78	131
	応力ケース	5:合成	5:合成	5:合成	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:鋼+鉄筋	6:合成	5:合成
腹板	τd	64	33	-47	-70	-74	64	45	-51
	τud	157	157	157	157	157	157	157	157
	合成	0.81	0.87	0.90	0.60	1.09	0.99	0.27	0.27
決定要因	上フランジ	B	B	B	E	A	E	D	D
	下フランジ	D	A	A	E	B	B	D	D

材質　(1):SM400　,(5):SM400-H
(2):SM490　,(6):SM490-H
(3):SM490Y ,(7):SM520-H
(4):SM570　,(8):SM570-H
(9):SBHS400
(10):SBHS500

応力ケース:以下の番号と抵抗断面で表示
1:D1[①]（合成前死荷重）
2:D+TF+CR+SH[①]　12:2+TH[③]　22:2-TH[③]
3:D-TF+CR+SH[〃]　13:3+TH[〃]　23:3-TH[〃]
4:D+Lmax+TF+CR+SH[②]　14:4+TH[⑤]　24:4-TH[⑤]
5:D+Lmax-TF+CR+SH[〃]　15:5+TH[〃]　25:5-TH[〃]
6:D+Lmin+TF+CR+SH[〃]　16:6+TH[〃]　26:6-TH[〃]
7:D+Lmin-TF+CR+SH[〃]　17:7+TH[〃]　27:7-TH[〃]
[ ]:道示Ⅰ表-3.3.1 作用の組合せ番号

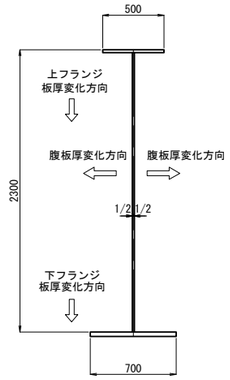
抵抗断面　鋼桁：鋼桁のみ（合成前）
鋼+鉄筋：鋼桁+鉄筋（合成後）
合成：鋼桁+ｺﾝｸﾘｰﾄ床版（合成後）

決定要因　A:引張応力度
B:圧縮応力度
C:孔引応力度
D:フランジ自由突出
E:フランジ板厚差

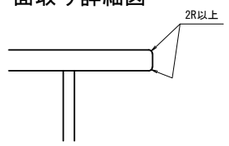
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事	
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 断面構成図（その２）
縮　尺	図 示　図面番号　-
設計会社名	株式会社　建設技術研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所

占冠ＰＡアクセス路橋　共通詳細図（その１） S=1:50

主桁基本寸法及び板厚変化方向

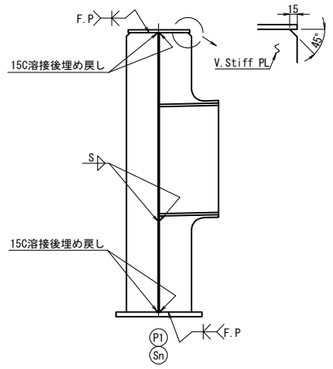


面取り詳細図

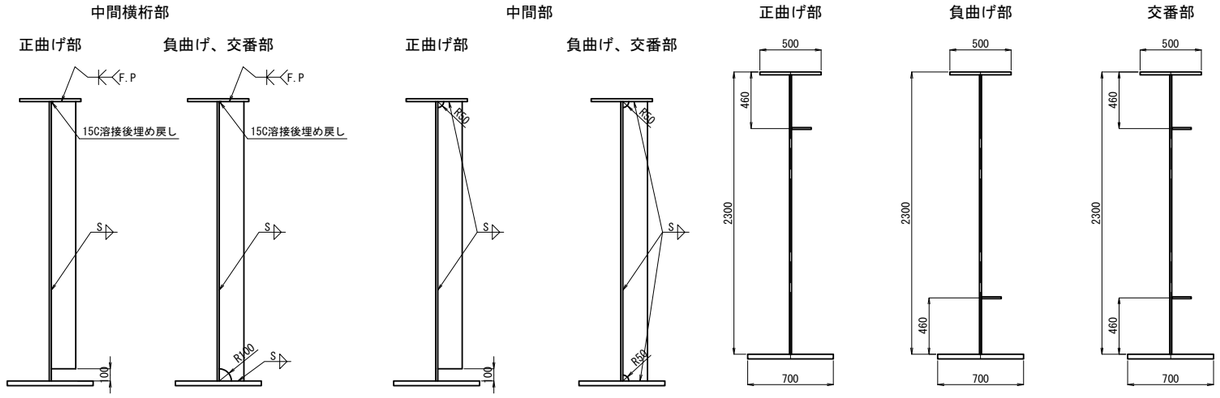


主部材(主桁・横桁等)のフランジなど
角部に2R以上の面取りを設ける。

支点上横桁取り付け部の垂直補剛材

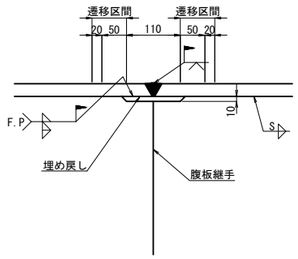


垂直補剛材

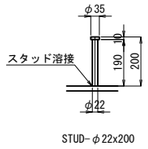


水平補剛材設置位置

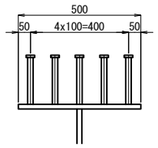
主桁現場溶接部詳細



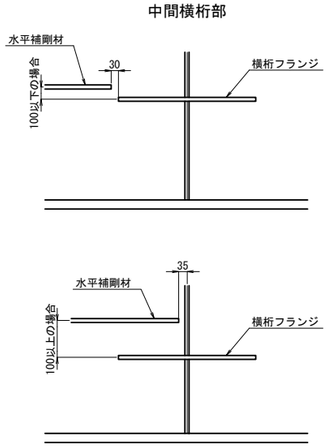
スタッド配置詳細 S=1:25

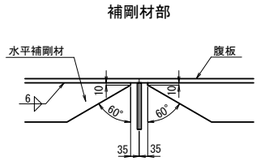


スタッドジベル詳細 S=1:25

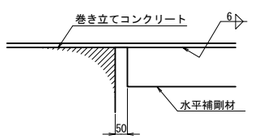


水平補剛材詳細 S=1:25

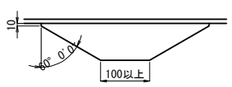




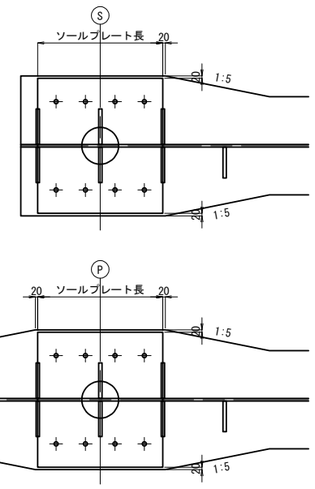
巻き立てコンクリート部



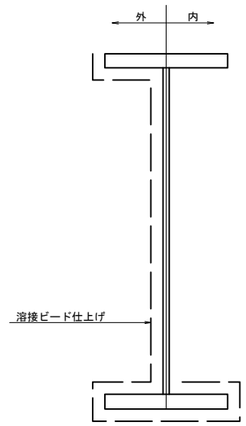
水平補剛材加工要領

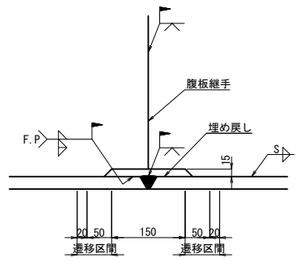


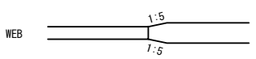
下フランジ拡幅要領



主桁現場溶接部仕上げ詳細 S=1:10



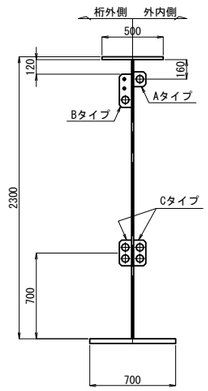




道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 共通詳細図（その１）		
縮　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　共通詳細図（その２）　S=1:50

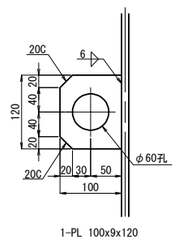
足場用吊金具取付位置図



※ 吊金具間隔は下記の記載通り取り付けのこと。
Aタイプ 1.800m以下
Bタイプ 0.900m以下
Cタイプ 0.900m以下

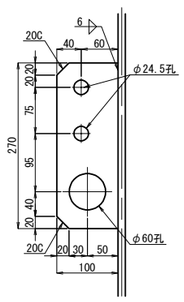
吊金具詳細　S=1:10

Aタイプ



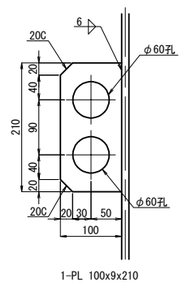
1-PL 100x9x120

Bタイプ



1-PL 100x9x270

Cタイプ

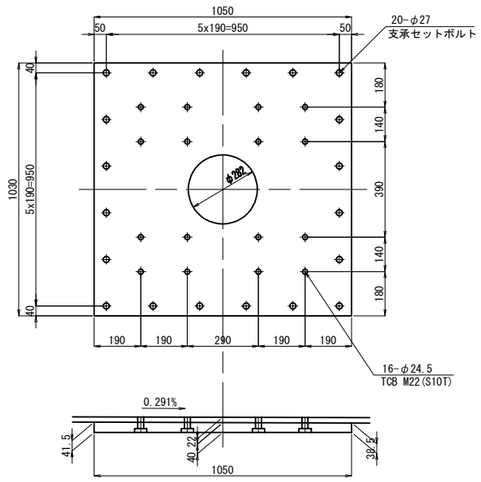


1-PL 100x9x210

道東自動車道 本流戸川第一橋（鋼上部工）工事	
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 共通詳細図（その２）
縮　尺	図 示　　図面番号　－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所

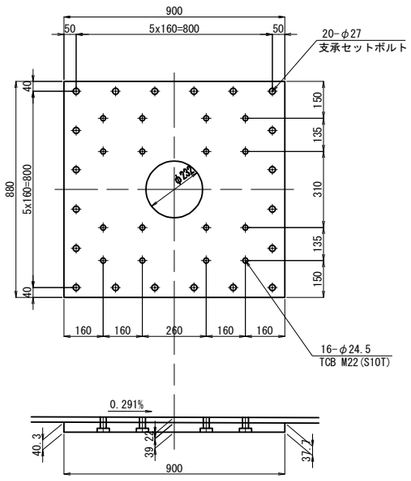
占冠ＰＡアクセス路橋　共通詳細図（その３）　S=1:25

S1:G1 G2



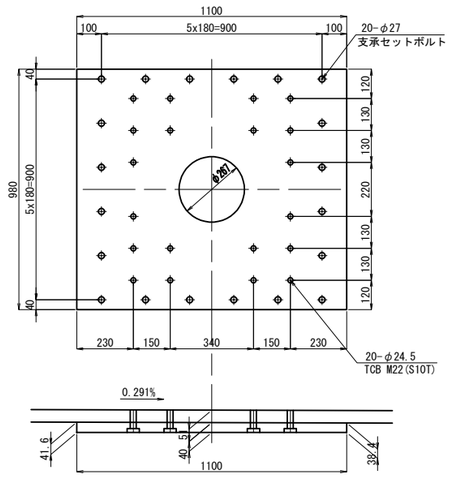
1-SOLE PL 1050x44x1030(SM490C)
16-TCB M22x85(S10T)

S2:G1 G2



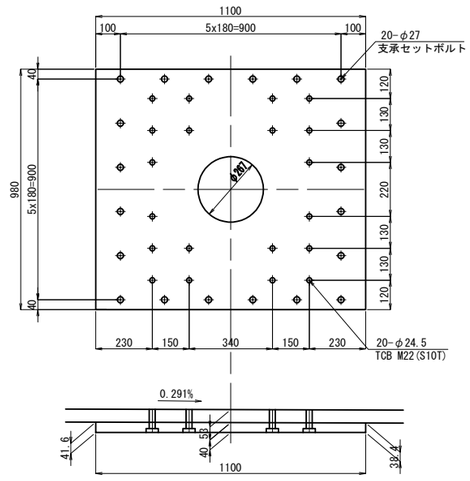
1-SOLE PL 900x43x880(SM490C)
8-TCB M22x80(S10T)
8-TCB M22x85(S10T)

P1:G1



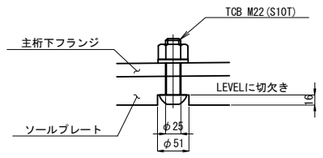
1-SOLE PL 1100x44x980(SM490C)
10-TCB M22x110(S10T)
10-TCB M22x115(S10T)

P1:G2



1-SOLE PL 1100x44x980(SM490C)
20-TCB M22x115(S10T)

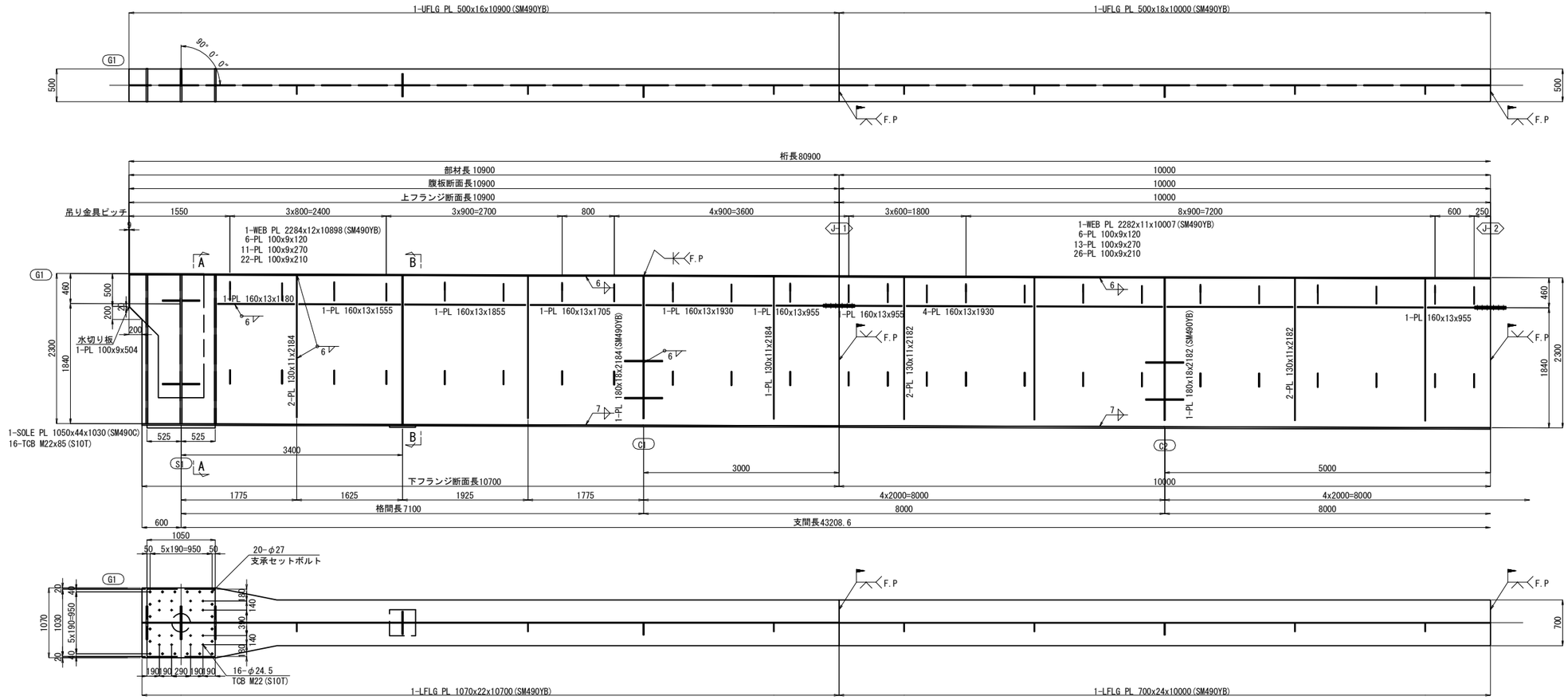
座ぐり孔詳細　S=1:10



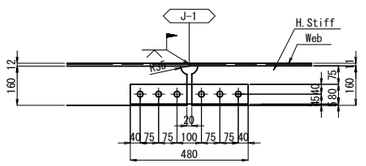
注記
1. 接触面には無機ジンクリッチペイントを塗布すること。

道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 共通詳細図（その３）		
縮　　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

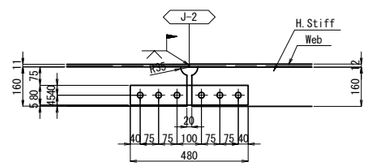
占冠ＰＡアクセス路橋　主桁Ｇ１（その１）　S=1:75



水平補剛材継手詳細　S=1:25

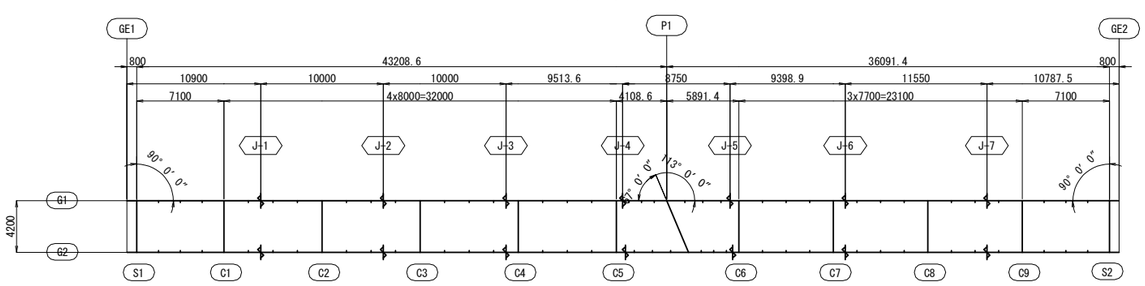


水平補剛材連結部
2-SPL PL 80x13x480(SM490YB)
6-TCB M22x75(S10T)

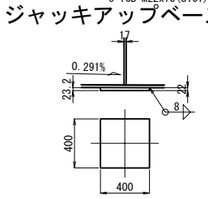


水平補剛材連結部
2-SPL PL 80x13x480(SM490YB)
6-TCB M22x75(S10T)

配　置　図

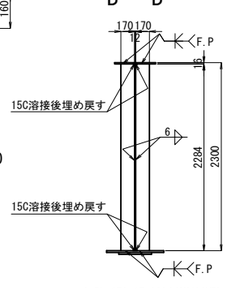


ジャッキアップベース詳細　S=1:50



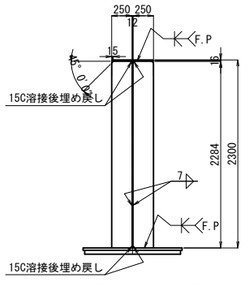
1-PL 400x26x400(SM490YB)

B－B



2-PL 170x17x2284(SM490YB)

A－A

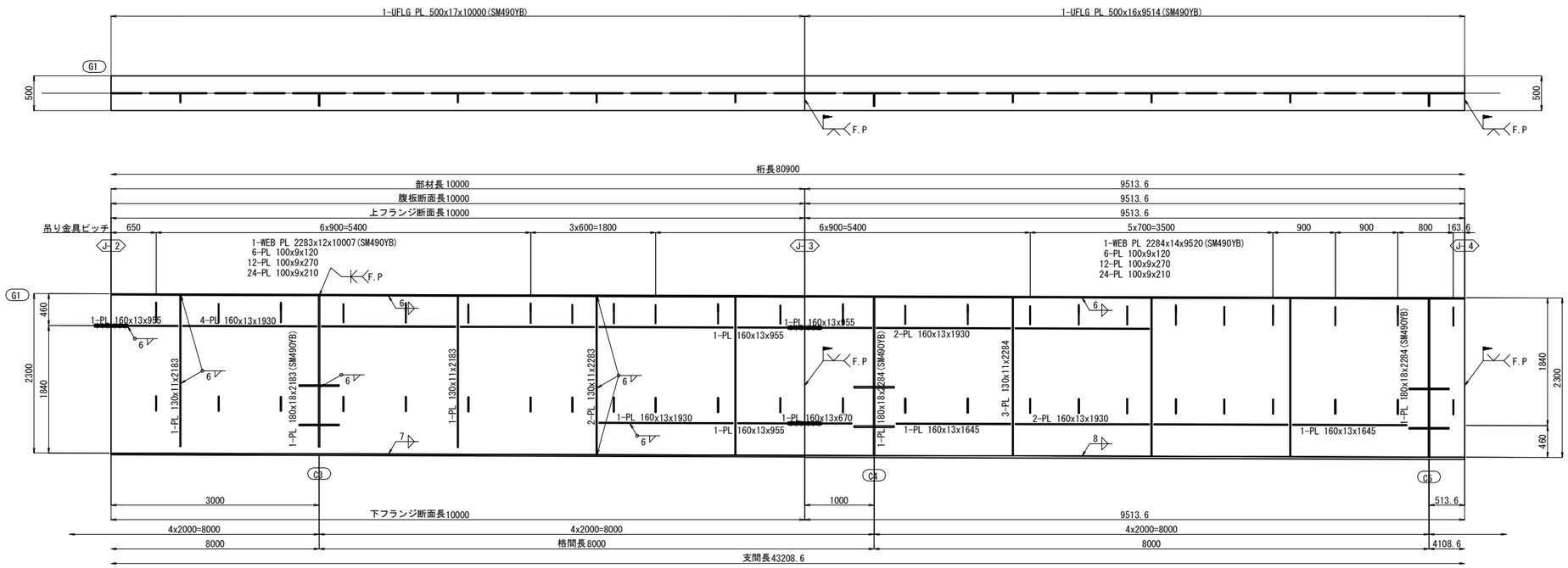


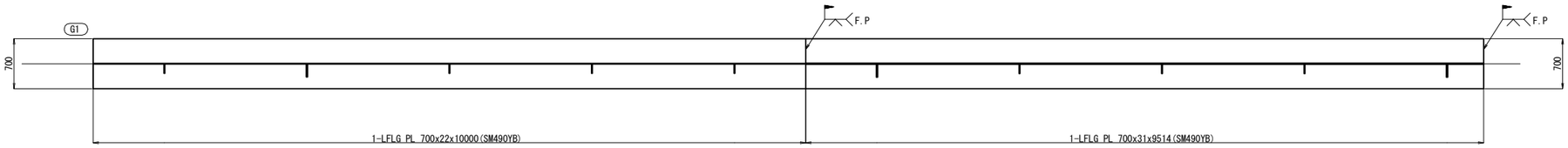
4-PL 250x25x2284(SM490YB)

注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ボルト印はTCB(S10T)M22を示す。

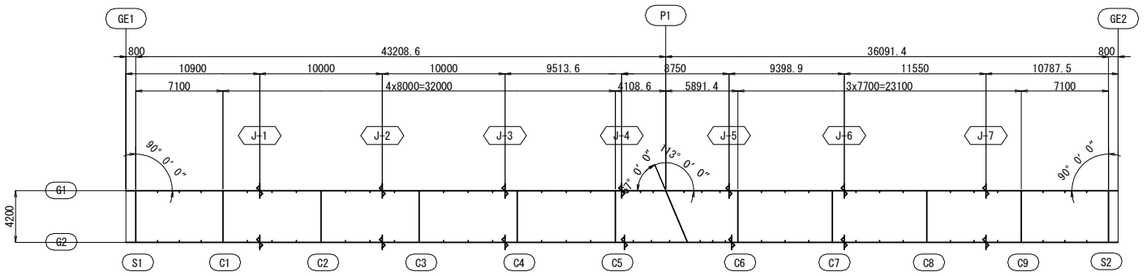
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 主桁Ｇ１（その１）		
縮　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　主桁Ｇ１（その２）　S=1:75

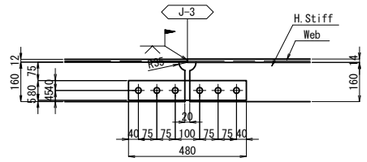




配　置　図



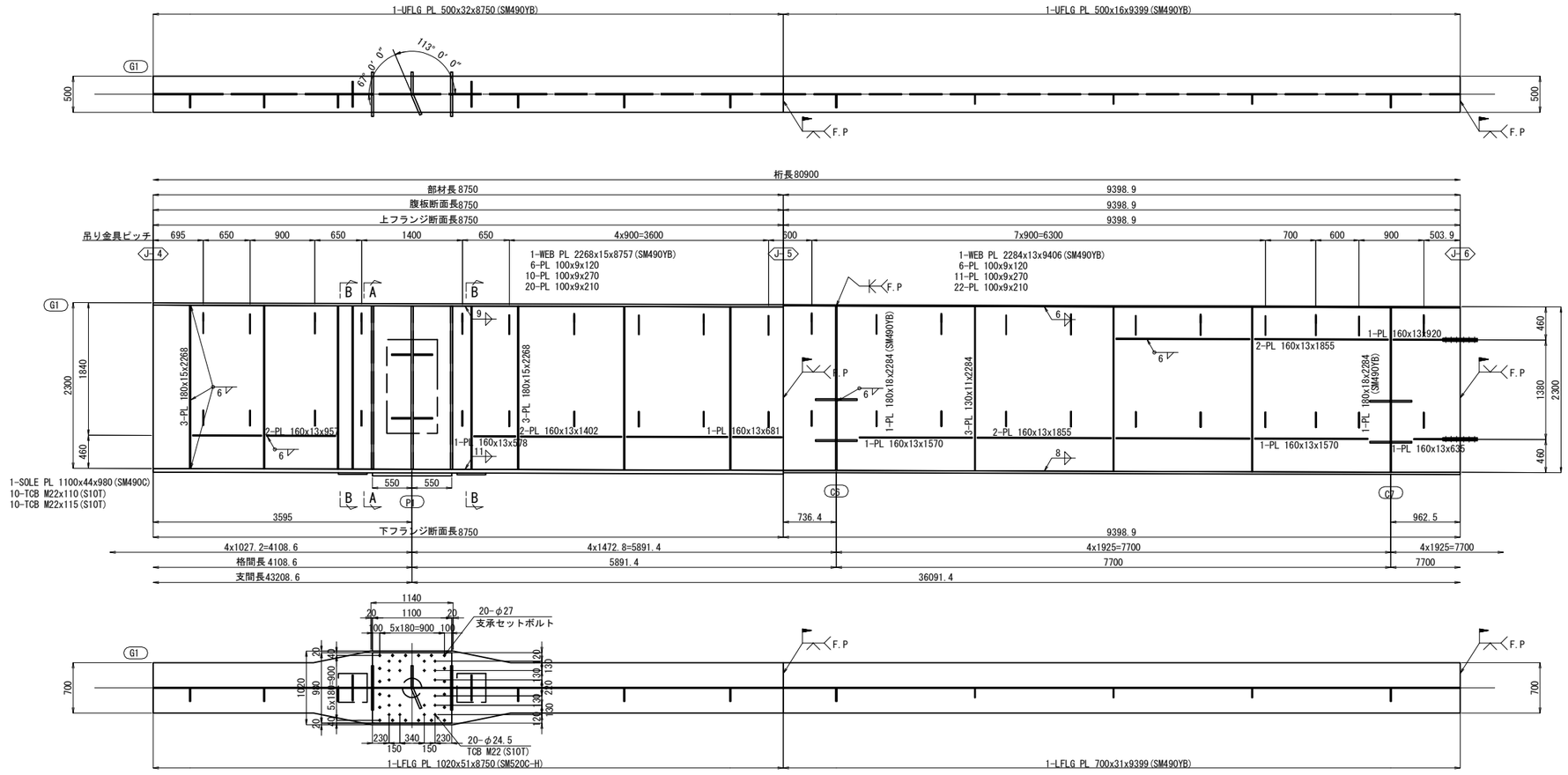
水平補剛材継手詳細　S=1:25



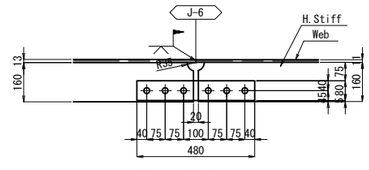
水平補剛材連結部
4-SPL PL 80x13x480(SM490YB)
12-TCB M22x75(S10T)

道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事				
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 主桁Ｇ１（その２）			
縮　　尺	図 示	図面番号	－	
設計会社名	株式会社　建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所			

占冠ＰＡアクセス路橋　主桁Ｇ１（その３）　S=1:75

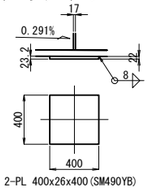


水平補剛材継手詳細　S=1:25



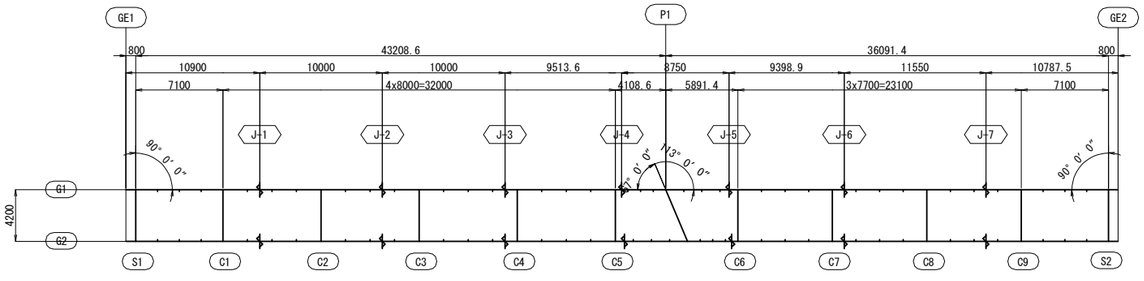
水平補剛材連結部
4-SPL PL 80x13x480(SM490YB)
12-TCB M22x75(S10T)

ジャッキアップベース詳細　S=1:50

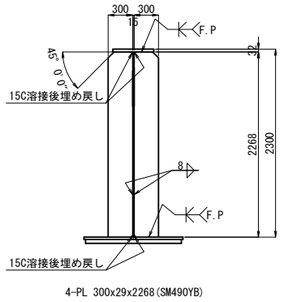


2-PL 400x26x400(SM490YB)

配　置　図

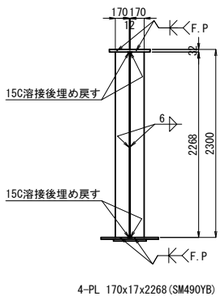


A － A



4-PL 300x29x2268(SM490YB)

B － B

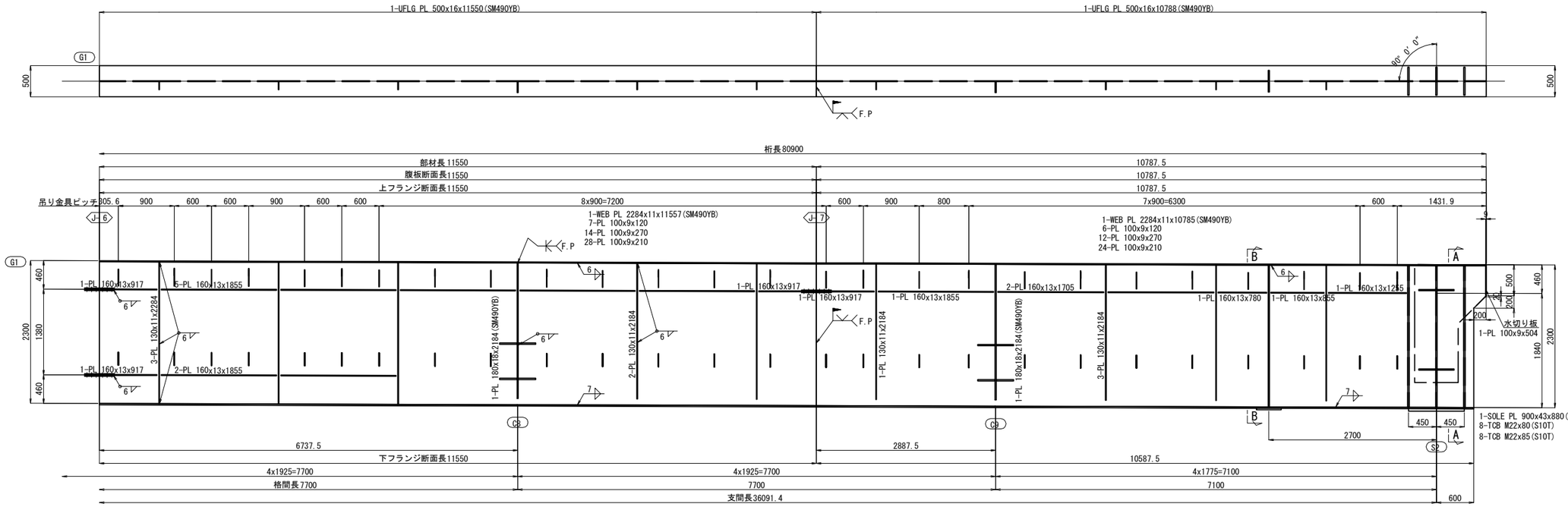


4-PL 170x17x2268(SM490YB)

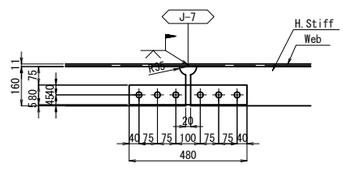
注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ボルト印はTCB(S10T)M22を示す。

道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 主桁Ｇ１（その３）		
縮　尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　主桁Ｇ１（その４）　S=1:75

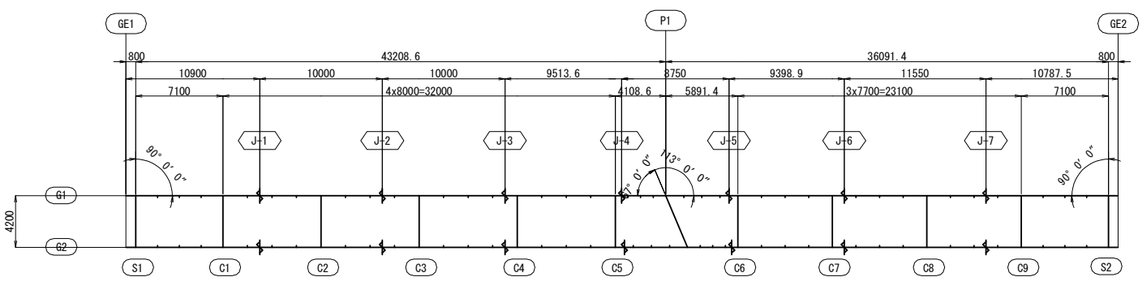


水平補剛材継手詳細　S=1:25

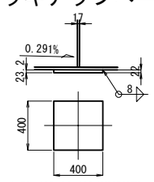


水平補剛材連結部
2-SPL PL 80x13x480(SM490YB)
6-TCB M22x75(S10T)

配　置　図

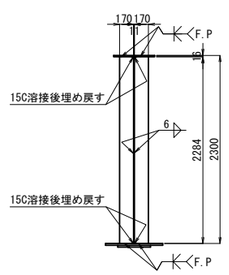


ジャッキアップベース詳細　S=1:50



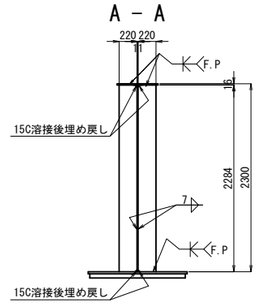
1-PL 400x26x400(SM490YB)

B － B



2-PL 170x17x2284(SM490YB)

A － A

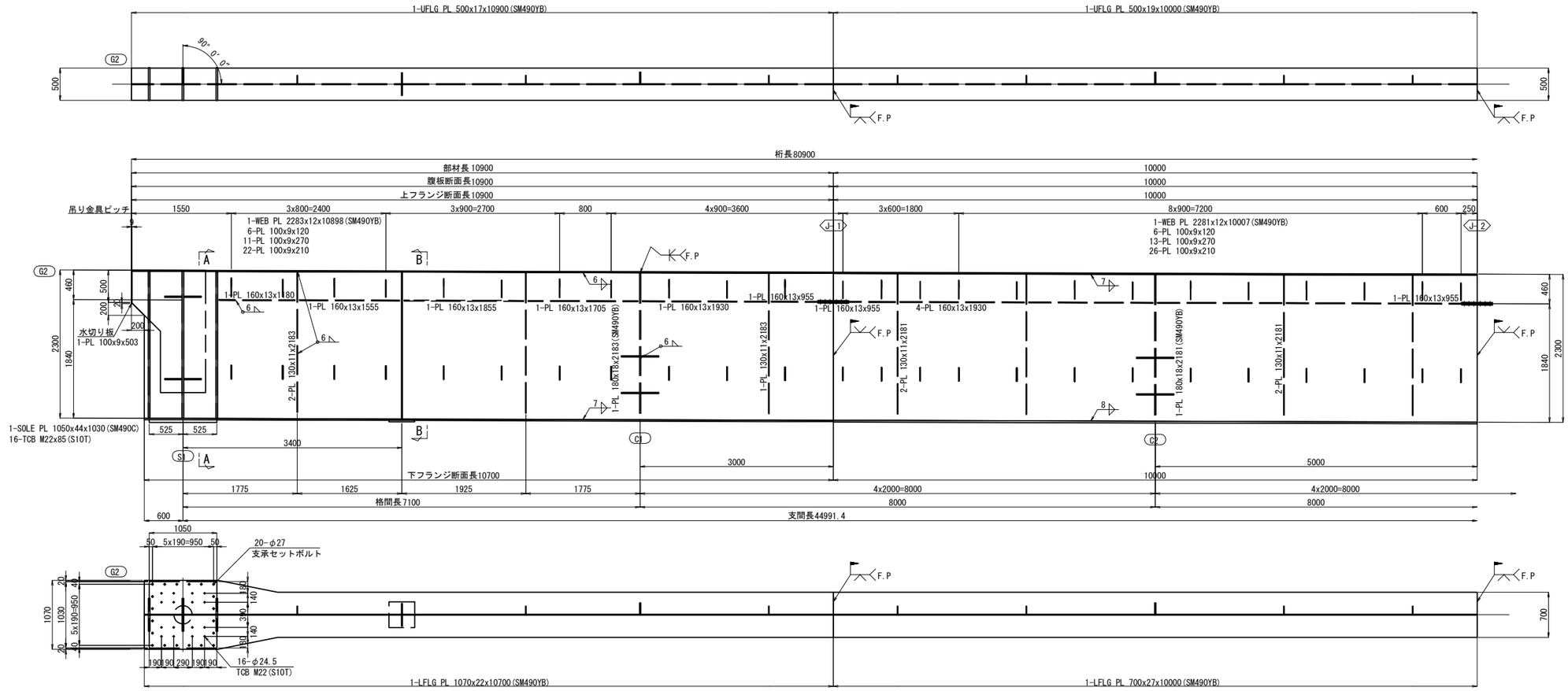


4-PL 220x22x2284(SM490YB)

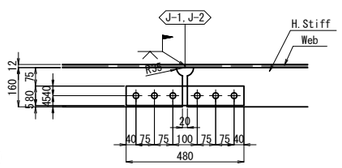
注記
1.特記なき材質は全てSM400Aとする。
2.特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3.ボルト印はTCB(S10T)M22を示す。

道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事				
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 主桁Ｇ１（その４）			
縮　尺	図 示	図面番号	－	
設計会社名	株式会社　建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所			

占冠ＰＡアクセス路橋　主桁Ｇ２（その１）　S=1:75

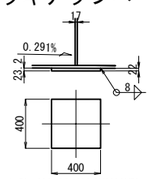


水平補剛材継手詳細　S=1:25



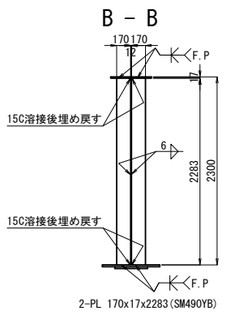
水平補剛材連結部
2-SPL PL 80x13x480(SM490YB)
6-TCB M22x75(S10T)

ジャッキアップベース詳細　S=1:50



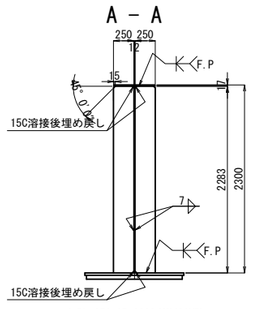
1-PL 400x26x400(SM490YB)

Ｂ－Ｂ



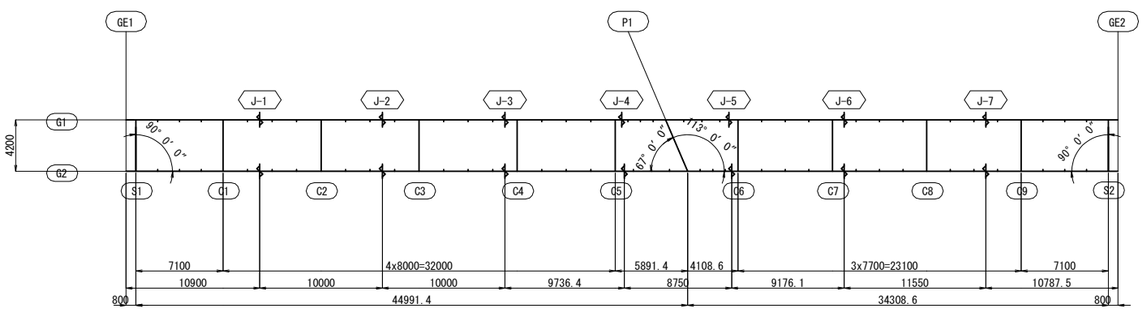
2-PL 170x17x2283(SM490YB)

Ａ－Ａ



4-PL 250x25x2283(SM490YB)

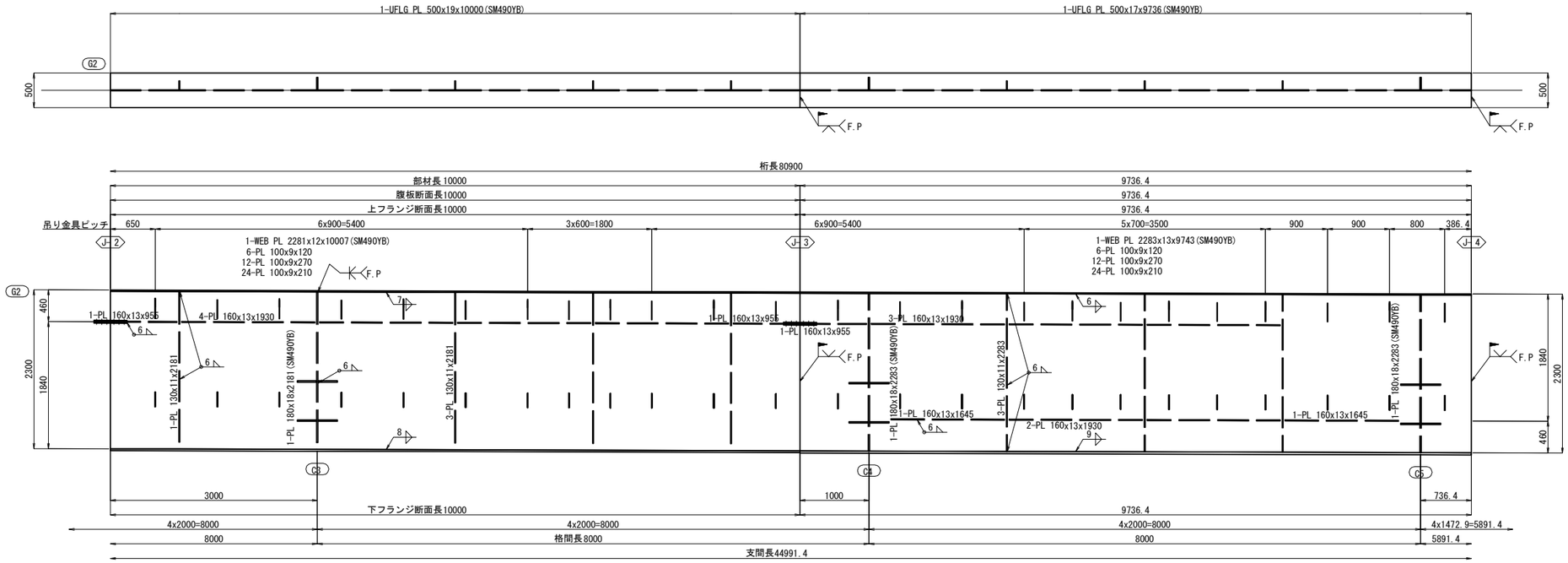
配　置　図

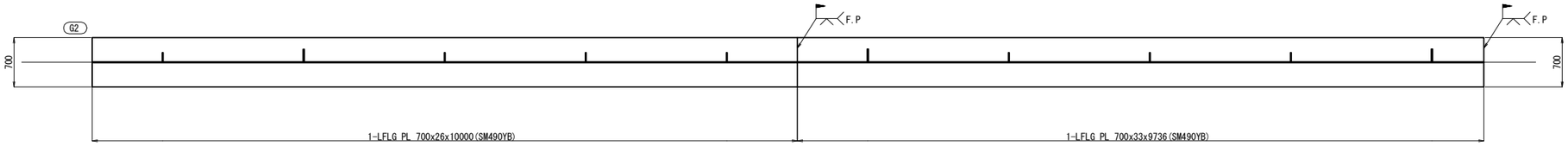


注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ボルト印はTCB(S10T)M22を示す。

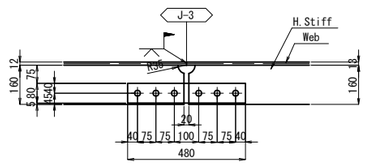
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 主桁Ｇ２（その１）		
縮　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　主桁Ｇ２（その２）　S=1:75



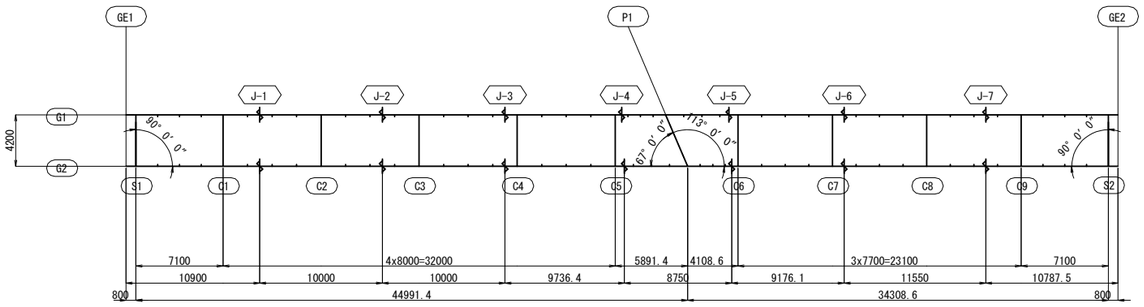


水平補剛材継手詳細　S=1:25



水平補剛材連結部
2-SPL PL 80x13x480(SM490YB)
6-TCB M22x75(S10T)

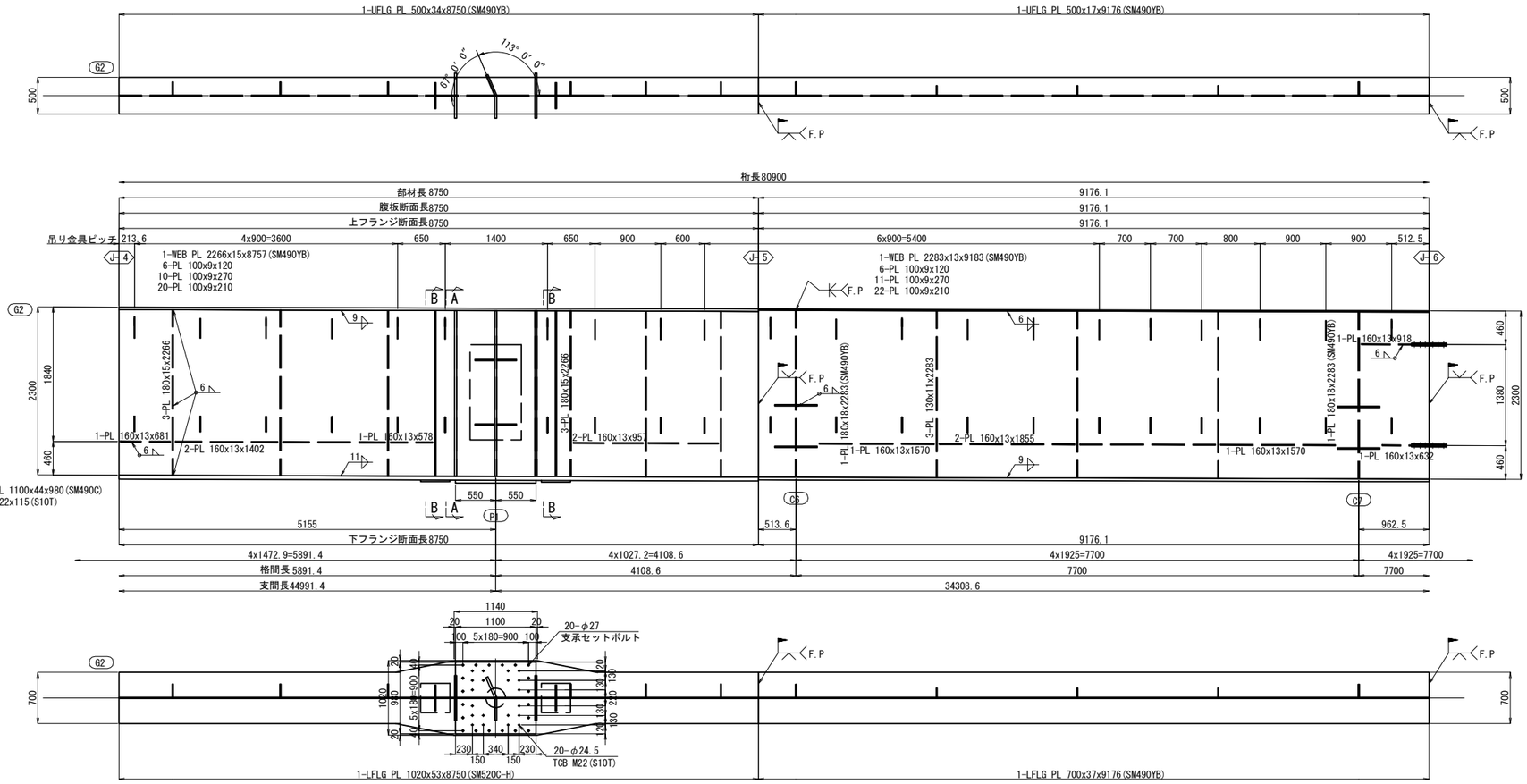
配　置　図



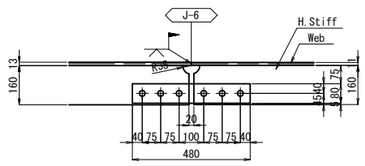
注記
1.特記なき材質は全てSM400Aとする。
2.特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3.ボルト印はTCB(S10T)M22を示す。

道東自動車道 本流戸川第一橋（鋼上部工）工事				
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 主桁Ｇ２（その２）			
縮　　尺	図 示	図面番号	－	
設計会社名	株式会社　建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所			

占冠ＰＡアクセス路橋　主桁Ｇ２（その３）　S=1:75

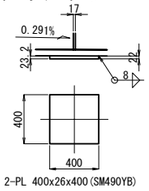


水平補剛材継手詳細　S=1:25



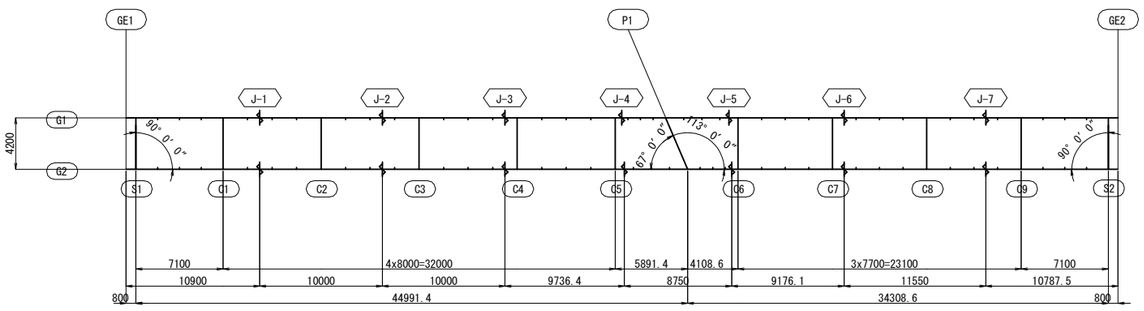
水平補剛材連結部
4-SPL PL 80x13x480(SM490YB)
12-TCB M22x75(S10T)

ジャッキアップベース詳細　S=1:50

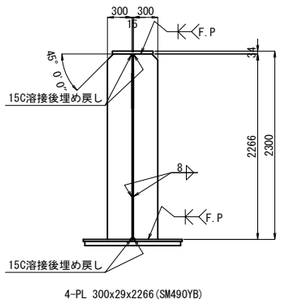


2-PL 400x26x400(SM490YB)

配　置　図

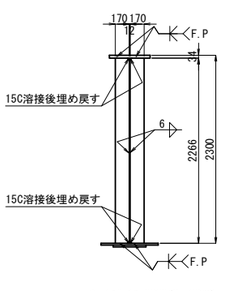


A － A



4-PL 300x29x2266(SM490YB)

B － B

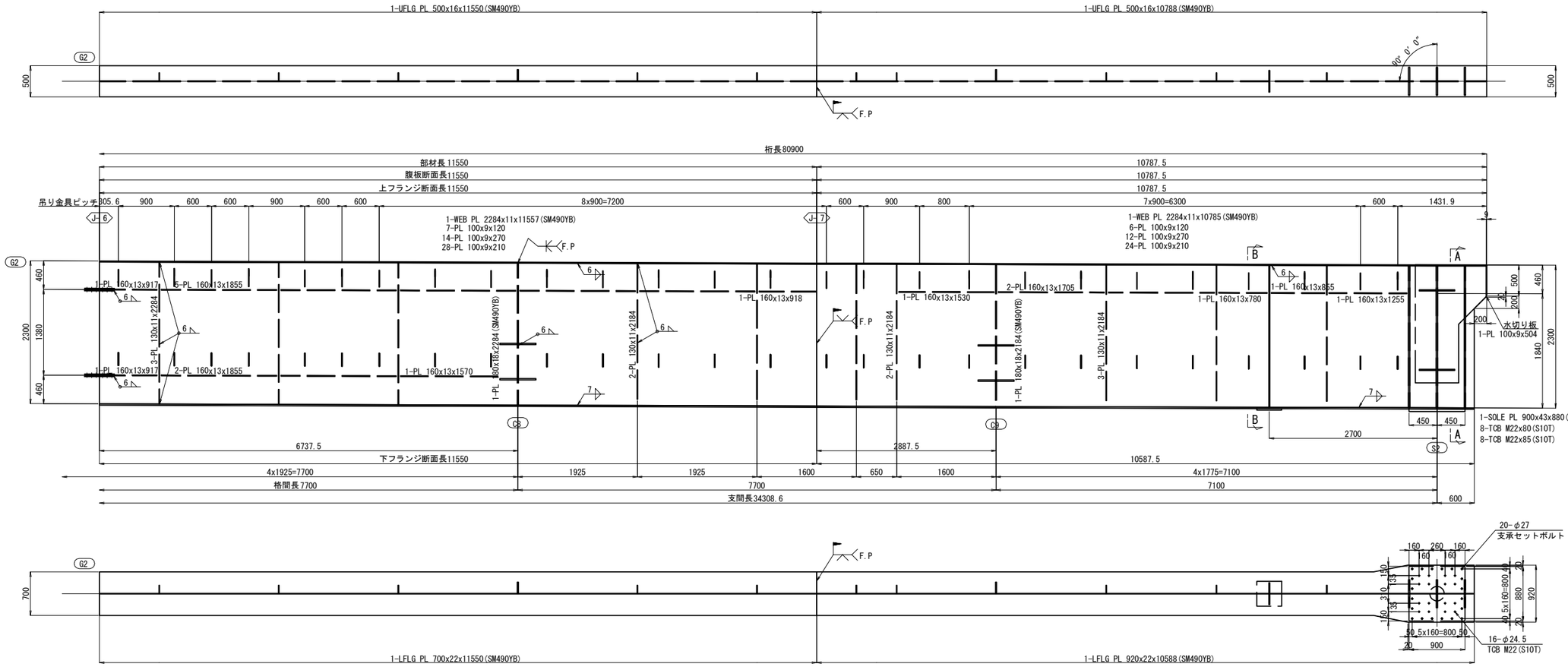


4-PL 170x17x2266(SM490YB)

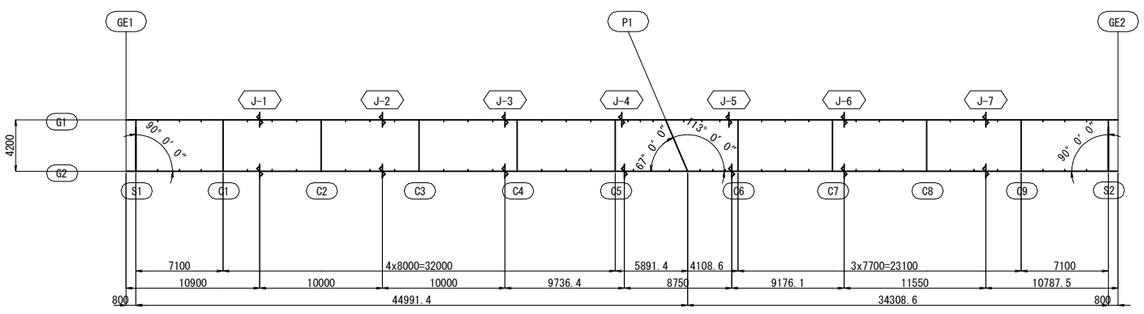
注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ボルト印はTCB(S10T)M22を示す。

道東自動車道 本流覇川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 主桁Ｇ２（その３）		
縮　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

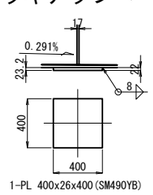
占冠ＰＡアクセス路橋　主桁Ｇ２（その４）　S=1:75



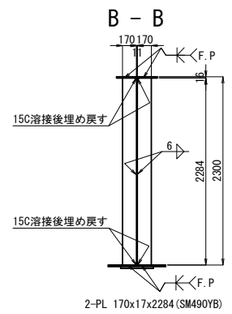
配　置　図



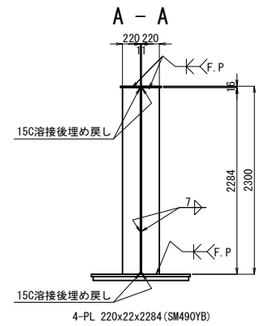
ジャッキアップベース詳細　S=1:50



B － B



A － A

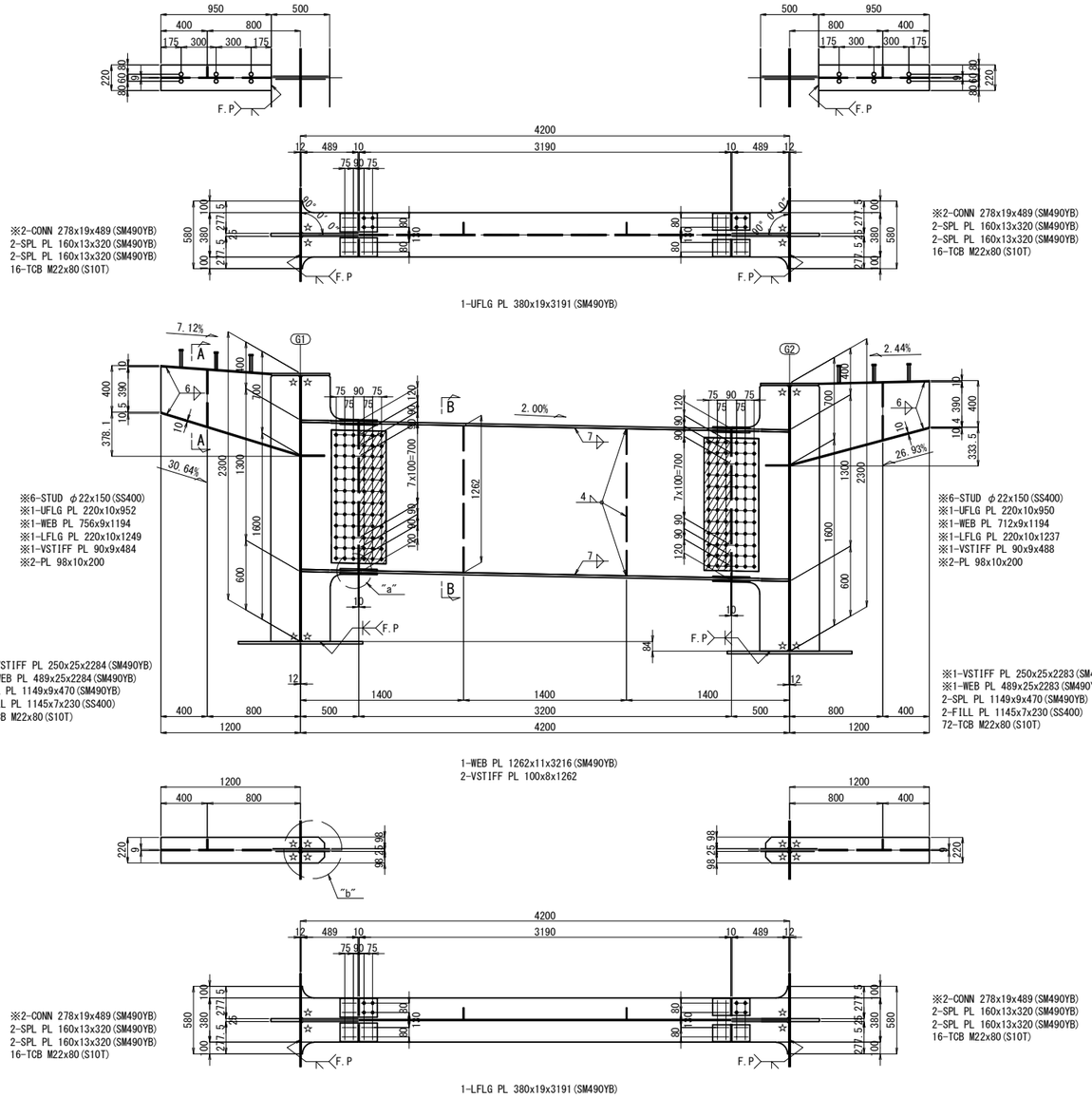


注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。

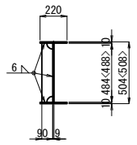
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事	
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 主桁Ｇ２（その４）
縮　尺	図 示　図面番号　－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所

占冠ＰＡアクセス路橋　横桁図（その１）　S=1:50

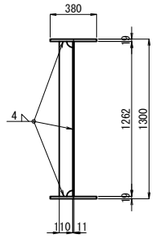
端支点上横桁S1



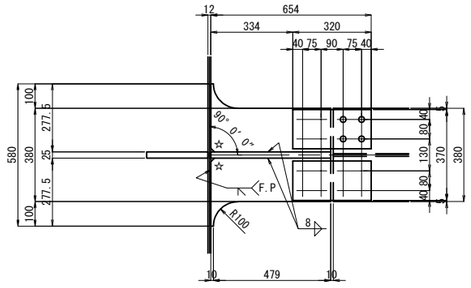
A - A



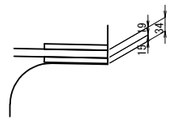
B - B



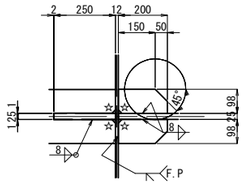
フランジ添接詳細図　S=1:25



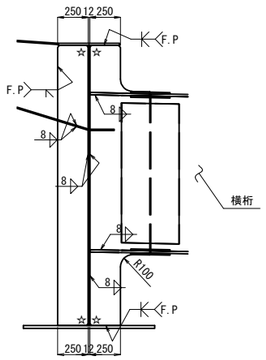
"a"部詳細　S=1:15



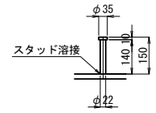
"b"部詳細　S=1:25



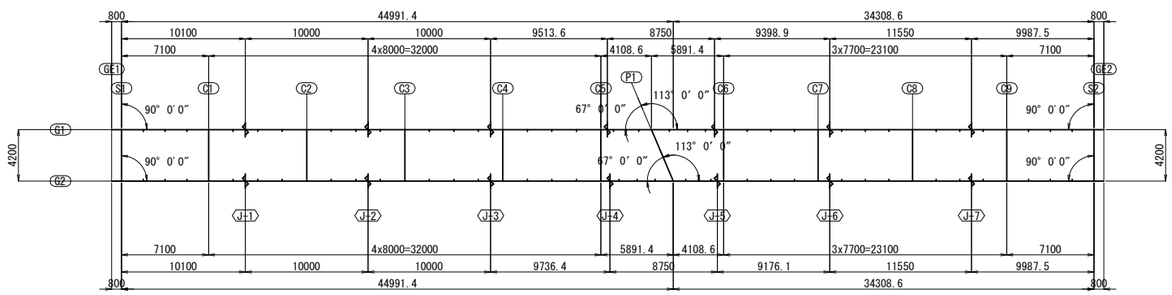
主桁V.STIFFと横桁FLG及び ブラケットFLGとの溶接詳細



スタッド配置詳細　S=1:25



配　置　図

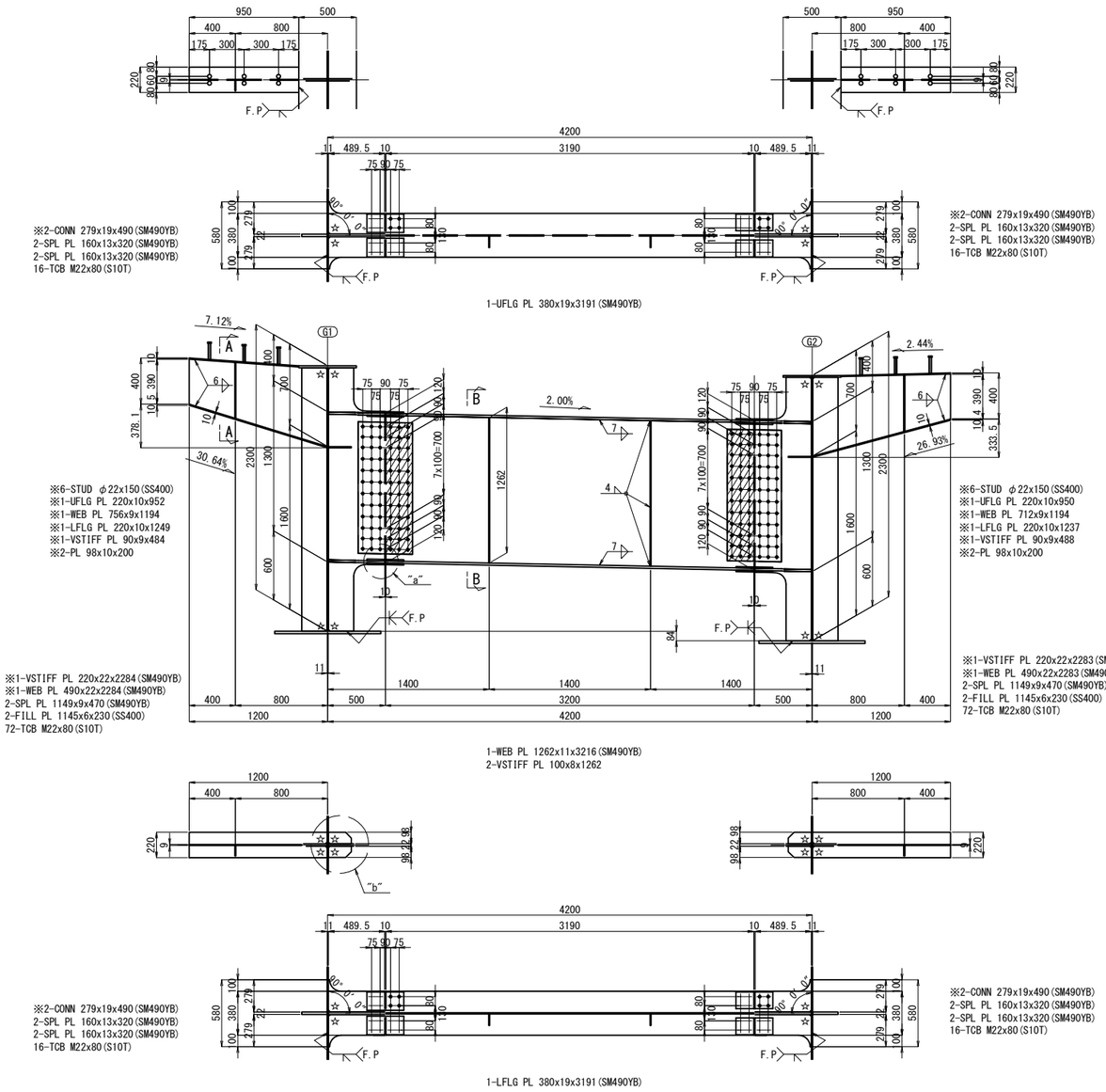


注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ボルト印はTCB(S10T)M22を示す。
4. 数量は主桁にて計上のこと。
5. ☆印部は、15C溶接後埋め戻しとする。
6. 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。

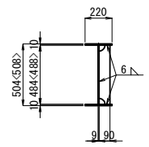
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 横桁図（その１）		
縮　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　横桁図（その２）　S=1:50

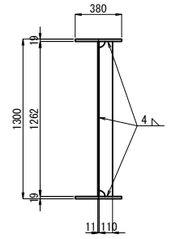
端支点上横桁S2



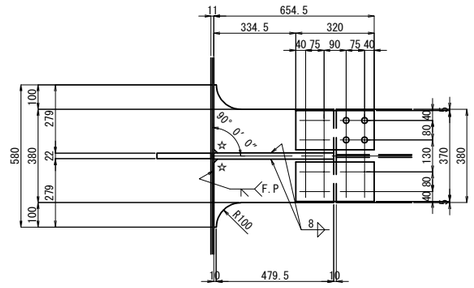
A － A



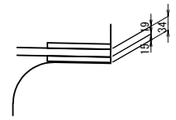
B － B



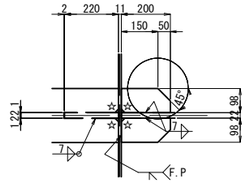
フランジ添接詳細図　S=1:25



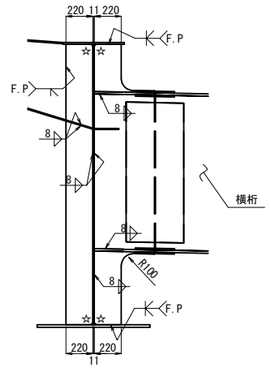
"a"部詳細　S=1:15



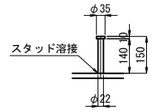
"b"部詳細　S=1:25



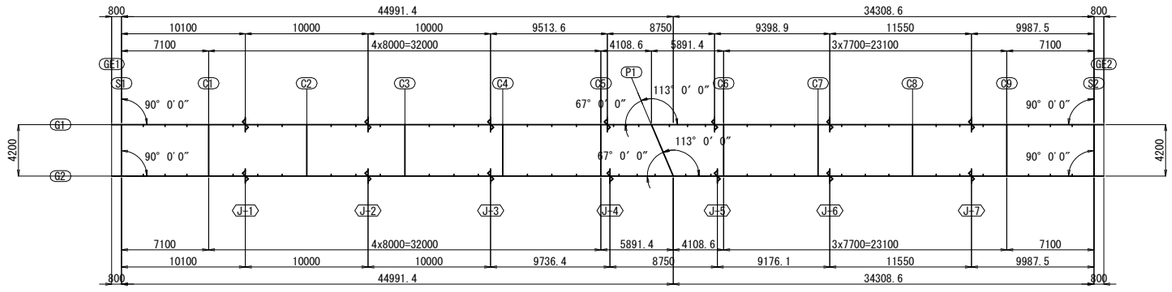
主桁V.STIFFと横桁FLG及び ブラケットFLGとの溶接詳細



スタッド配置詳細　S=1:25



配　置　図

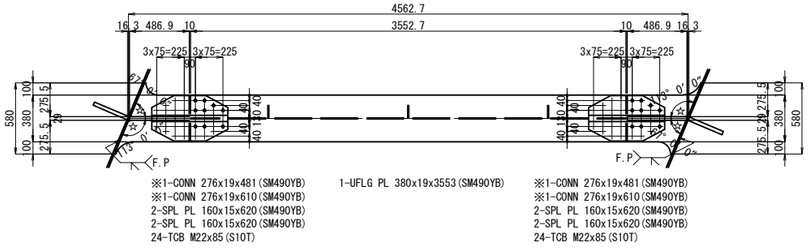


注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ボルト印はTCB(S10T)M22を示す。
4. ※印付きの数量は主桁にて計上のこと。
5. ☆印部は、15C溶接後埋め戻しとする。
6. 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。

道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 横桁図（その２）		
縮　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　横桁図（その３）　S=1:50

中間支点上横桁P1

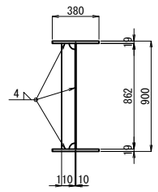


※1-CONN 276x19x481(SM490YB)
※1-CONN 276x19x610(SM490YB)
2-SPL PL 160x15x620(SM490YB)
2-SPL PL 160x15x620(SM490YB)
24-TCB M22x85(S10T)

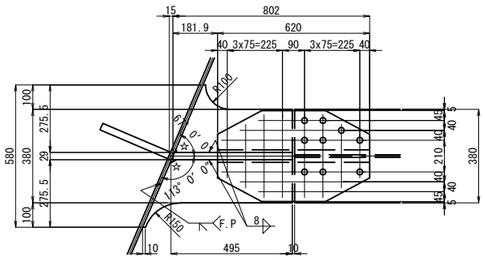
1-UFLG PL 380x19x3553(SM490YB)

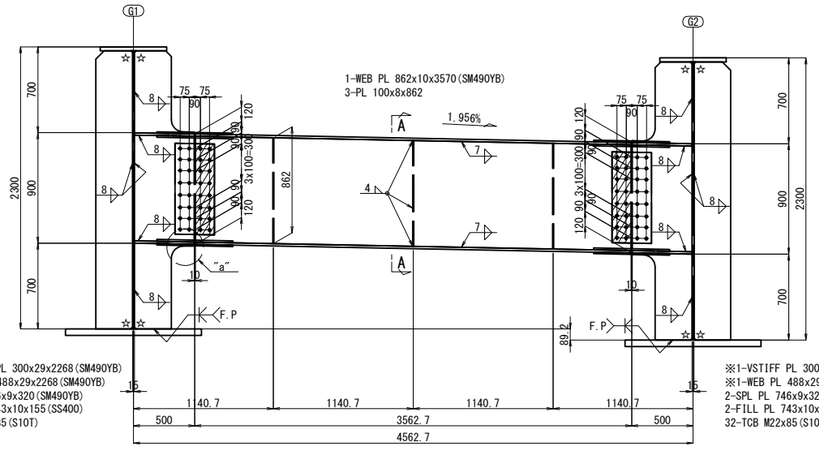
※1-CONN 276x19x481(SM490YB)
※1-CONN 276x19x610(SM490YB)
2-SPL PL 160x15x620(SM490YB)
2-SPL PL 160x15x620(SM490YB)
24-TCB M22x85(S10T)

A － A



フランジ添接詳細図　S=1:25

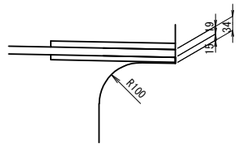


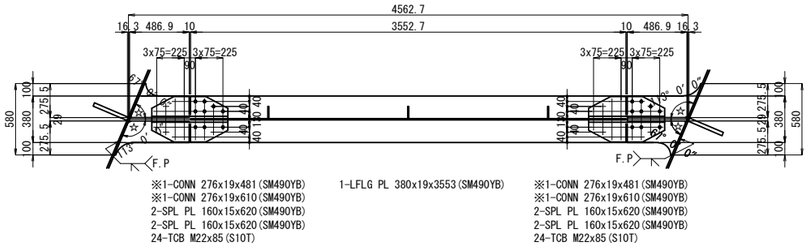


※1-VSTIFF PL 300x29x2268(SM490YB)
※1-WEB PL 488x29x2268(SM490YB)
2-SPL PL 746x9x320(SM490YB)
2-FILL PL 743x10x155(SS400)
32-TCB M22x85(S10T)

※1-VSTIFF PL 300x29x2266(SM490YB)
※1-WEB PL 488x29x2266(SM490YB)
2-SPL PL 746x9x320(SM490YB)
2-FILL PL 743x10x155(SS400)
32-TCB M22x85(S10T)

"a"部詳細　S=1:15



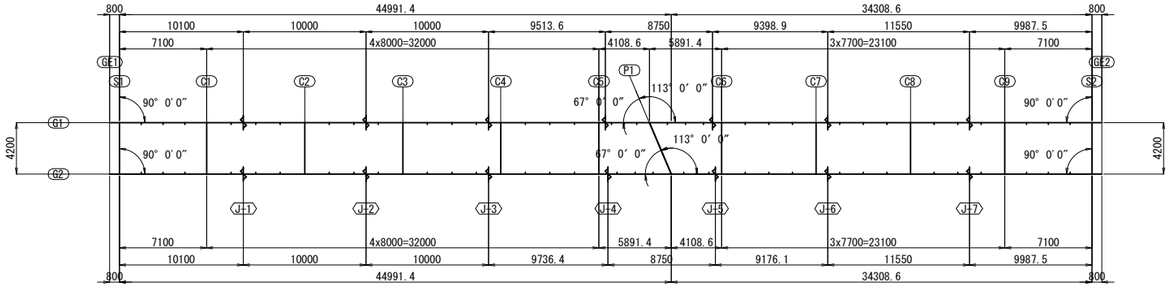


※1-CONN 276x19x481(SM490YB)
※1-CONN 276x19x610(SM490YB)
2-SPL PL 160x15x620(SM490YB)
2-SPL PL 160x15x620(SM490YB)
24-TCB M22x85(S10T)

1-LFLG PL 380x19x3553(SM490YB)

※1-CONN 276x19x481(SM490YB)
※1-CONN 276x19x610(SM490YB)
2-SPL PL 160x15x620(SM490YB)
2-SPL PL 160x15x620(SM490YB)
24-TCB M22x85(S10T)

配　置　図

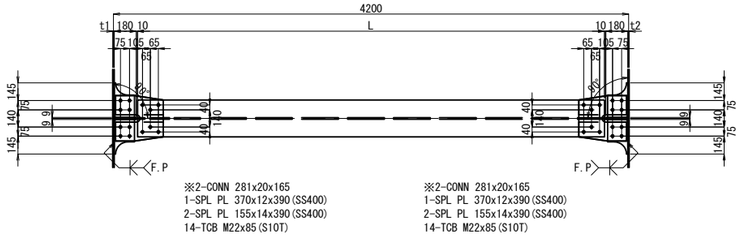


注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ボルト印はTCB(S10T)M22を示す。
4. ※印付きの数量は主桁にて計上のこと。
5. ☆印部は、15C溶接後埋め戻しとする。
6. 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。

道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 横桁図（その３）		
縮　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

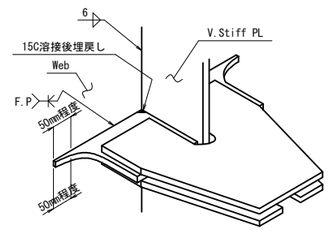
占冠ＰＡアクセス路橋　横桁図（その４）　S=1:50

中間横桁C1～C9

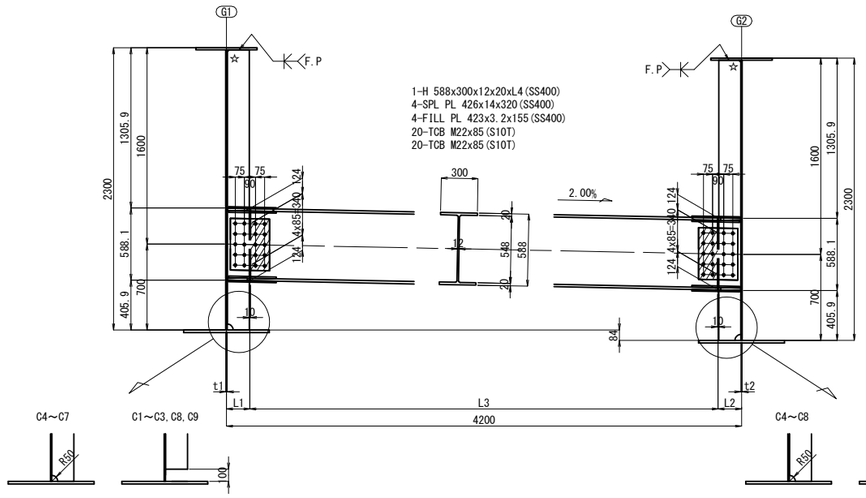


	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9
t1	12	11	12	14	14	13	13	11	11
t2	12	12	12	13	13	13	13	11	11
L	3808	3808.5	3808	3806.5	3806.5	3807	3807	3809	3809
L1	191	190.5	191	192	192	192	192	190.5	190.5
L2	191	191	191	191.5	191.5	191.5	191.5	190.5	190.5
L3	3818	3818.5	3818	3816.5	3816.5	3816.5	3816.5	3819	3819
L4	3821	3821	3821	3819	3819	3820	3820	3822	3822

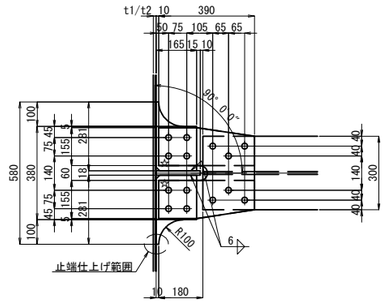
溶接仕上げ範囲詳細



注）まわし溶接を含むConn.PL端部付近の腹板側の溶接止端部は、
肉盛溶接後滑らかにグラインダーで仕上げる。

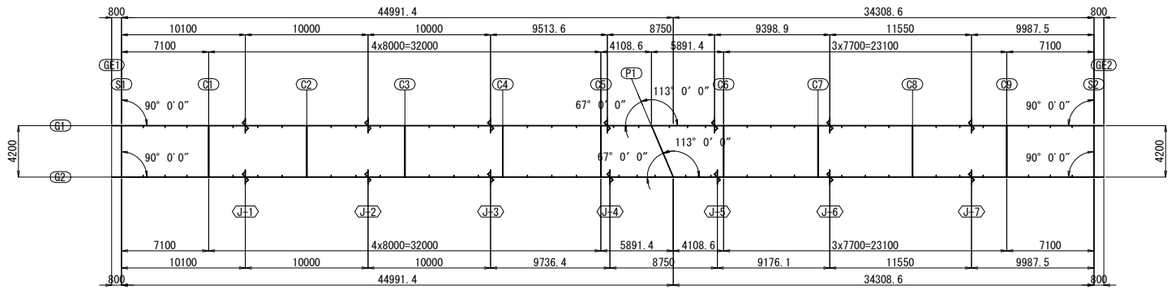


フランジ添接詳細図　S=1:25



止端仕上げ範囲

配　置　図

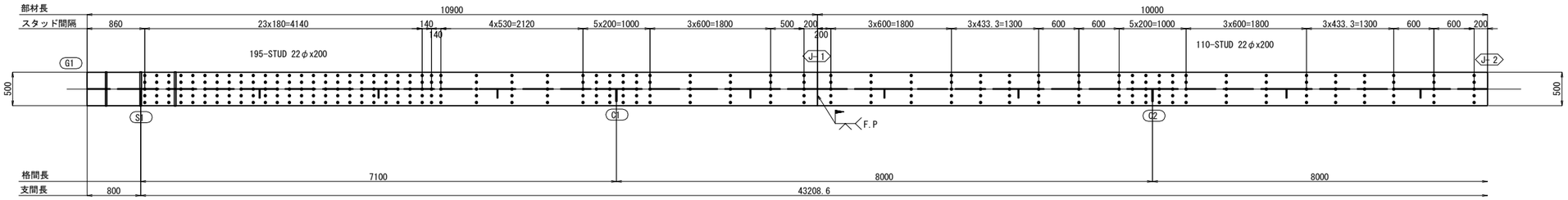


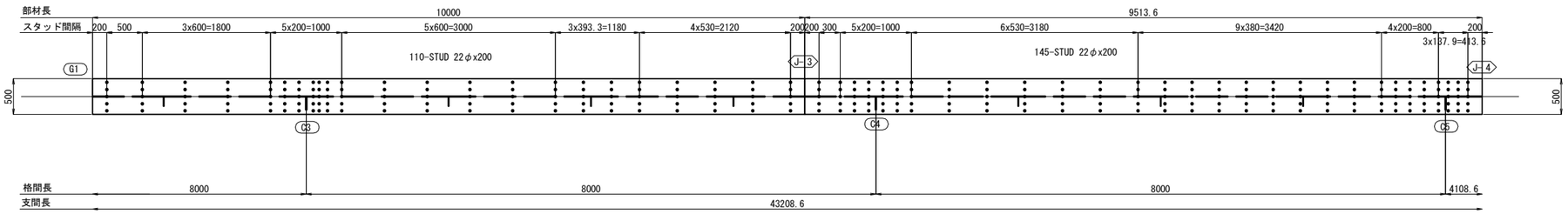
注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
3. ボルト印はTCB(S10T)M22を示す。
4. ※印付きの数量は主桁にて計上のこと。
5. ☆印部は、15Q溶接後埋め戻しとする。
6. 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。

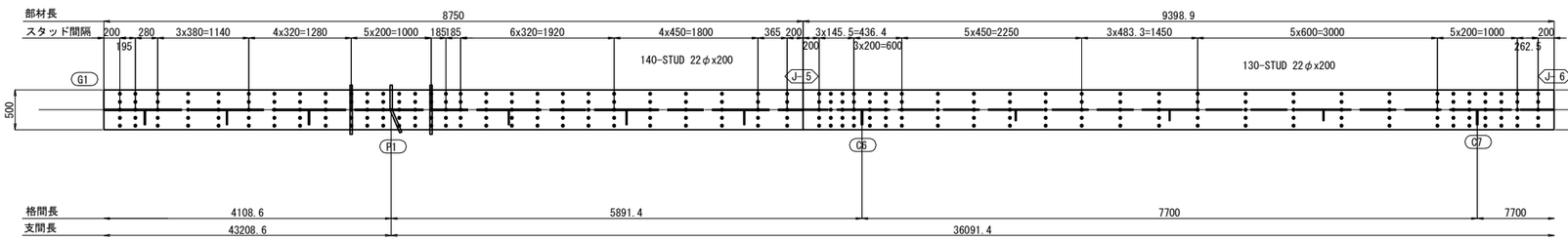
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 横桁図（その４）		
縮　　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

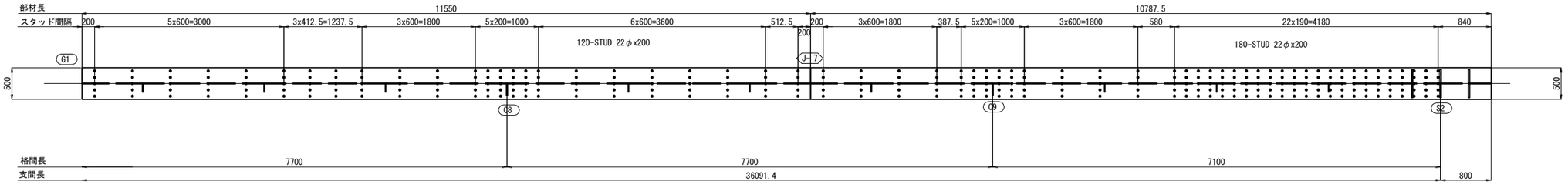
占冠ＰＡアクセス路橋　スタッドジベル配置図（その１） S=1:75

G1

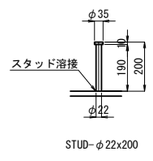






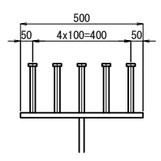


スタッド配置詳細 S=1:25



STUD-φ22x200

スタッドジベル詳細 S=1:25

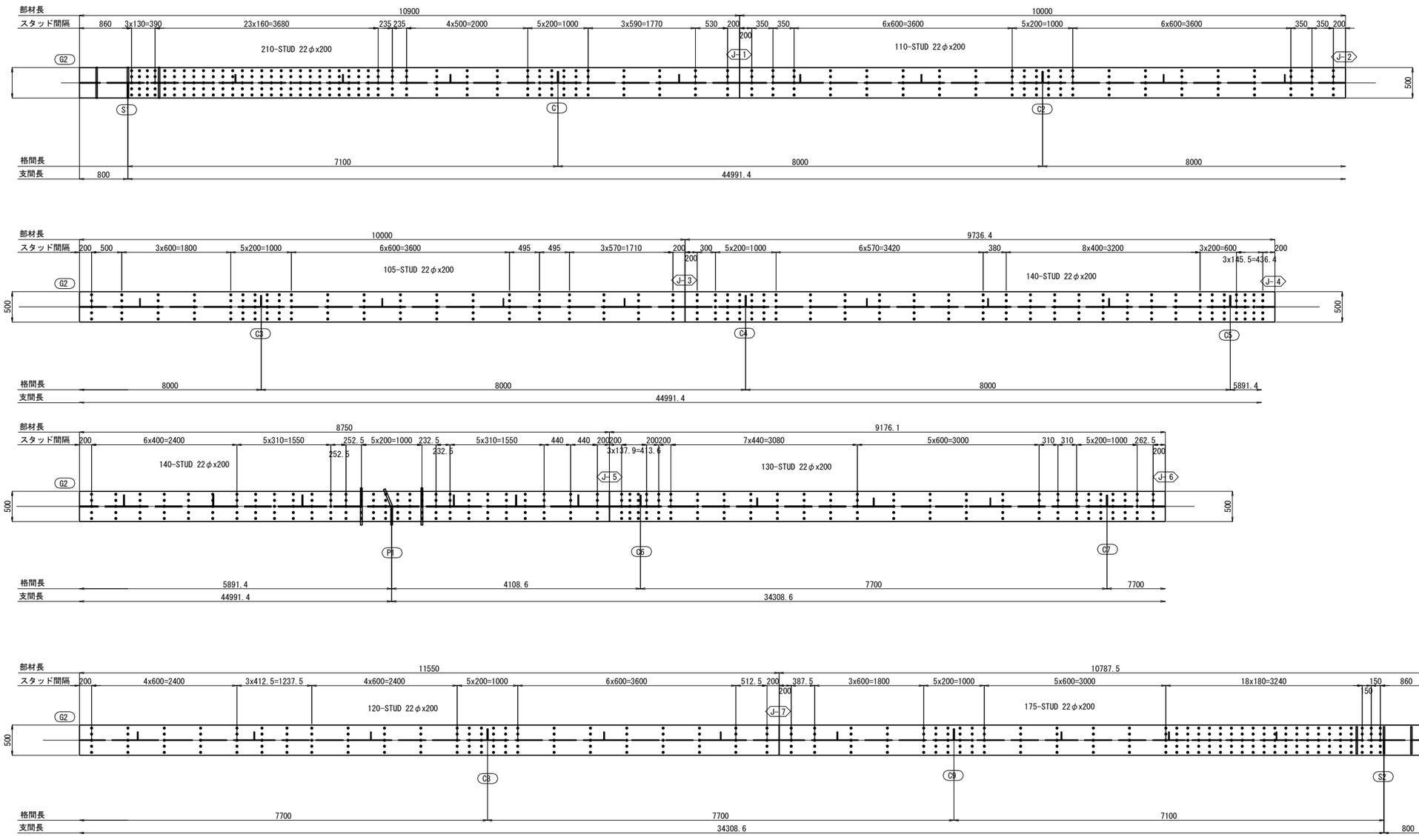


注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 主桁上フランジ現場溶接付近のスタッド溶接
　製作時に位置を調整したうえで溶接とする。

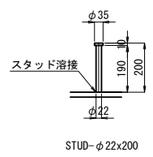
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 スタッドジベル配置図（その１）		
縮　　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　スタッドジベル配置図（その２） S=1:75

G2

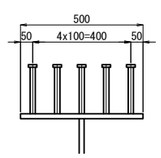


スタッド配置詳細 S=1:25



STUD-φ22x200

スタッドジベル詳細 S=1:25

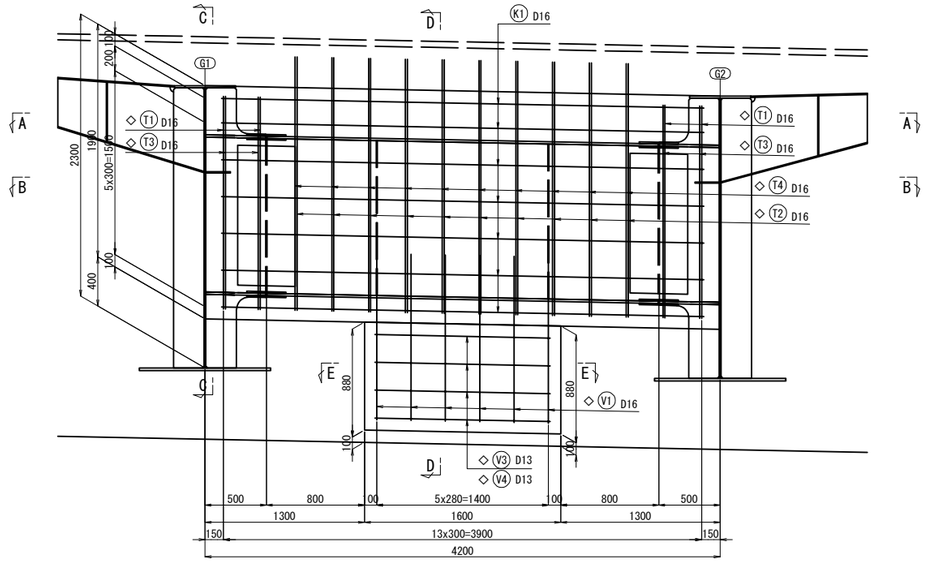


注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 主桁上フランジ現場溶接付近のスタッド溶接は、製作時に位置を調整したうえで溶接とする。

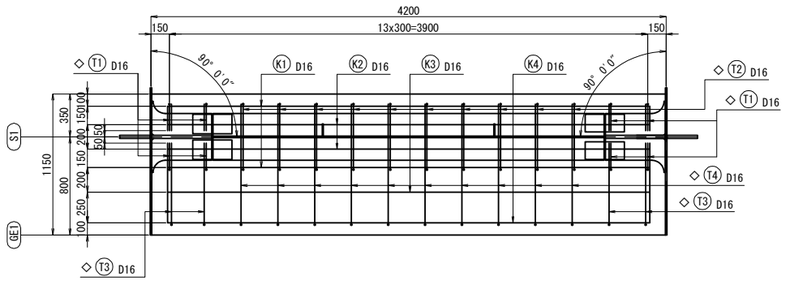
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事				
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 スタッドジベル配置図（その２）			
縮　　尺	図 示	図面番号	－	
設計会社名	株式会社　建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所			

占冠ＰＡアクセス路橋　巻き立てコンクリート図（その１） S=1:50

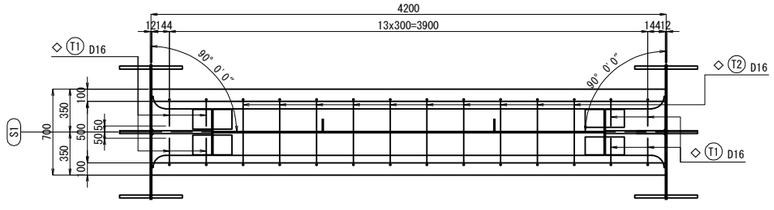
S1



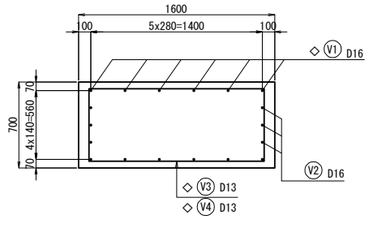
A － A



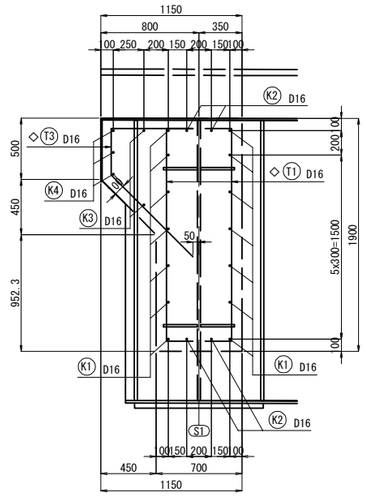
B － B



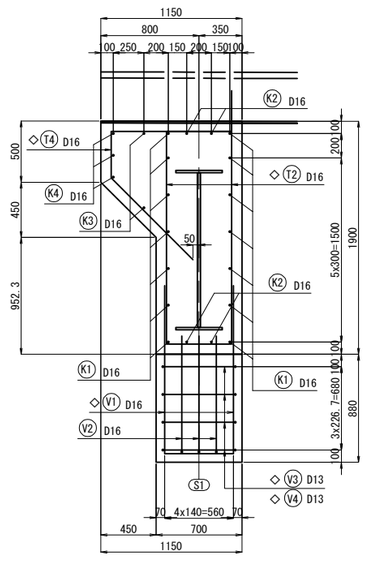
E － E



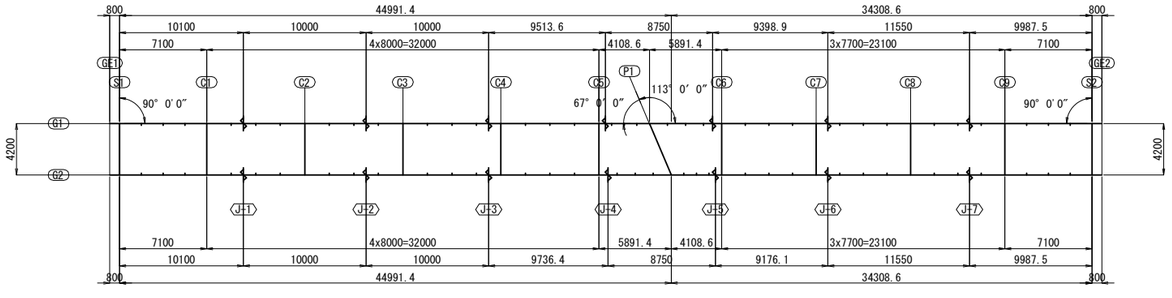
C － C



D － D



配　置　図



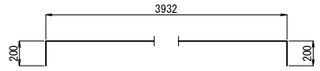
注 記

1. 特記なき鉄筋材質は、全てSD345とする。
2. コンクリートの設計基準強度はσck=30N/mm2とする。
3. ◇鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。

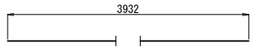
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 巻き立てコンクリート図（その１）		
縮　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　巻き立てコンクリート図（その２）　S=1:50

S1

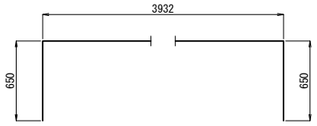


Ⓚ1 14-D16x4290

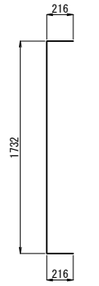


Ⓚ2 4-D16x3940

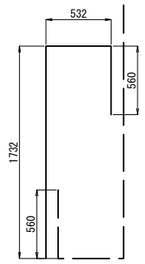
Ⓚ3 2-D16x4690



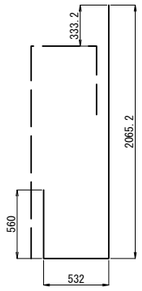
Ⓚ4 3-D16x5190



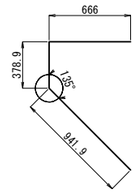
◇ Ⓣ1 8-D16x2130



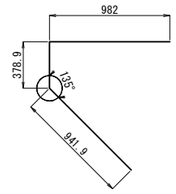
◇ Ⓣ2₋1 10-D16x2790



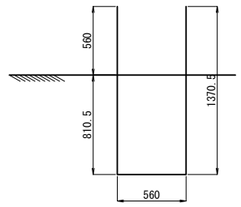
◇ Ⓣ2₋2 10-D16x3120



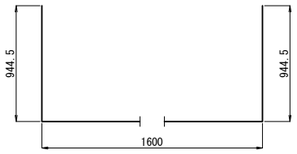
◇ Ⓣ3 4-D16x1970



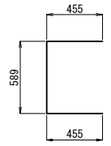
◇ Ⓣ4 10-D16x2280



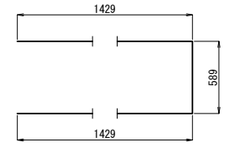
◇ Ⓥ1 6-D16x3260



Ⓥ2 3-D16x3450



◇ Ⓥ3 4-D13x1470

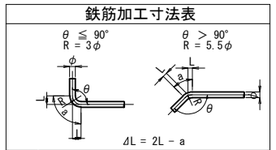


◇ Ⓥ4 4-D13x3420

端支点S1

	記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘　要
	K1	D16	4290	14	1.56	6.7	94	
	K2	D16	3940	4	1.56	6.2	25	
	K3	D16	4690	2	1.56	7.3	15	
	K4	D16	5190	3	1.56	8.1	24	
◇	T1	D16	2130	8	1.56	3.3	27	
◇	T2-1	D16	2790	10	1.56	4.4	44	
◇	T2-2	D16	3120	10	1.56	4.9	49	
◇	T3	D16	1970	4	1.56	3.1	12	
◇	T4	D16	2280	10	1.56	3.6	36	
◇	V1	D16	3260	6	1.56	5.09	31	
	V2	D16	3450	3	1.56	5.38	16	
◇	V3	D13	1470	4	0.995	1.46	6	
◇	V4	D13	3420	4	0.995	3.40	14	
							393 Kg	
	鉄筋							
◇	エポキシ樹脂塗装鉄筋	D13	(SD345)				20 Kg	
◇	エポキシ樹脂塗装鉄筋	D16	(SD345)				199 Kg	
		D16	(SD345)				174 Kg	
	コンクリート体積(σck=30N/mm2)						7.94 m3	
	型枠面積						21.71 m2	

鉄筋加工寸法表



径	θ = 90°			θ = 135°		
	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D13	39	61	17	71.5	56	3
D16	48	75	21	88	69	4

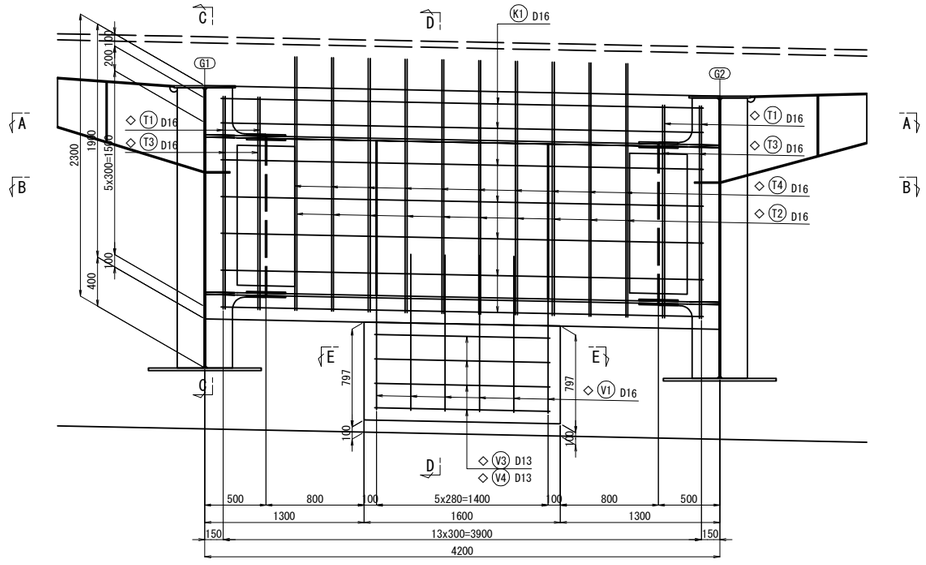
注 記

1. 特記なき鉄筋材質は、全てSD345とする。
2. コンクリートの設計基準強度はσck=30N/mm2とする。
3. ◇鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。

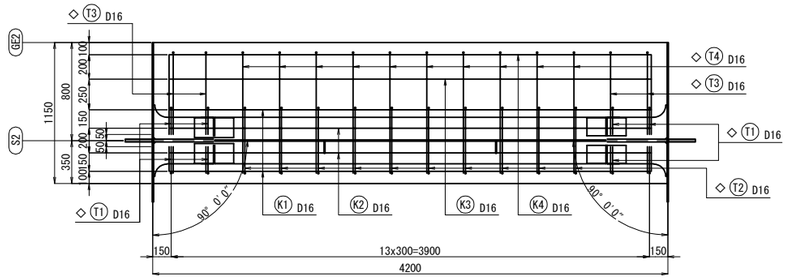
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 巻き立てコンクリート図（その２）		
縮　　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　巻き立てコンクリート図（その３）　S=1:50

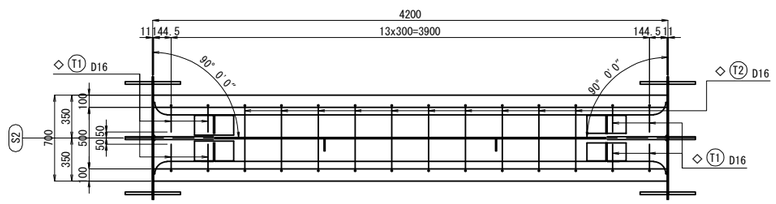
S2



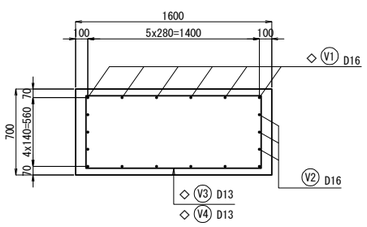
A － A



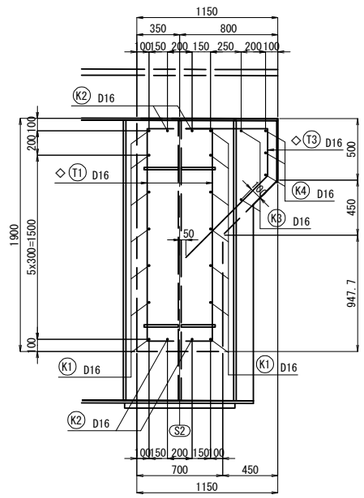
B － B



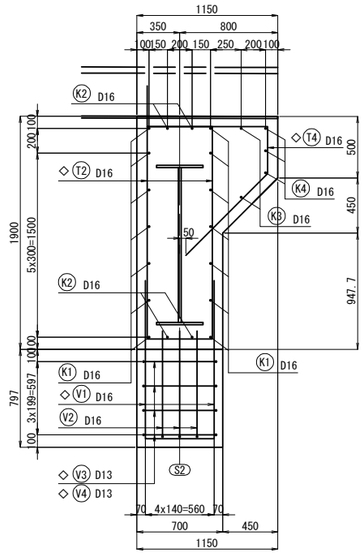
E － E



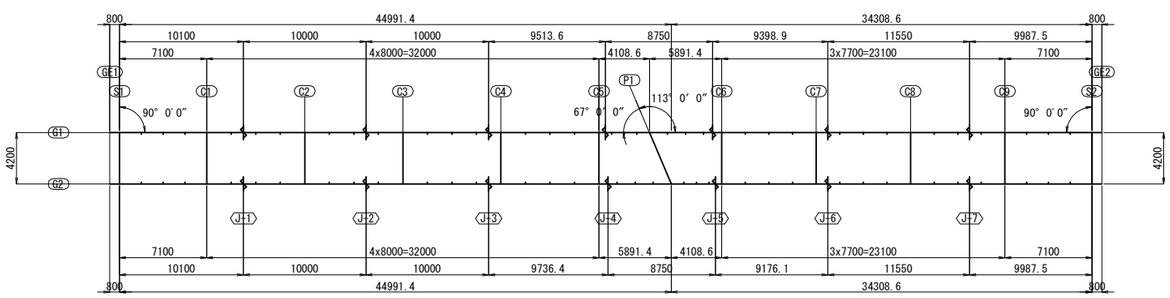
C － C



D － D



配　置　図



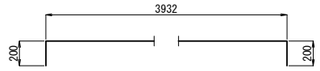
注 記

1. 特記なき鉄筋材質は、全てSD345とする。
2. コンクリートの設計基準強度はσck=30N/mm2とする。
3. ◇鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。

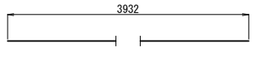
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 巻き立てコンクリート図（その３）		
縮　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　巻き立てコンクリート図（その４）　S=1:50

S2



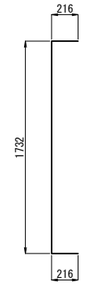
(K1) 14-D16x4290



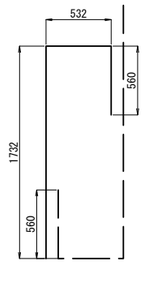
(K2) 4-D16x3940

(K3) 2-D16x4690

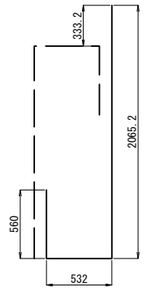
(K4) 3-D16x5190



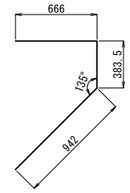
(T1) 8-D16x2130



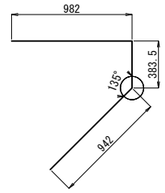
◇ (T2)$_{-1}$ 10-D16x2790



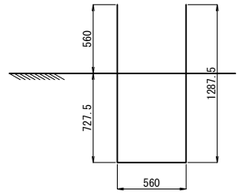
◇ (T2)$_{-2}$ 10-D16x3120



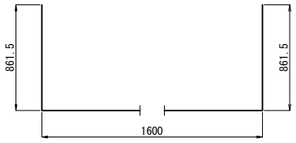
◇ (T3) 4-D16x1970



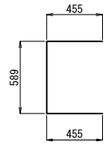
◇ (T4) 10-D16x2290



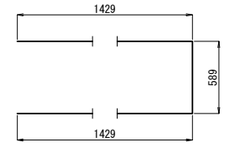
◇ (V1) 6-D16x3100



(V2) 3-D16x3290



◇ (V3) 4-D13x1470

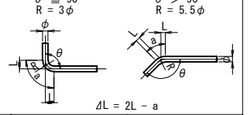


◇ (V4) 4-D13x3420

端支点S2

	記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘　要
	K1	D16	4290	14	1.56	6.7	94	
	K2	D16	3940	4	1.56	6.2	25	
	K3	D16	4690	2	1.56	7.3	15	
	K4	D16	5190	3	1.56	8.1	24	
◇	T1	D16	2130	8	1.56	3.3	27	
◇	T2-1	D16	2790	10	1.56	4.4	44	
◇	T2-2	D16	3120	10	1.56	4.9	49	
◇	T3	D16	1970	4	1.56	3.1	12	
◇	T4	D16	2290	10	1.56	3.6	36	
◇	V1	D16	3100	6	1.56	4.84	29	
	V2	D16	3290	3	1.56	5.13	15	
◇	V3	D13	1470	4	0.995	1.45	6	
◇	V4	D13	3420	4	0.995	3.40	14	
							390 Kg	
	鉄筋							
◇	エポキシ樹脂塗装鉄筋	D13	(SD345)				20 Kg	
◇	エポキシ樹脂塗装鉄筋	D16	(SD345)				197 Kg	
		D16	(SD345)				173 Kg	
	コンクリート体積(σck=30N/mm2)						7.85 m3	
	型枠面積						21.51 m2	

鉄筋加工寸法表



径	θ = 90°			θ = 135°		
	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D13	39	61	17	71.5	56	3
D16	48	75	21	88	69	4

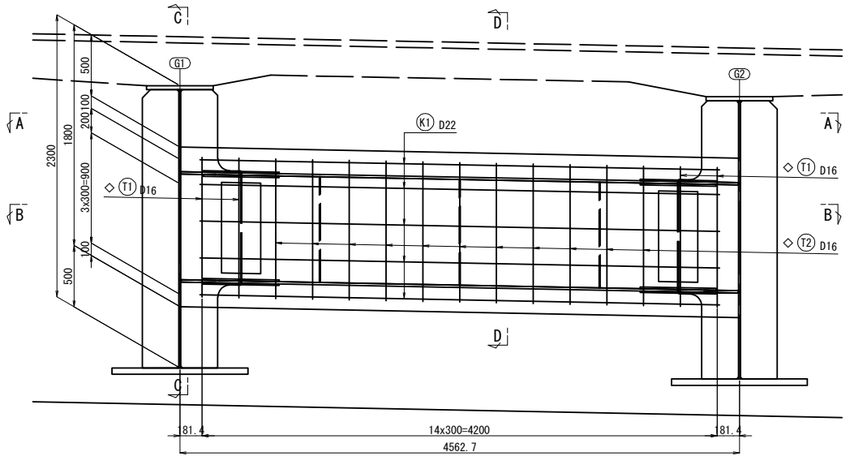
注 記

1. 特記なき鉄筋材質は、全てSD345とする。
2. コンクリートの設計基準強度はσck=30N/mm2とする。
3. ◇鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。

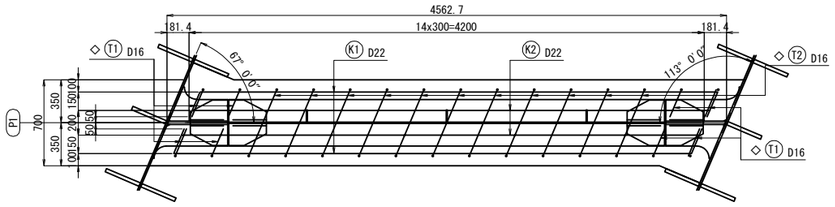
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 巻き立てコンクリート図（その４）		
縮　　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　巻き立てコンクリート図（その５）　S=1:50

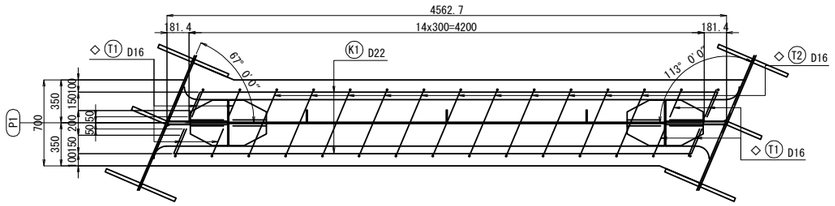
P1



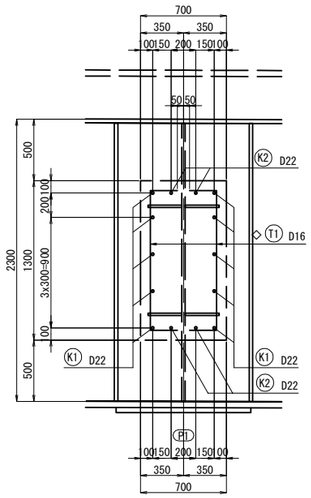
A － A



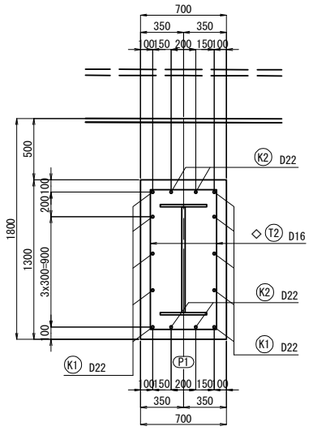
B － B



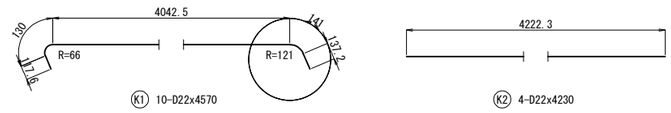
C － C



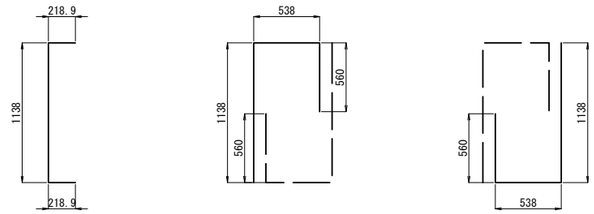
D － D



鉄筋加工図



K1 10-D22x4570　　K2 4-D22x4230

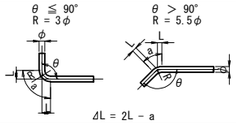


◇T1 8-D16x1540　　◇T2₋₁ 11-D16x2200　　◇T2₋₂ 11-D16x2200

中間支点P1

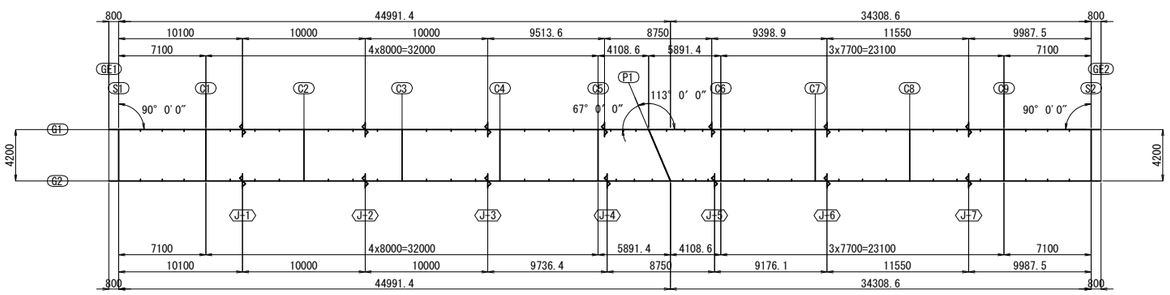
	記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘　要
	K1	D22	4570	10	3.04	13.9	139	
	K2	D22	4230	4	3.04	12.9	52	
◇	T1	D16	1540	8	1.56	2.4	19	
◇	T2-1	D16	2200	11	1.56	3.4	38	
◇	T2-2	D16	2200	11	1.56	3.4	38	
							286 Kg	
	鉄筋							
◇	エポキシ樹脂塗装鉄筋		D16	(SD345)			95 Kg	
			D22	(SD345)			191 Kg	
	コンクリート体積(σck=30N/mm2)						4.22 m3	
	型枠面積						25.14 m2	

鉄筋加工寸法表



径	θ = 90°			θ = 135°		
	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D16	48	75	21	88	69	4
D22	66	104	28	121	95	5

配　置　図



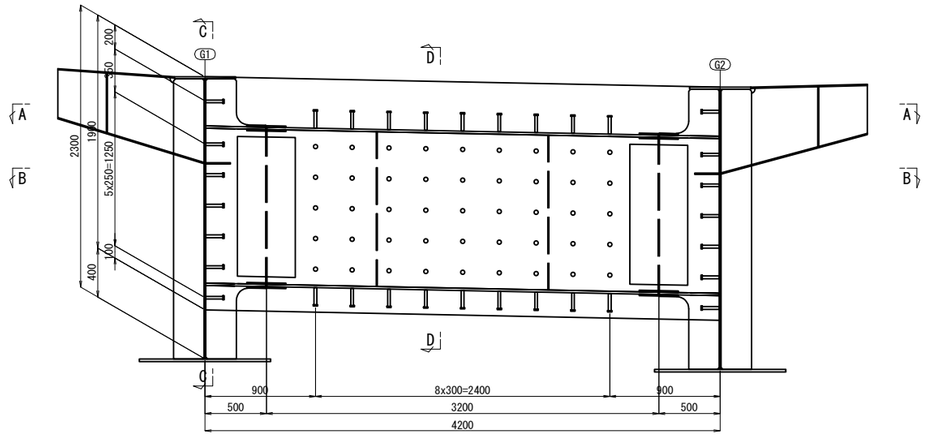
注 記

1. 特記なき鉄筋材質は、全てSD345とする。
2. コンクリートの設計基準強度はσck=30N/mm2とする。
3. ◇鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。

道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 巻き立てコンクリート図（その５）		
縮　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

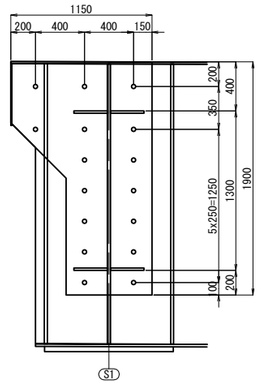
占冠ＰＡアクセス路橋　巻き立てコンクリート図（その６）　S=1:50

S1

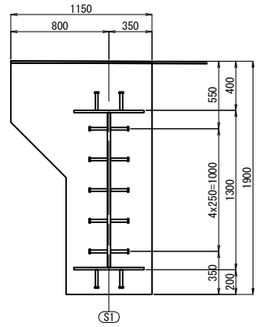


※ 16-STUD φ22x150 (SS400)　126-STUD φ22x150 (SS400)　※ 16-STUD φ22x150 (SS400)

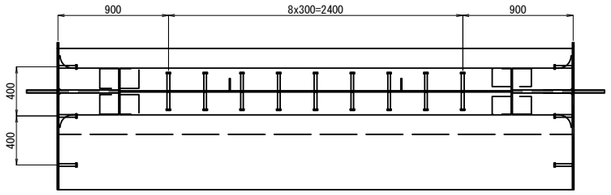
C － C



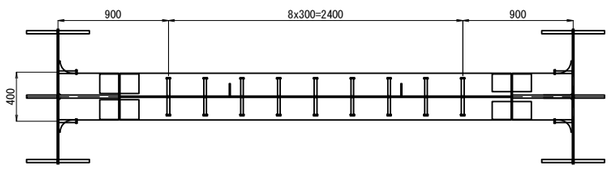
D － D



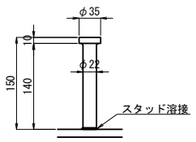
A － A



B － B



スタッドジベル詳細　S=1:10

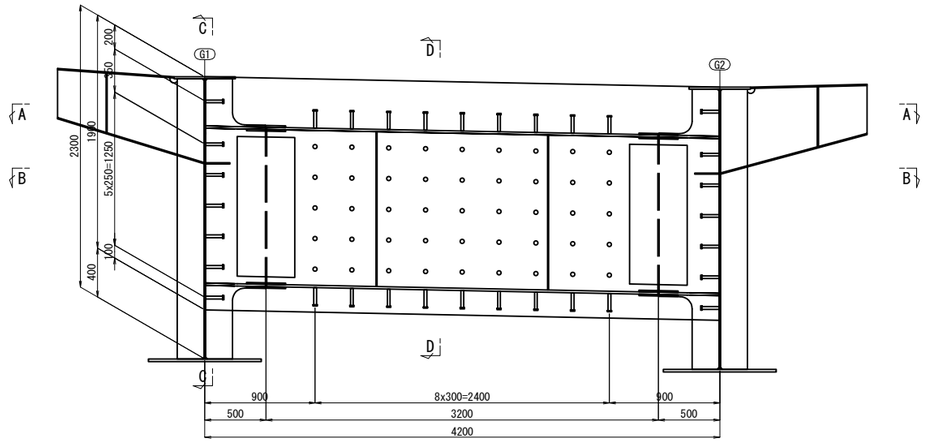


STUD-φ22x150(SS400)

道東自動車道 本流戸川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 巻き立てコンクリート図（その６）		
縮　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

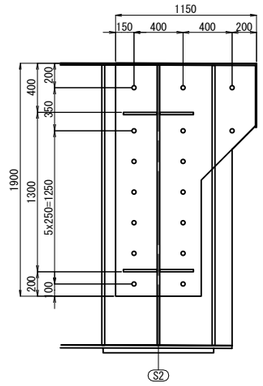
占冠ＰＡアクセス路橋　巻き立てコンクリート図（その７）　S=1:50

S2

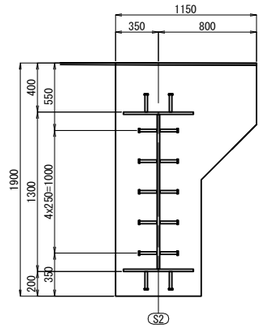


※ 16-STUD φ22x150 (SS400)　126-STUD φ22x150 (SS400)　※ 16-STUD φ22x150 (SS400)

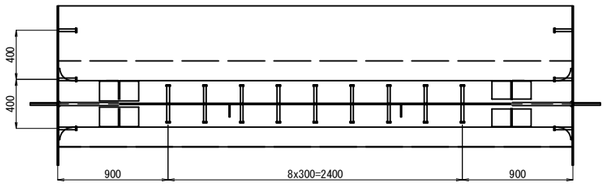
C － C



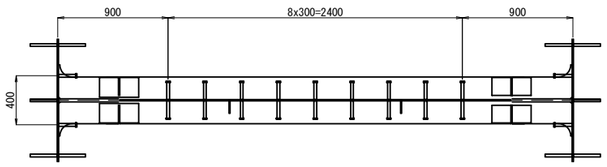
D － D



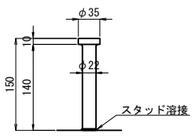
A － A



B － B



スタッドジベル詳細　S=1:10

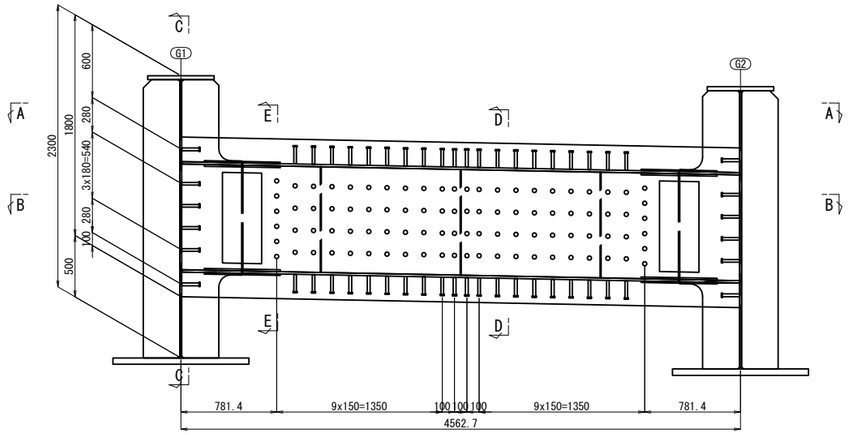


STUD-φ22x150(SS400)

道東自動車道 本流覇川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 巻き立てコンクリート図（その７）		
縮　　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

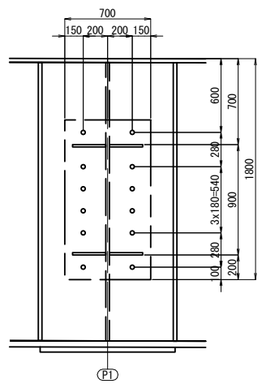
占冠ＰＡアクセス路橋　巻き立てコンクリート図（その８）　S=1:50

P1

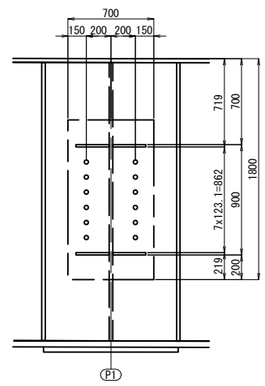


※ 12-STUD φ22x150 (SS400)　　260-STUD φ22x150 (SS400)　　※ 12-STUD φ22x150 (SS400)

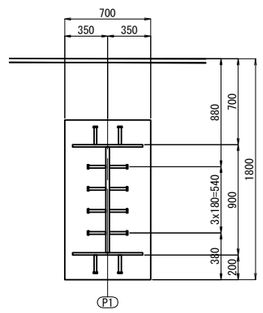
C － C



E － E



D － D



A － A

B － B

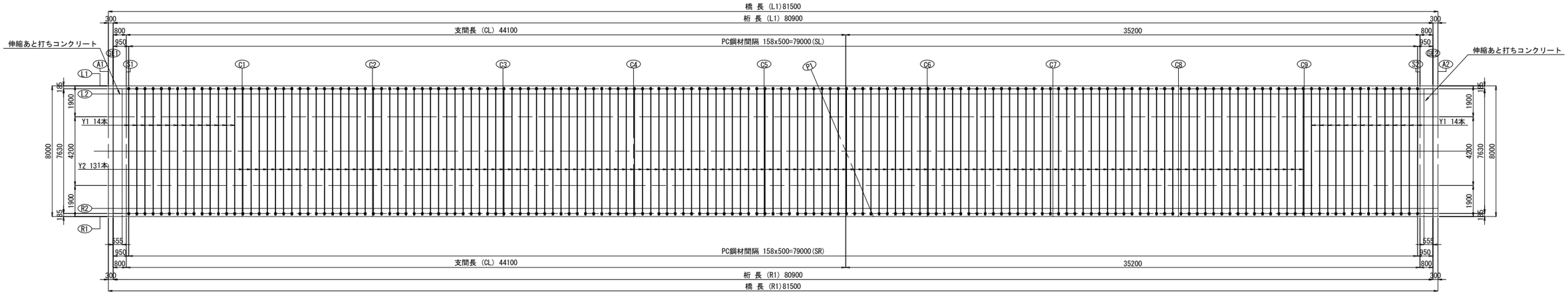
スタッドジベル詳細　S=1:10

STUD-φ22x150(SS400)

道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事				
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 巻き立てコンクリート図（その８）			
縮　　尺	図 示	図面番号	－	
設計会社名	株式会社　建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所			

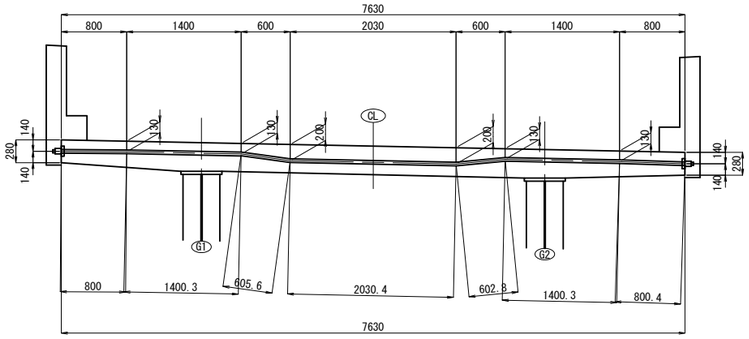
占冠ＰＡアクセス路橋　ＰＣ鋼材配置図　S=1:250

平 面 図

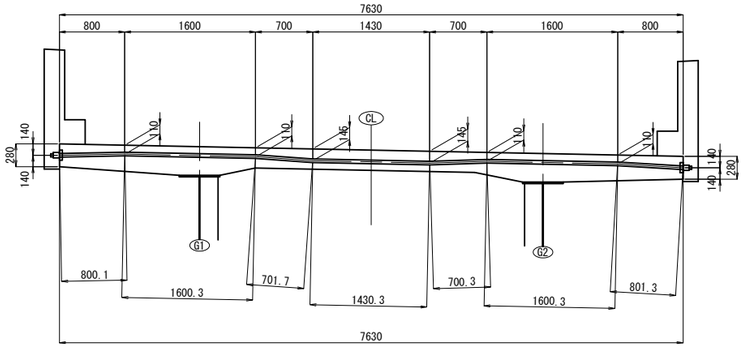


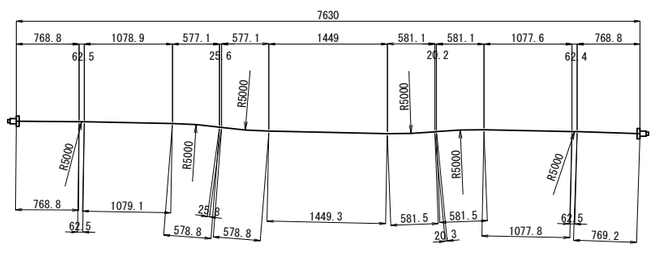
断 面 図 S=1:75

桁端部(S1～C1, C9～S2)

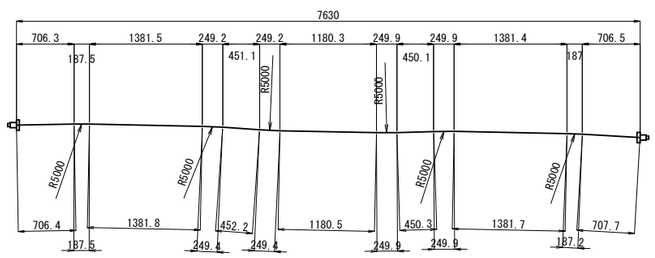


一般部 C1～P1, P1～C9



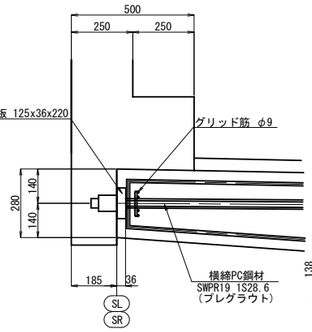


Y1:　28 - 1S28.6 x 7640 (SWPR19)

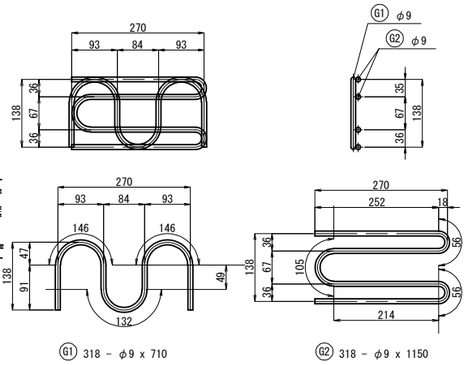


Y2:　131 - 1S28.6 x 7630 (SWPR19)

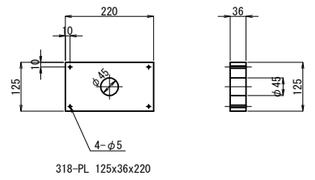
横締定着部詳細図 S=1:25



グリッド筋 S=1:25



長方形支圧板 S=1:25



ＰＣ鋼材質量表

(a) 鋼線重量　　プレグラウトＰＣ(1S28.6)(1橋当たり)

記号	長 さ (m)	本 数 (本)	単位質量 (kg/m)	延 長 (m)	質 量 (kg)	摘 要
Y1	7.640	28	4.23	213.9	905	
Y2	7.630	131	4.23	999.5	4228	
				延長合計	1213 m	
				質量合計	5133 kg	

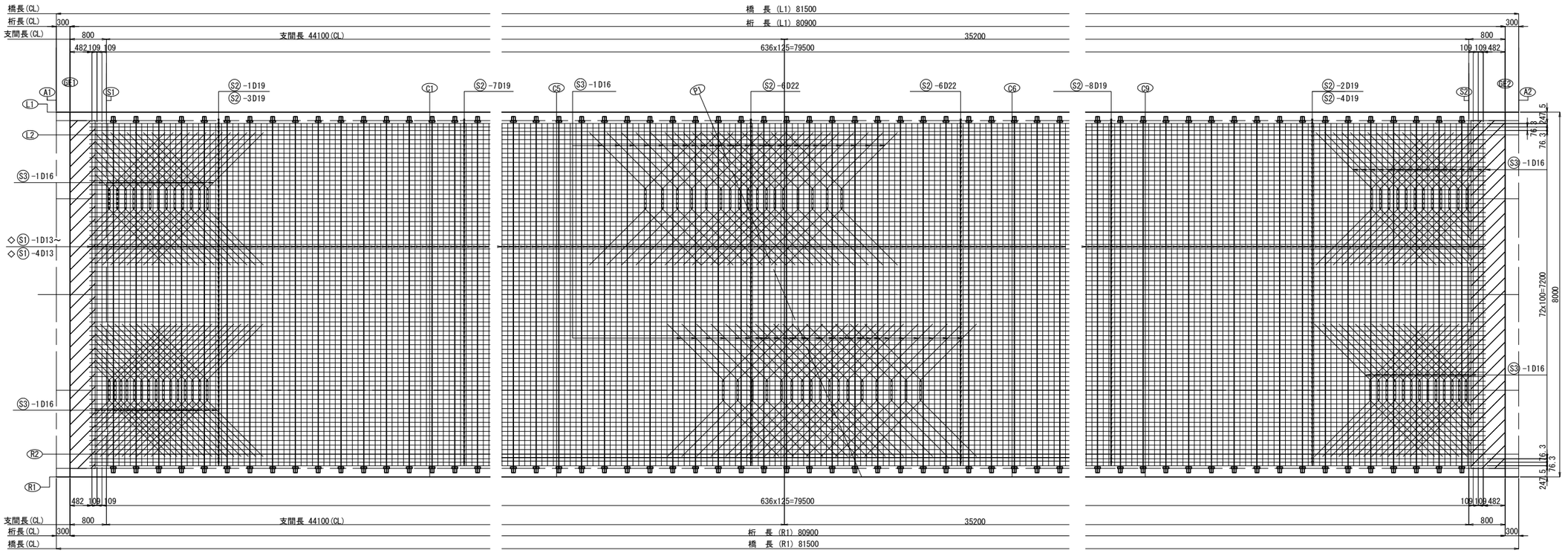
(b) グリッド筋質量表　　(1橋当たり)

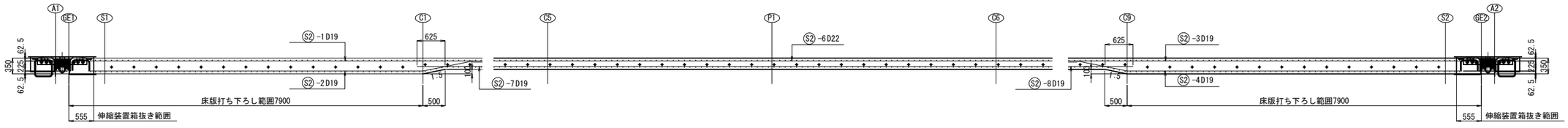
記号	径	長 さ (mm)	本 数 (本)	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
G1	φ9	710	318	0.499	0.354	113	
G2	φ9	1150	318	0.499	0.574	183	
					延長合計	591 m	
SD345					合 計	296 kg	

注記
1. PC鋼材の緊張方向は、交互引きとする。

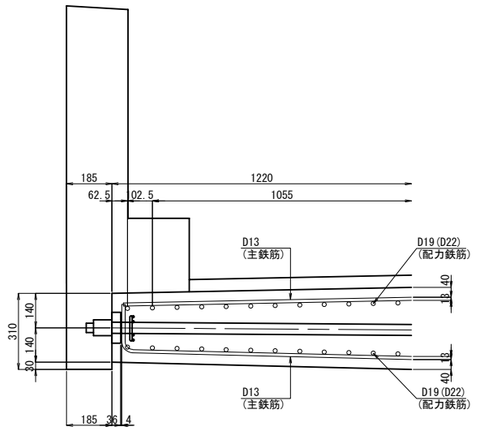
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 ＰＣ鋼材配置図		
縮　尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　床版配筋図（その１）S=1:100

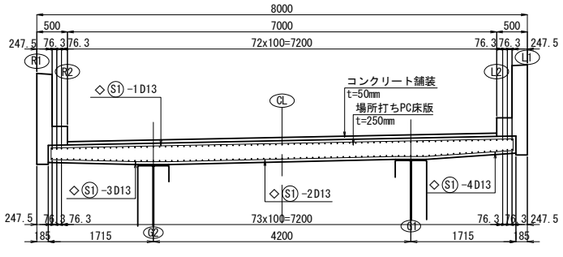




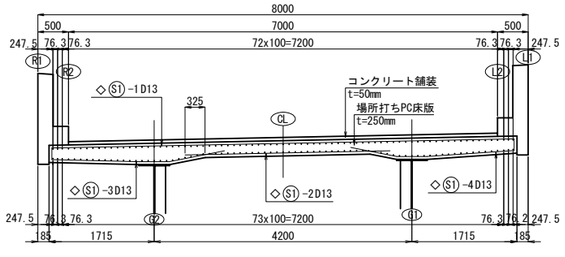
張出し先端部配筋詳細　S=1:25



桁端部



中間部

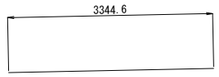


注記
1. 特記なき鉄筋材質は 、SD345とする。
2. コンクリート強度はσck=40N/mm2とする。
3. ◇鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。

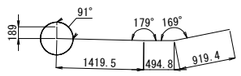
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 床版配筋図（その１）		
縮　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　床版配筋図（その２）S=1:100

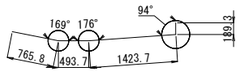
◇ (S1)-1　641-D13x7540



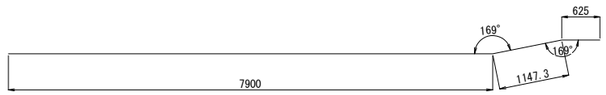
◇ (S1)-2　641-D13x3340



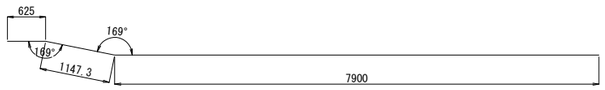
◇ (S1)-3　641-D13x3000



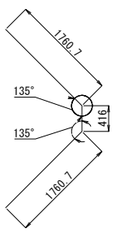
◇ (S1)-4　641-D13x2850



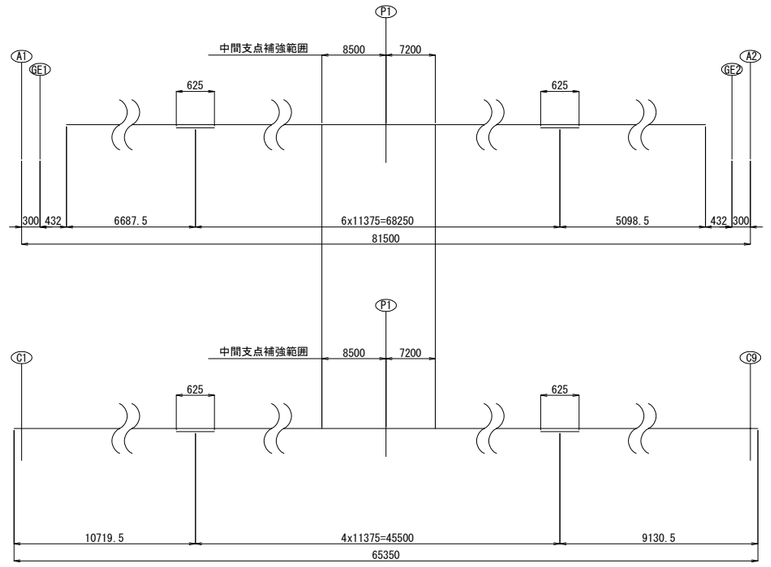
(S2)-1　37-D19x9660



(S2)-2　37-D19x9660



(S3)-1　174-D16x3930



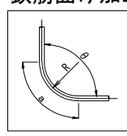
(S2)-3　117-D19x7000
(S2)-4　117-D19x5410
(S2)-5　468-D19x12000
(S2)-6　234-D22x12000

(S2)-7　37-D19x11030
(S2)-8　37-D19x9440
(S2)-9　74-D19x12000
(S2)-10　74-D22x12000

鉄筋表

	記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
◇	S1-1	D13	7540	641	0.995	7.50	4808	
◇	S1-2	D13	3340	641	0.995	3.32	2128	
◇	S1-3	D13	3000	641	0.995	2.99	1917	
◇	S1-4	D13	2850	641	0.995	2.84	1820	
	S2-1	D19	9660	37	2.250	21.70	803	
	S2-2	D19	9660	37	2.25	21.70	803	
	S2-3	D19	7000	117	2.25	15.80	1849	
	S2-4	D19	5410	117	2.25	12.20	1427	
	S2-5	D19	12000	468	2.25	27.00	12636	
	S2-6	D22	12000	234	3.04	36.50	8541	
	S2-7	D19	11030	37	2.25	24.80	918	
	S2-8	D19	9440	37	2.25	21.20	784	
	S2-9	D19	12000	74	2.25	27.00	1998	
	S2-10	D22	12000	74	3.04	36.50	2701	
	S3-1	D16	3930	174	1.56	6.13	1067	
							44200 kg	
		SD345	鉄筋	D22			11242 kg	
		SD345	鉄筋	D19			21218 kg	
		SD345	鉄筋	D16			1067 kg	
	エポキシ樹脂塗装鉄筋	SD345	鉄筋	D13			10673 kg	
		SD345	合計				44200 kg	
			コンクリート体積				183.4 m3	
			型枠面積				575.3 m2	

鉄筋曲げ加工表



径	R=3φ	5.5φ	θ= 45°		θ= 60°		θ= 90°		θ=135°	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6

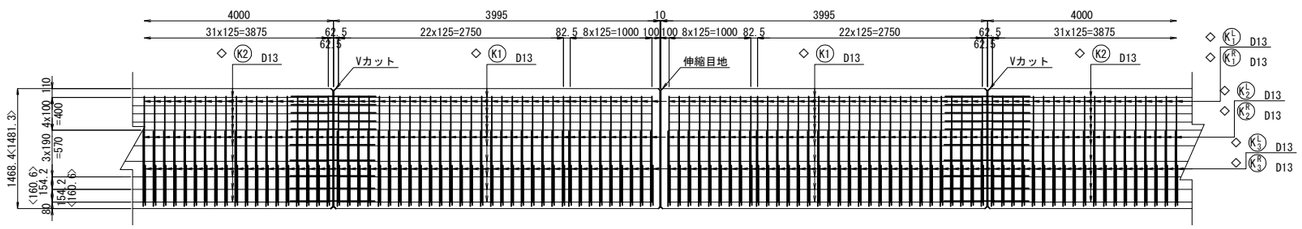
注記
1.特記なき鉄筋材質は 、SD345とする。
2.コンクリート強度はσck=40N/mm2とする。
3.◇鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。

道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事	
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 床版配筋図（その２）
縮尺	図示
図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所

占冠ＰＡアクセス路橋　壁高欄配筋図　S=1:75

側面図

L側<R側>



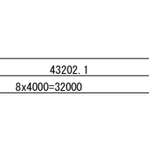
断面図　S=1:25

<>内寸法は桁端部を示す。

L側

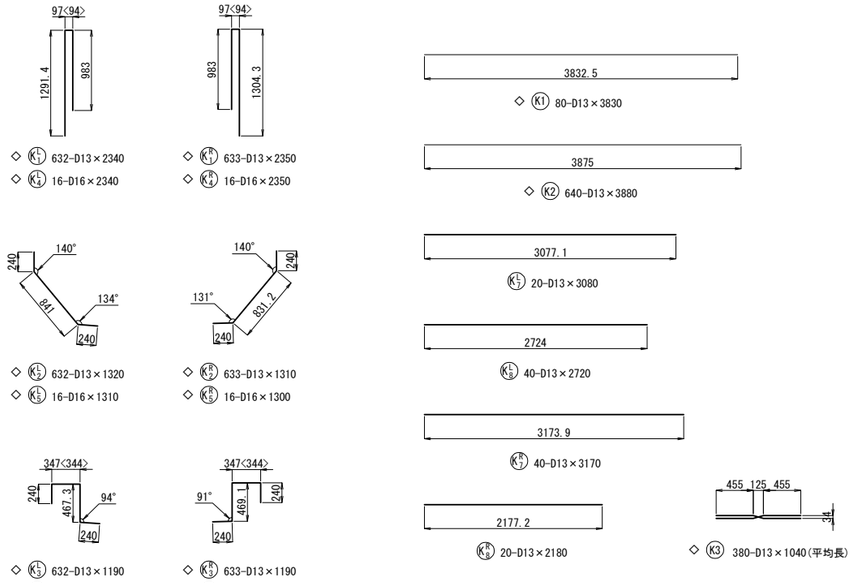
R側

鉄筋加工寸法表



注
1. θ= 鉄筋加工角度
2. θ ≦ 90°, R = 3φ
   θ ＞ 90°, R = 5.5φ
   スターラップ, R = 2.5φ
3. L = R
4. ΔL = 2L − a

径	θ = 90°			θ = 135°			スターラップθ=90°		
	R	a	ΔL	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D13	39	61	17	71.5	56	3	32.5	51	14
D16	48	75	21	88	69	4	40	63	17



L側鉄筋表

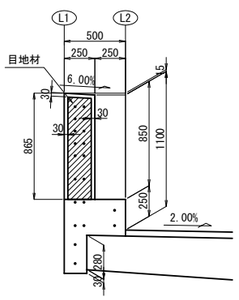
記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	備考
◇ K1 1	D13	2340	(64)<568>	0.995	2.33	(149)<1323>	
◇ K1 2	D13	1320	(64)<568>	0.995	1.31	(84)<744>	
◇ K1 5	D13	1190	(64)<568>	0.995	1.18	(76)<670>	
◇ K1 4	D16	2340	<16>	1.56	3.65	58	
◇ K1 5	D16	1310	<16>	1.56	2.04	33	
◇ K1 6	D16	1190	<16>	1.56	1.86	30	
◇ K1	D13	3830	(40)	0.995	3.81	(152)	
◇ K2	D13	3880	<320>	0.995	3.86	1235	
K5	D13	3080	<20>	0.995	3.06	61	
K6	D13	2720	<40>	0.995	2.71	108	
◇ K3	D13	1040	<190>	0.995	1.03	196	
壁高欄長(伸縮目地部)					D13	(461) kg	
					合計	(461) kg	
壁高欄長<Vカット部>					D13	4337 kg	
					D16	121 kg	
					合計	4458 kg	
鉄筋質量					合計	4919 kg	
コンクリート体積　σck=30N/mm2						33.941 m3	
型枠面積						252.713 m2	
伸縮目地材						0.034 m2	
Vカット延長体積						0.159 m3	

R側鉄筋表

記号	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	備考
◇ K R 1 1	D13	2350	(64)<569>	0.995	2.34	(150)<1331>	
◇ K R 1 2	D13	1310	(64)<569>	0.995	1.30	(83)<740>	
◇ K R 1 5	D13	1190	(64)<569>	0.995	1.18	(76)<671>	
◇ K R 1 4	D16	2350	<16>	1.56	3.67	59	
◇ K R 1 5	D16	1300	<16>	1.56	2.03	32	
◇ K R 1 6	D16	1180	<16>	1.56	1.84	29	
◇ K1	D13	3830	(40)	0.995	3.81	(152)	
◇ K2	D13	3880	<320>	0.995	3.86	1235	
K5	D13	3170	<40>	0.995	3.15	126	
K R 6	D13	2180	<20>	0.995	2.17	43	
◇ K3	D13	1040	<190>	0.995	1.03	196	
壁高欄長(伸縮目地部)					D13	(461) kg	
					合計	(461) kg	
壁高欄長<Vカット部>					D13	4342 kg	
					D16	120 kg	
					合計	4462 kg	
鉄筋質量					合計	4923 kg	
コンクリート体積　σck=30N/mm2						34.292 m3	
型枠面積						253.765 m2	
伸縮目地材						0.034 m2	
Vカット延長体積						0.159 m3	

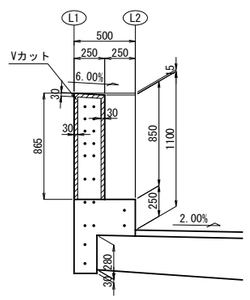
伸縮目地部詳細図　S=1:50

箇所：2

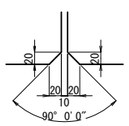


Vカット部詳細図　S=1:50

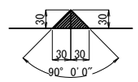
箇所：38



"a"部詳細図　S=1:10



"b"部詳細図　S=1:10



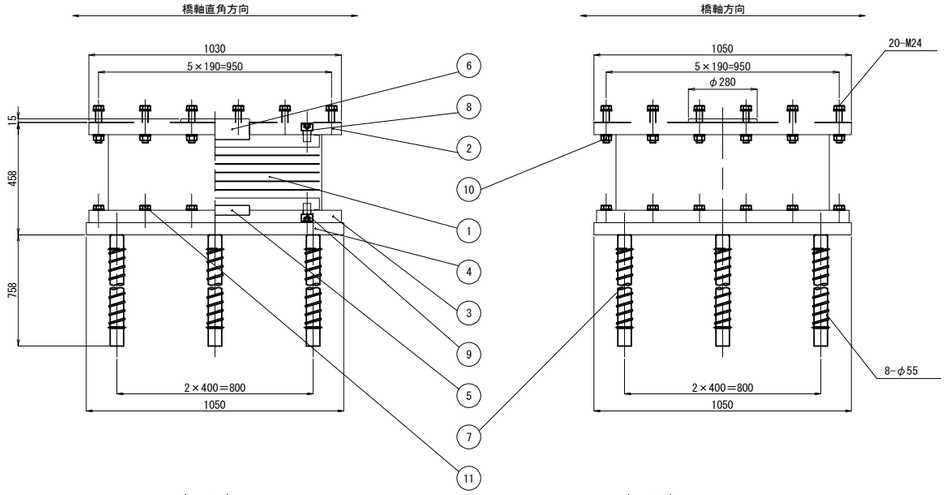
配　置　図

注記
1. 特記なき鉄筋材質は 、SD345とする。
2. コンクリート強度はσck=30N/mm2とする。
3. ◇鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。

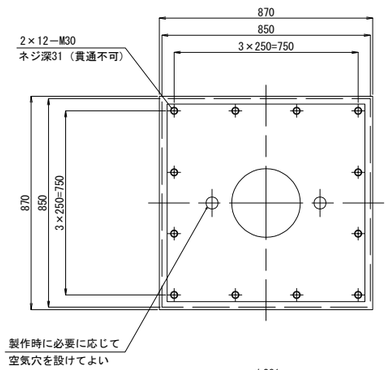
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 壁高欄配筋図		
縮　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

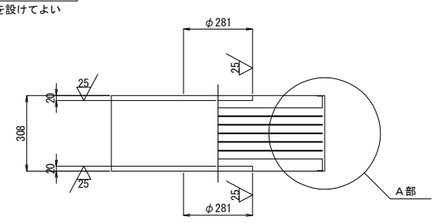
占冠ＰＡアクセス路橋　支承詳細図（その１）S=1:25

A1 (E-12)

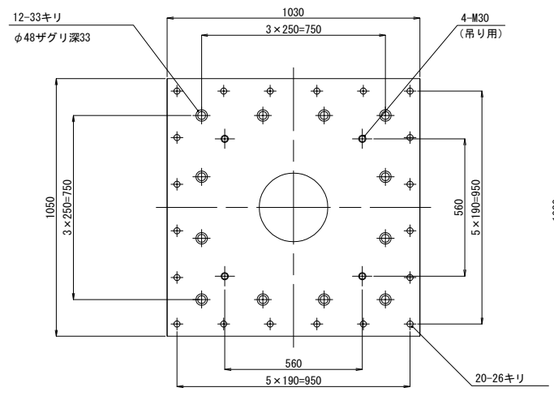


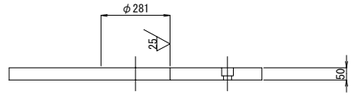
① ▽(25) NR+SM490A



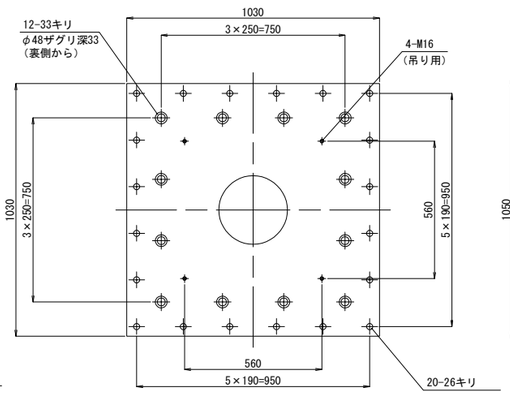


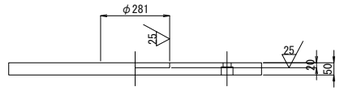
② ▽(25) SM490A



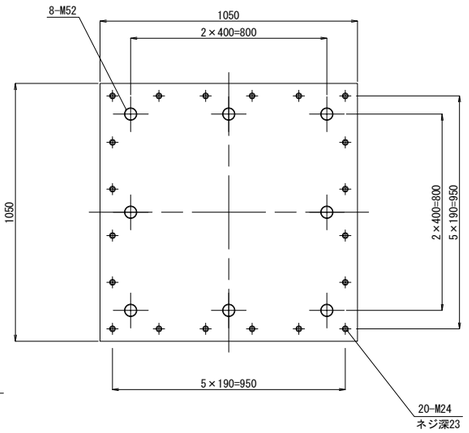


③ ▽(25) SM490A

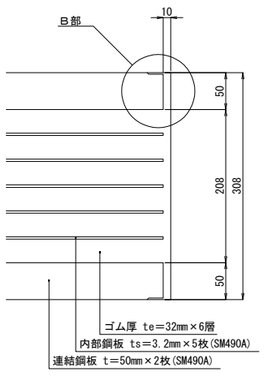




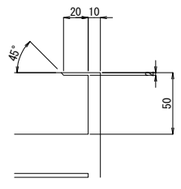
④ ▽ SM490A



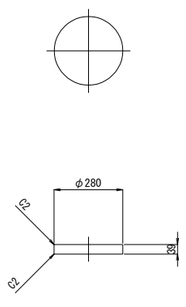
A部詳細　S=1 : 5



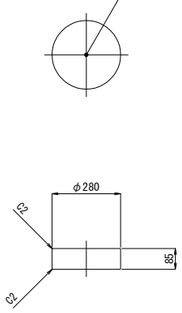
B部詳細　S=1 : 3



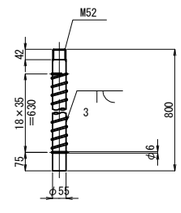
⑤ ▽(25) SM490A



⑥ ▽(25) SM490A



⑦ ▽ S35CN+SR235



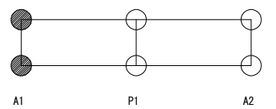
⑧ 六角穴付きボルト（上側）M30×45 10.9

⑨ 六角穴付きボルト（下側）M30×45 10.9

⑩ 六角ボルト　中　M24×(100) 8.8
六角ナット　1種　中　M24　8
（平座金2枚付き　22H）

⑪ 六角ボルト　中　M24×75 8.8
（平座金付き　22H）

配置図



設計条件

設計方法			分散設計	
最大反力	耐久性		R_{max}	1696 kN
最大鉛直圧縮力	耐荷性-変動支配	γ_b，γ_q考慮	R_{max}'	1897 kN
死荷重反力	耐荷性-偶発支配	γ_b，γ_q考慮	R_d'	1025 kN
設計水平力	耐荷性-偶発支配	橋軸方向	R_{Hoq1}	1174 kN
		直角方向	R_{Hoq2}	1210 kN
設計変位	耐久性	橋軸方向	Δ_L	43 mm
	耐荷性-偶発支配	橋軸方向	Δ_{Le1}	±260 mm
		直角方向	Δ_{Le2}	±268 mm
設計鉛直力	耐荷性-偶発支配	下向き力	R_{bmax}	2871 kN
		上向き力	R_{bmin}	-877 kN
支承タイプ			分散ゴム支承	
せん断弾性係数			G_e	1.2 N/mm²
一次形状係数			S_1	6.641
二次形状係数			S_2	4.427
せん断ひずみの制限値	耐荷性-偶発支配		γ_s	250 %

力学特性試験条件

圧縮試験				
試験時鉛直荷重	耐久性 最大反力R_{max}	R	1696	kN
回転照査時最大反力	耐久性	R_r	1468	kN
照査荷重	耐久性	$R_{0.5i+}$	304	kN
死荷重	耐久性	R_d'	976	kN
回転変位量		δ_r	0.842	mm
照査荷重時圧縮変位量		δ_L	0.290	mm
圧縮剛性		K_v	1050	kN/mm
せん断変形試験				
試験時鉛直荷重	R_dまたは面圧6N/mm²	R	4335	kN
試験変位	175%時	u_{Be}	±336.0	mm
等価剛性	175%時	K_b	4.516	kN/mm
等価減衰定数	175%時	h_B	-	%

材料表

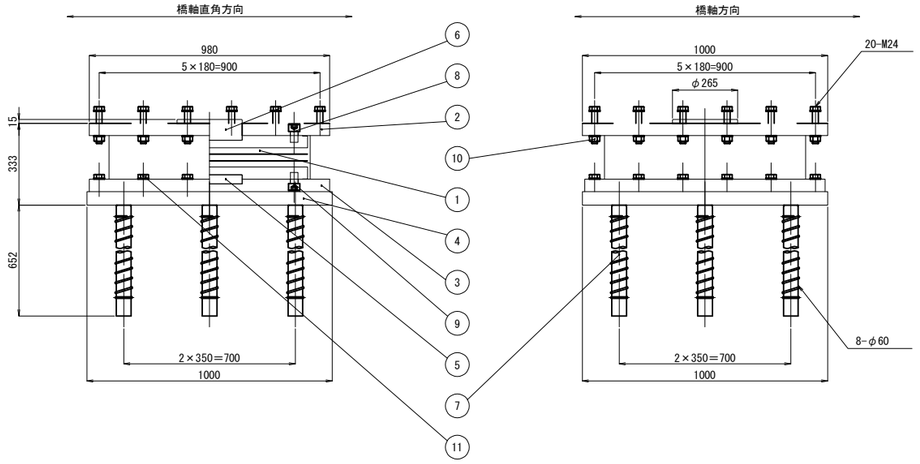
部番	品名	材質	個数	質量(kg)	備考
1	R　B	NR+SM490A	1	798.6	G_e=1.2 N/mm²
②	上沓	SM490A	1	389.0	
③	下沓	SM490A	1	395.5	
④	ベースプレート	SM490A	1	424.4	
⑤	せん断キー(1)	SM490A	1	18.9	
⑥	せん断キー(2)	SM490A	1	41.1	
7	下部アンカーボルト	S35CN+SR235	8	125.6	鉄筋防錆剤塗布
8	六角穴付きボルト(上側)	-	12	6.0	JIS B 1176
9	六角穴付きボルト(下側)	-	12	6.0	JIS B 1176
⑩	六角ボルト	-	20	(12.7)	M24×(100) 8.8 平座金付
⑪	六角ボルト	-	20	8.1	M24×75 8.8 JIS B 1180 平座金付
全質量				2225.9 (kg)	
一般外面の防食処理					
金属溶射	アルミニウム・マグネシウム合金溶射＋フッ素樹脂塗装上塗り				

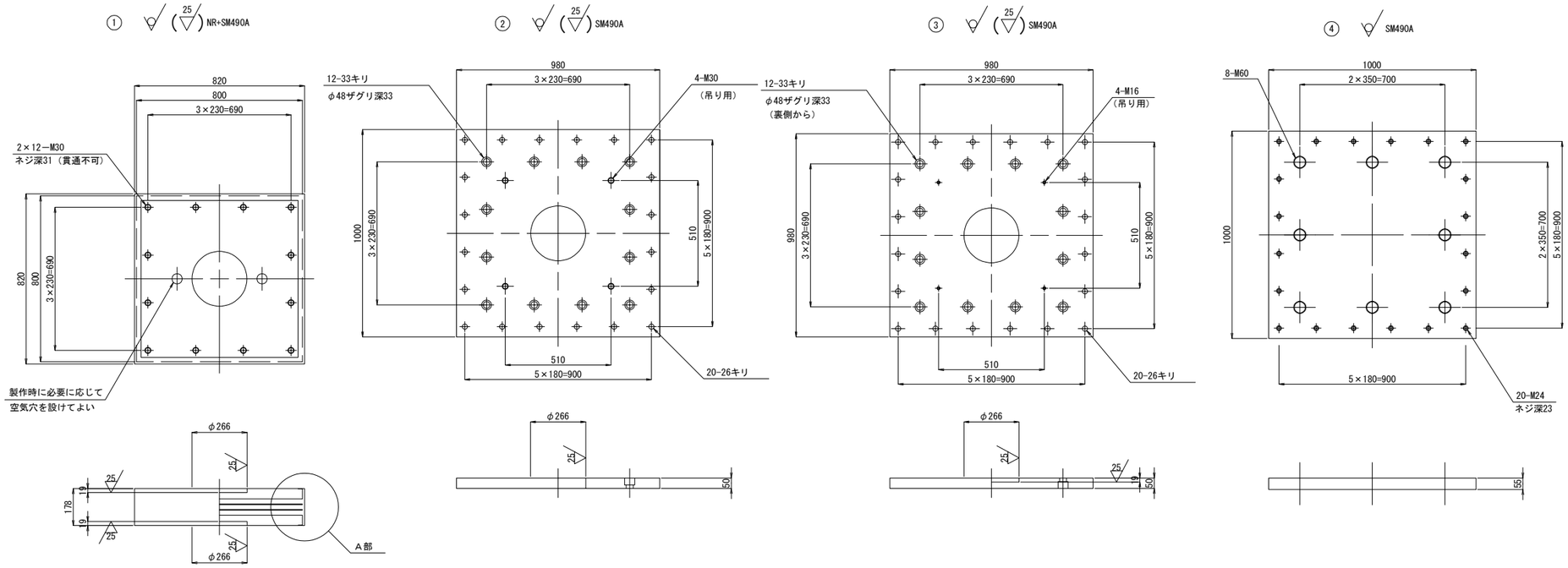
注1) ○ 印は金属溶射仕様とする
注2) ◎ 印はSGめっき仕様とする
注3) 積層ゴム支承の質量は、参考質量とする
注4) 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること
注5) 六角穴付ボルトは黒色酸化皮膜処理とする
注6) アンカーボルトは無塗装とし、ねじ込み後樹脂系シール処理とする
ねじ部から10mm程度の範囲を高濃度亜鉛末塗装とする

道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 支承詳細図（その１）		
縮尺	図示	図面番号	-
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

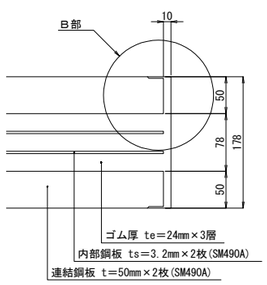
占冠ＰＡアクセス路橋　支承詳細図（その２）S=1:25

P1 (E-13)

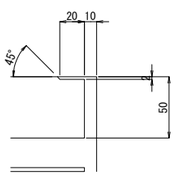


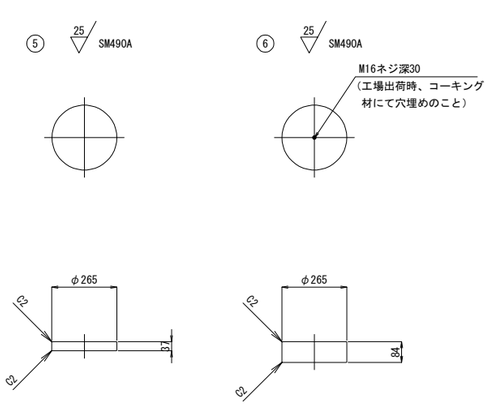


A部詳細　S=1 : 5



B部詳細　S=1 : 3





設計条件

設計方法			分散設計	
最大反力	耐久性		R_{max}	4108 kN
最大鉛直圧縮力	耐荷性-変動支配	γ_b，γ_s考慮	R_{max}'	4523 kN
死荷重反力	耐荷性-偶発支配	γ_b，γ_s考慮	R_d'	2820 kN
設計水平力	耐荷性-偶発支配	橋軸方向	R_{Heq1}	1649 kN
		直角方向	R_{Heq2}	1643 kN
設計変位	耐久性	橋軸方向	ΔL	3 mm
	耐荷性-偶発支配		ΔL_{e1}	±155 mm
		直角方向	ΔL_{e2}	±154 mm
設計鉛直力	耐荷性-偶発支配	下向き力	R_{bmax}	5333 kN
		上向き力	R_{bmin}	−846 kN
支承タイプ			分散ゴム支承	
せん断弾性係数			G_e	1.2 N/mm²
一次形状係数			S_1	8.333
二次形状係数			S_2	11.111
せん断ひずみの制限値	耐荷性-偶発支配		γ_s	250 %

力学特性試験条件

圧縮試験				
試験時鉛直荷重	耐久性 最大反力R_{max}	R	4108	kN
回転照査時最大反力	耐久性	R_r	3663	kN
照査荷重	耐久性	$R_{0.5l+i}$	−	kN
死荷重	耐久性	R_d'	2686	kN
回転変位量		δ_r	0.603	mm
照査荷重時圧縮変位量		δ_L	−	mm
圧縮剛性		K_V	3111	kN/mm
せん断変形試験				
試験時鉛直荷重	R_dまたは面圧6N/mm²	R	3840	kN
試験変位	175%時	U_{Be}	±126.0	mm
等価剛性	175%時	K_b	10.667	kN/mm
等価減衰定数	175%時	h_B	−	%

材料表

部番	品名	材質	個数	質量(kg)	備考
1	R B	NR+SM490A	1	570.9	G_e=1.2 N/mm²
②	上沓	SM490A	1	351.7	
③	下沓	SM490A	1	357.5	
④	ベースプレート	SM490A	1	420.4	
⑤	せん断キー(1)	SM490A	1	16.0	
⑥	せん断キー(2)	SM490A	1	36.4	
7	下部アンカーボルト	S35CN+SR235	8	129.9	鉄筋防錆剤塗布
8	六角穴付きボルト(上側)	−	12	6.0	JIS B 1176
9	六角穴付きボルト(下側)	−	12	6.0	JIS B 1176
⑩	六角ボルト	−	20	(12.7)	JIS B 1180 平座金付
⑪	六角ボルト	−	20	8.1	JIS B 1180 平座金付
全質量				1915.6 (kg)	
一般外面の防食処理					
溶融亜鉛めっき	膜厚77μm以上，49μm以上(ボルト類)				

注1) ○ 印は溶融亜鉛めっき仕様とする
JISH8641 HDZT77,ボルト類はHDZT49とする
注2) 積層ゴム支承の質量は、参考質量とする
注3) 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること
注4) 六角穴付ボルトは黒色酸化皮膜処理とする
注6) アンカーボルトは無塗装とし、ねじ込み後樹脂系シール処理とする
ねじ部から10mm程度の範囲を高濃度亜鉛末塗装とする

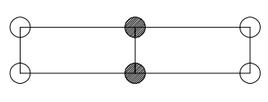
⑧ 六角穴付きボルト（上側）M30×45 10.9

⑨ 六角穴付きボルト（下側）M30×45 10.9

⑩ 六角ボルト　中　M24×(100) 8.8
六角ナット 1種　中　M24　8
（平座金2枚付き 22H）

⑪ 六角ボルト　中　M24×75 8.8
（平座金付き 22H）

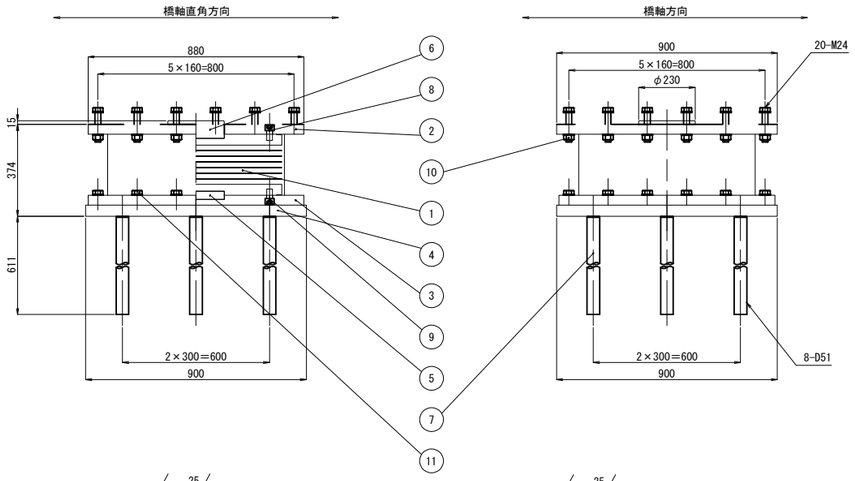
配置図



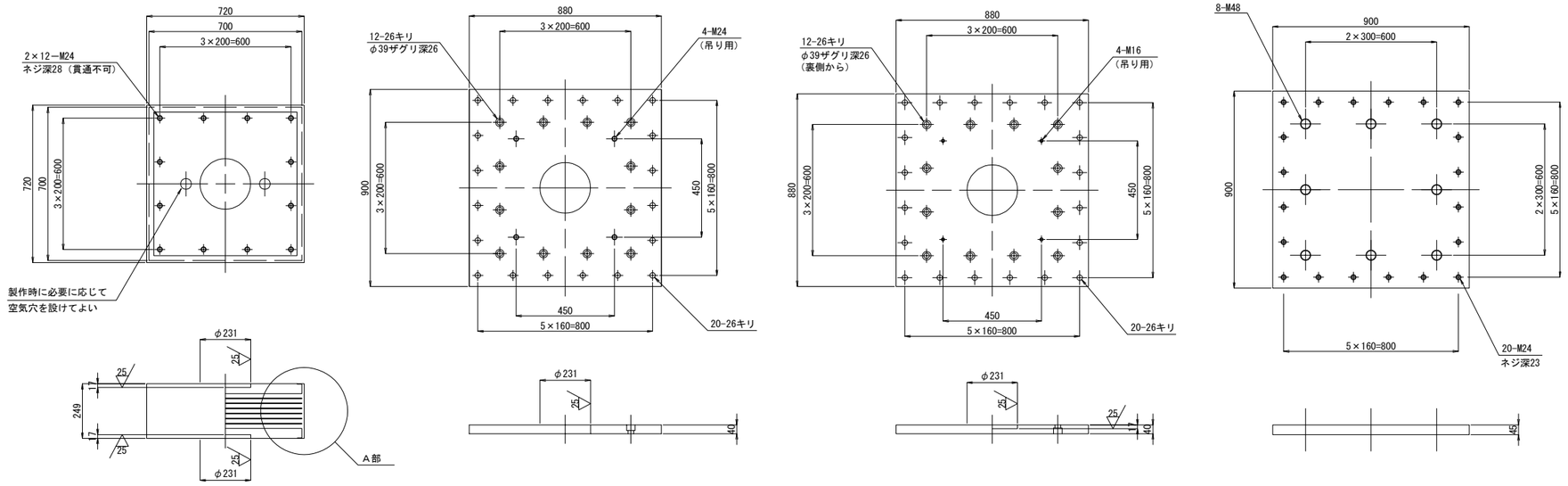
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 支承詳細図（その２）		
縮尺	図示	図面番号	−
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　支承詳細図（その３）S=1:25

A2 (E-14)



① ▽ (25 ▽) NR+SM490A　② ▽ (25 ▽) SM490A　③ ▽ (25 ▽) SM490A　④ ▽ SM490A



A部詳細　S=1 : 5

B部詳細　S=1 : 3

⑤ ▽ (25 ▽) SM490A　⑥ ▽ (25 ▽) SM490A　⑦ ▽ SD345

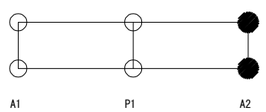
⑧ 六角穴付きボルト（上側）M24×40 10.9

⑨ 六角穴付きボルト（下側）M24×40 10.9

⑩ 六角ボルト　中　M24×(100) 8.8
六角ナット　1種　中　M24　8
（平座金2枚付き　22H）

⑪ 六角ボルト　中　M24×65 8.8
（平座金付き　22H）

配置図



設計条件

			分散設計	
設計方法				
最大反力	耐久性		R_{max}	1352 kN
最大鉛直圧縮力	耐荷性-変動支配	γ_D，γ_S考慮	R_{max}'	1527 kN
死荷重反力	耐荷性-偶発支配	γ_P，γ_S考慮	R_d'	725 kN
設計水平力	耐荷性-偶発支配	橋軸方向	R_{Hcq1}	1103 kN
		直角方向	R_{Hcq2}	934 kN
設計変位	耐久性	橋軸方向	ΔL	39 mm
	耐荷性-偶発支配		ΔL_{e1}	±263 mm
		直角方向	ΔL_{e2}	±222 mm
設計鉛直力	耐荷性-偶発支配	下向き力	R_{tmax}	2055 kN
		上向き力	R_{tmin}	-675 kN
支承タイプ			分散ゴム支承	
せん断弾性係数			G_e	1.2 N/mm²
一次形状係数			S_1	8.750
二次形状係数			S_2	5.000
せん断ひずみの制限値	耐荷性-偶発支配		γ_S	250 %

力学特性試験条件

圧縮試験				
試験時鉛直荷重	耐久性 最大反力R_{max}	R	1352	kN
回転照査時最大反力	耐久性	R_r	1111	kN
照査荷重	耐久性	$R_{0.5(+)}$	281	kN
死荷重	耐久性	R_d'	690	kN
回転変位量		δ_r	0.452	mm
照査荷重時圧縮変位量		δ_L	0.218	mm
圧縮剛性		K_v	1286	kN/mm
せん断変形試験				
試験時鉛直荷重	R_dまたは面圧6N/mm²	R	2940	kN
試験変位	175%時	u_{Be}	±245.0	mm
等価剛性	175%時	K_b	4.200	kN/mm
等価減衰定数	175%時	h_B	-	%

材料表

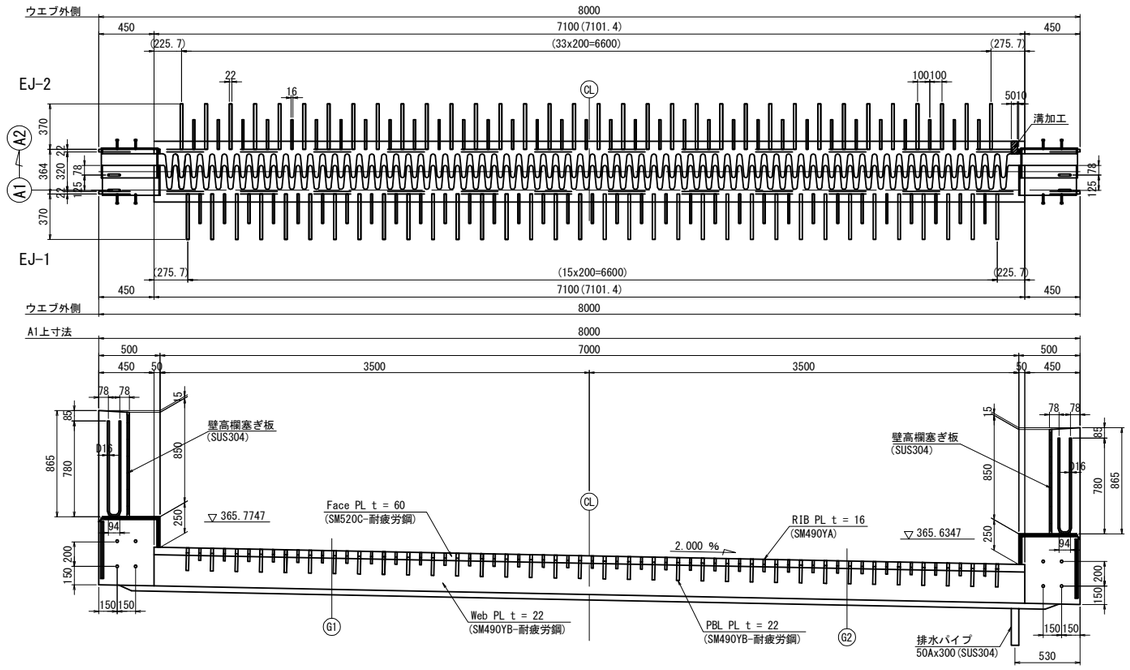
部番	品名	材質	個数	質量(kg)	備考
1	R B	NR+SM490A	1	489.7	G_e=1.2 N/mm²
②	上沓	SM490A	1	228.6	
③	下沓	SM490A	1	230.6	
④	ベースプレート	SM490A	1	279.4	
⑤	せん断キー(1)	SM490A	1	10.8	
⑥	せん断キー(2)	SM490A	1	23.5	
7	下部アンカーボルト	SD345	8	82.2	鉄筋防錆剤塗布
8	六角穴付きボルト(上側)	-	12	3.2	JIS B 1176
9	六角穴付きボルト(下側)	-	12	3.2	JIS B 1176
⑩	六角ボルト	-	20	(12.7)	超音波探傷試験 防錆塗付
⑪	六角ボルト	-	20	7.4	JIS B 1180 工場塗付
全質量				1371.3 (kg)	
一般外面の防食処理					
金属溶射	アルミニウム・マグネシウム合金溶射＋フッ素樹脂塗装上塗り				

注1) ○ 印は金属溶射仕様とする
注2) ◎ 印はSGめっき仕様とする
注3) 積層ゴム支承の質量は、参考質量とする
注4) 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること
注5) 六角穴付ボルトは黒色酸化皮膜処理とする
注6) アンカーボルトは無塗装とし、ねじ込み後樹脂系シール処理とする
ねじ部から10mm程度の範囲を高濃度亜鉛末塗装とする

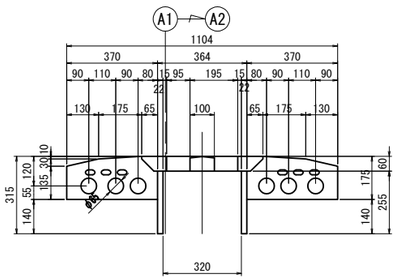
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事				
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 支承詳細図（その３）			
縮尺	図示	図面番号	-	
設計会社名	株式会社　建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所			

占冠ＰＡアクセス路橋　伸縮装置図（その１）　S=1:50

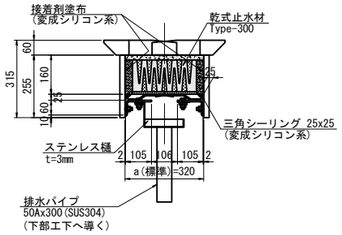
A1橋台



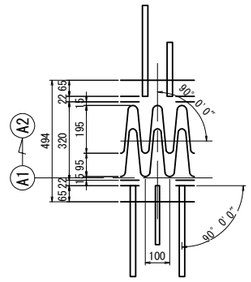
配 筋 図 S=1:25



非排水断面図 S=1:25

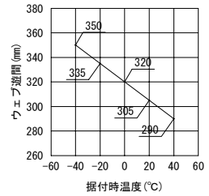


フェイスプレート詳細図 S=1:25



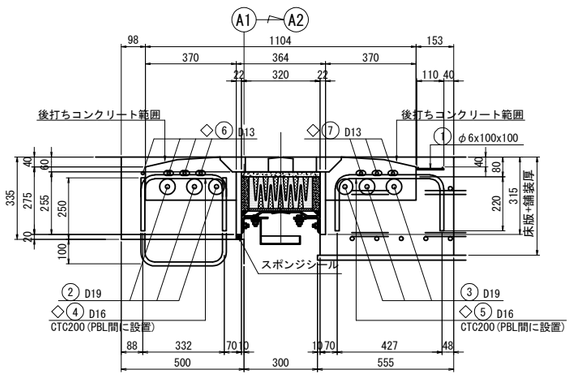
フェイスプレート先端加工 S=1:25

遊間グラフ



伸縮装置伸縮方向寸法		A1
標準ウエブ遊間	0℃時	320㎜
最大ウエブ遊間	−40℃時	350㎜
最小ウエブ遊間	+40℃時	290㎜

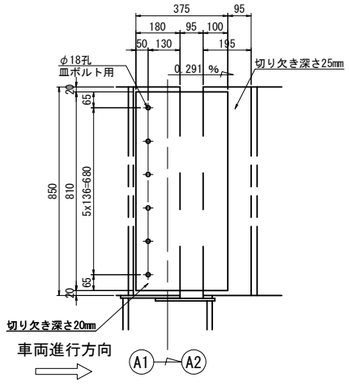
配 筋 図 S=1:25



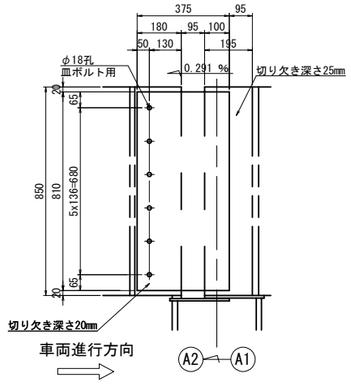
壁高欄カバープレート S=1:25

（※率計上項目）

左側



右側



設計条件

温度変化移動量	60.5 ㎜
地震時移動量	116.0 ㎜
遊間量	300 ㎜

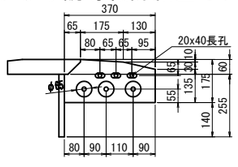
材料表

記号	項目	種別	規格	数量	備考
1	製品ジョイント	車道部	185	8.000 m	止水樋付
2	塞ぎ板	壁高欄	SUS304	2 組	
3	鉄筋(網鉄筋)	網鉄筋	**SR235(相当)**	3 kg	
4	鉄筋	補強筋	SD345	232 kg	
5	後打ちコンクリート		**24N/mm2以上**	3.0 m3	

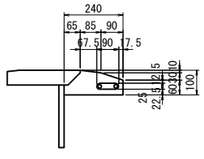
鉄筋表

記号	径	長 さ	本数	単位質量	1本当り質量	質 量	摘 要
①	φ6x100x100	110x7010	—	4.44	—	3	——
②	D19	7210	3	2.25	16.2	49	——
③	D19	7210	3	2.25	16.2	49	——
◇④	D16	730	34	1.56	1.14	39	┌┐
◇⑤	D16	830	34	1.56	1.29	44	┌┐
◇⑥	D13	7210	4	0.995	7.17	29	——
◇⑦	D13	7210	3	0.995	7.17	22	——
					D19	98	kg (SD345)
					D16	83	kg (SD345)
					D13	51	kg (SD345)
					φ6x100x100	3	kg (SR235相当)
					合計	235	kg

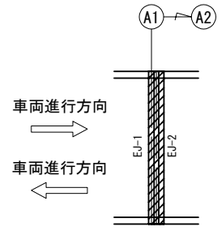
プラウ誘導板詳細図 S=1:25



補強リブ詳細図 S=1:25



配置図



注記）

1．施工において図面相当品とする。
2．特記なき材質はすべて SM400Aとする。
3．後打ちコンクリートの強度は24N/mm2以上とすること。
4．（ ）内寸法は勾配なり寸法を示す。
5．◇鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。

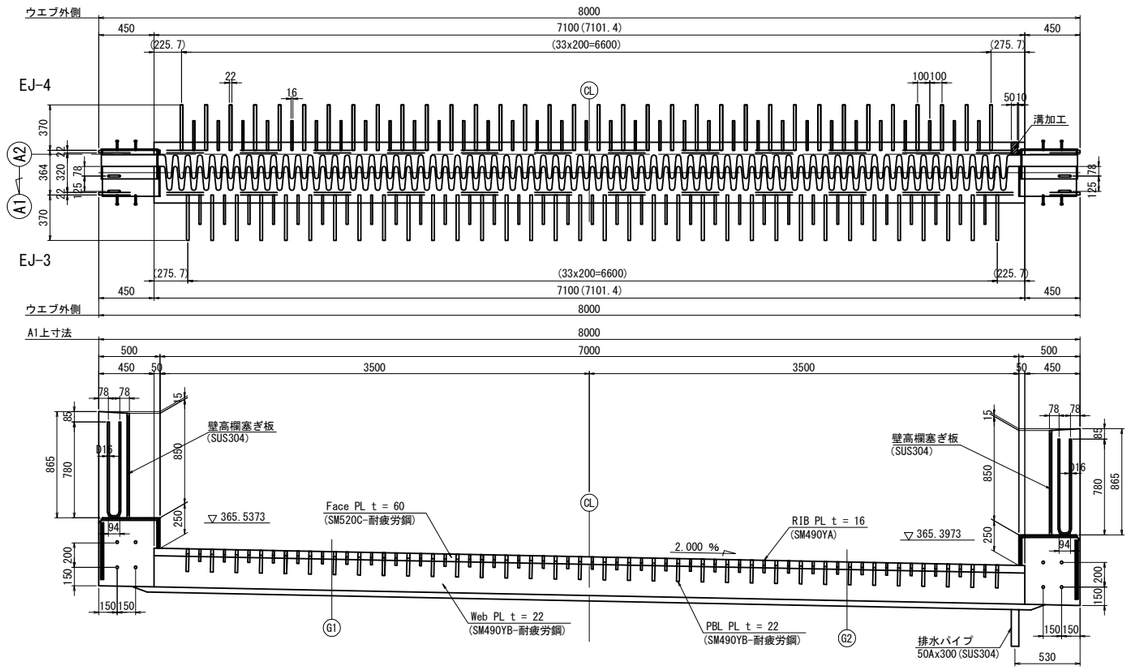
凡例

（※率計上項目）

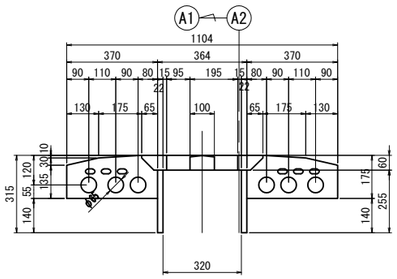
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事	
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 伸縮装置図（その１）
縮　尺	図 示　図面番号　－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所

占冠ＰＡアクセス路橋　伸縮装置図（その２）　S=1:50

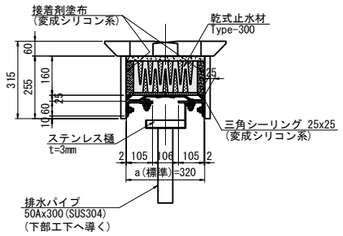
A2橋台



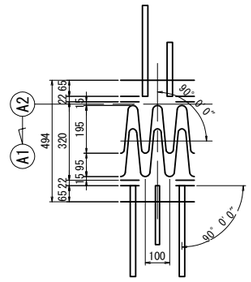
配 筋 図 S=1:25



非排水断面図 S=1:25

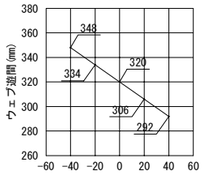


フェイスプレート詳細図 S=1:25



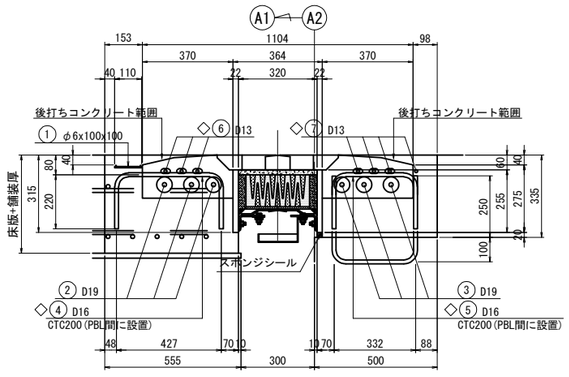
フェイスプレート先端加工 S=1:25

遊間グラフ



伸縮装置伸縮方向寸法		A2
標準ウエブ遊間	0℃時	320㎜
最大ウエブ遊間	-40℃時	348㎜
最小ウエブ遊間	+40℃時	292㎜

配 筋 図 S=1:25



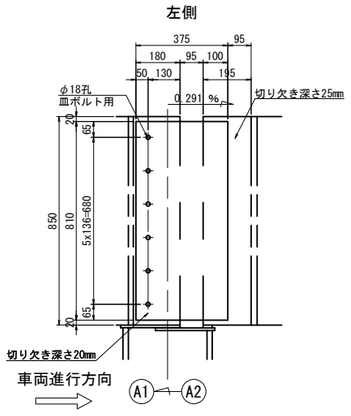
鉄筋表

記号	径	長 さ	本数	単位質量	1本当り質量	質 量	摘 要
①	φ6x100x100	110x7010	—	4.44	—	3	——
②	D19	7210	3	2.25	16.2	49	——
③	D19	7210	3	2.25	16.2	49	——
◇④	D16	830	34	1.56	1.29	44	┌┐
◇⑤	D16	730	34	1.56	1.14	39	┌┐
◇⑥	D13	7210	3	0.995	7.17	22	——
◇⑦	D13	7210	4	0.995	7.17	29	——
				D19	98	kg (SD345)	
				D16	83	kg (SD345)	
				D13	51	kg (SD345)	
				φ6x100x100	3	kg (SR235相当)	
				合計	235	kg	

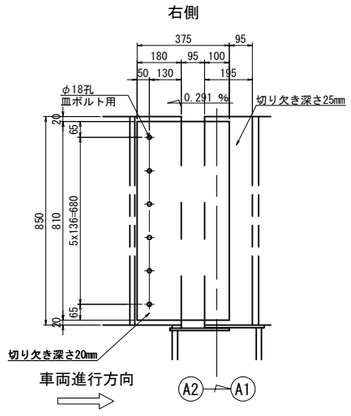
壁高欄カバープレート S=1:25

（※率計上項目）

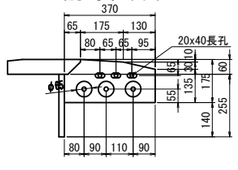
左側



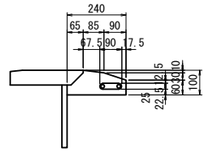
右側



プラウ誘導板詳細図 S=1:25



補強リブ詳細図 S=1:25



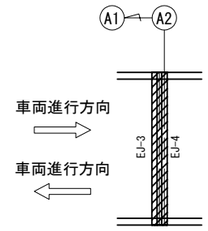
設計条件

温度変化移動量	56.9 ㎜
地震時移動量	116.0 ㎜
遊間量	300 ㎜

材料表

記号	項目	種別	規格	数量	備考
1	製品ジョイント	車道部	185	8.000 m	止水樋付
2	塞ぎ板	壁高欄	SUS304	2 組	
3	鉄筋(網鉄筋)	網鉄筋	SR235(相当)	3 kg	
4	鉄筋	補強筋	SD345	232 kg	
5	後打ちコンクリート		24N/mm2以上	3.0 m3	

配置図



注記）

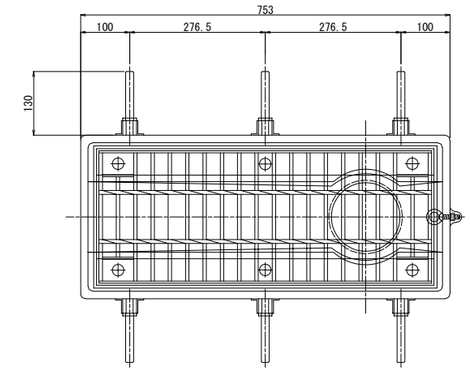
1．施工において図面相当品とする。
2．特記なき材質はすべて SM400Aとする。
3．後打ちコンクリートの強度は24N/mm2以上とすること。
4．（ ）内寸法は勾配なり寸法を示す。
5．◇鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。

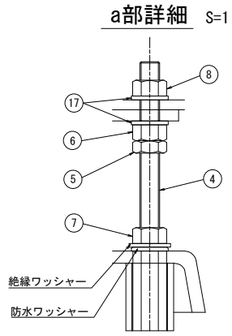
凡例

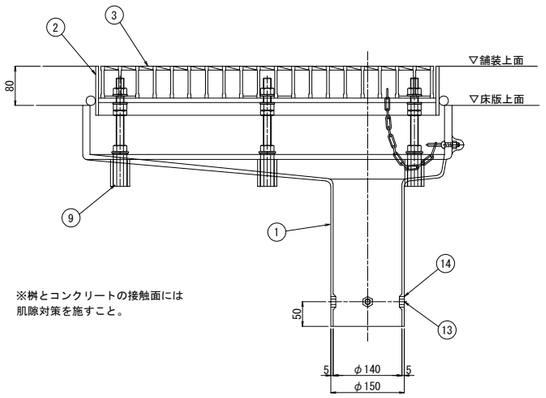
（※率計上項目）

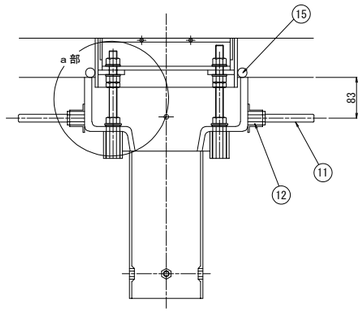
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 伸縮装置図（その２）		
縮　尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

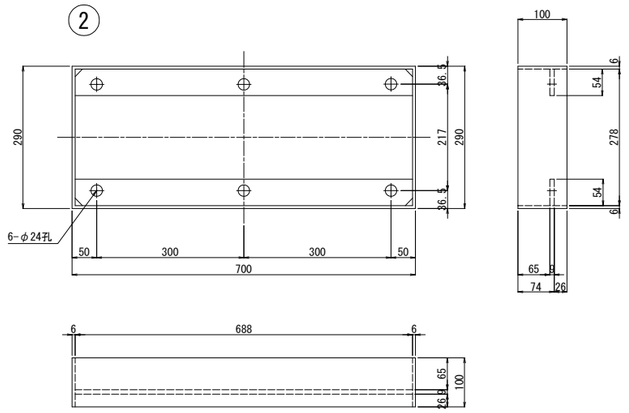
占冠ＰＡアクセス路橋 排水装置詳細図 S= 1:12.5

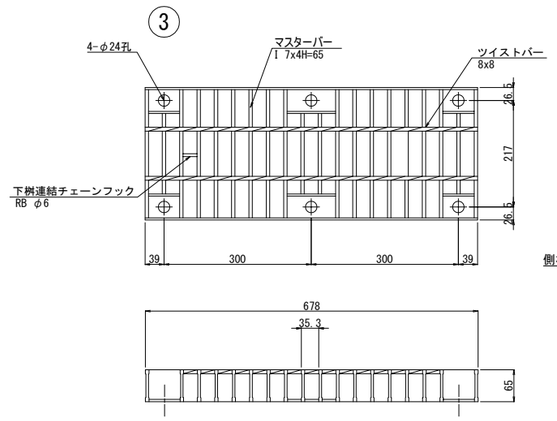


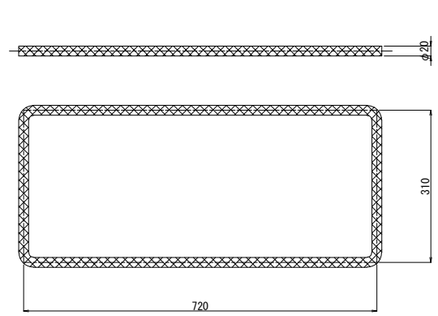


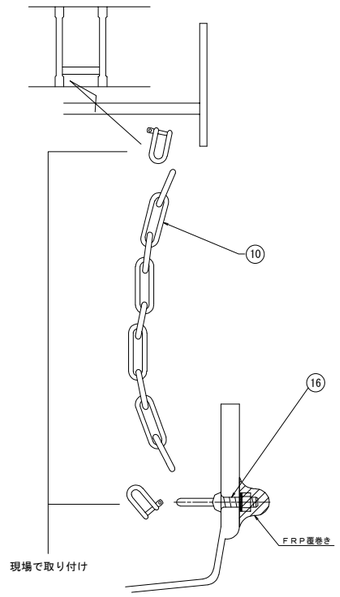


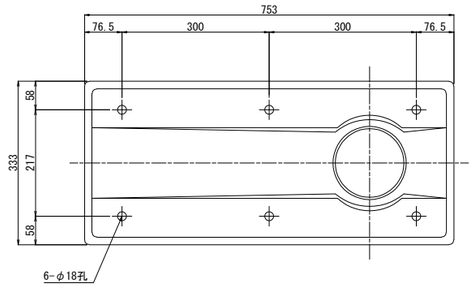


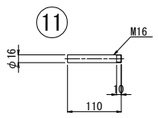


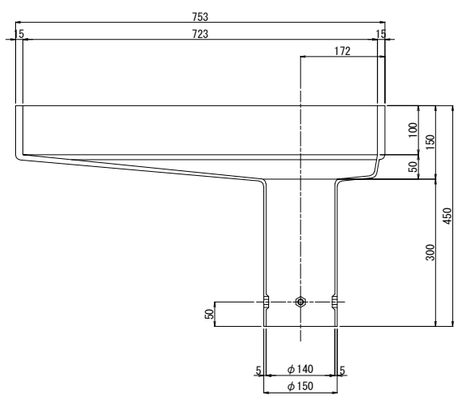


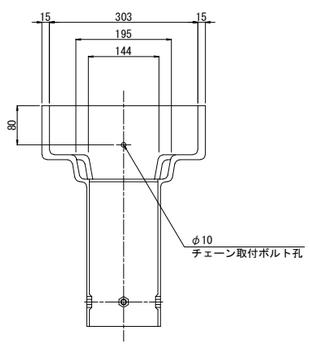












材 料 表　　FRP DRAIN TYPE KG-17

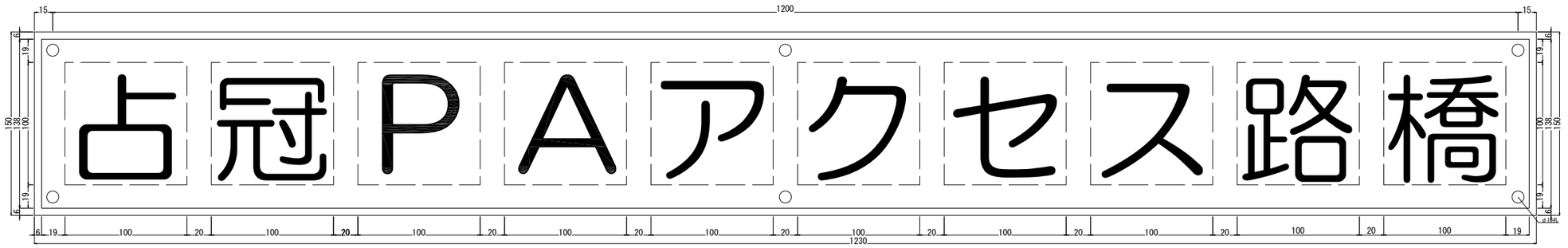
番号	部 品 名 称	材 質	寸 法	数量	重 量	備 考	
1	本体下部	FRP	333x753x450	1	13.40		
2	本体上部	SS400	290x700x100	1	14.50	溶融亜鉛メッキ (HDZ55)	
3	グレーチング	SS400	270x678x65	1	17.60	溶融亜鉛メッキ (HDZ55)	
4	調整ボルト	SS400	M16x200寸切B	6	1.89	溶融亜鉛メッキ (HDZ35)	
5	調整ナット (1)	SS400	M16 JIS 3種	6	0.12	溶融亜鉛メッキ (HDZ35)	
6	調整ナット (2)	SS400	M16 JIS 1種	6	0.15	溶融亜鉛メッキ (HDZ35)	
7	固定ナット	SS400	M16 JIS 1種	6	0.15	溶融亜鉛メッキ (HDZ35)	※1-防水w/1-絶縁w含む
8	グレーチング固定ナット	SS400	M16 JIS 1種	6	0.15	溶融亜鉛メッキ (HDZ35)	
9	支持ナット	SS400	M16x50高ナット	6	0.59	溶融亜鉛メッキ (HDZ35)	
10	チェーン	SS400	φ5x200	1	---	溶融亜鉛メッキ (HDZ35)	※2-シャックル含む
11	アンカーバー	SS400	φ16x110	6	1.04		
12	ｱﾝｶｰﾊﾞｰ用ｲﾝｻｰﾄﾅｯﾄ	SS400	M16x30高ナット	6	0.35	溶融亜鉛メッキ (HDZ35)	
13	排水管固定ボルト	SS400	M10x35	4	0.14	溶融亜鉛メッキ (HDZ35)	
14	排水管固定用ｲﾝｻｰﾄﾅｯﾄ	SS400	M10	4	0.04	溶融亜鉛メッキ (HDZ35)	
15	ベーブドレーン	ポリエステル	φ20	1	---		
16	アイボルト	SS400	M8	1	---	溶融亜鉛メッキ (HDZ35)	※ナット、ゴムW含む
17	平座金	SS400	呼び16並丸	8	0.09	溶融亜鉛メッキ (HDZ35)	
合 計 重 量					50.21 kg		

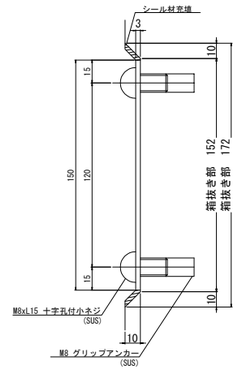
注）1. 本図面は縮小図のため、
縮尺は表示と異なる。
2. 面取りは全てR10とする。

道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 排水装置詳細図		
縮　尺	図 示	図面番号	-
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

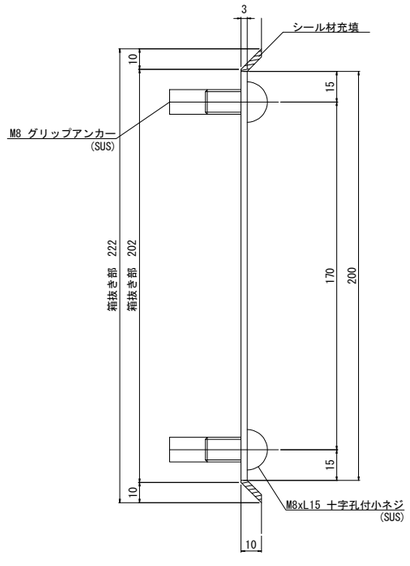
占冠ＰＡアクセス路橋　橋名板・橋歴板　S=1:3

橋名板　　S=1:4

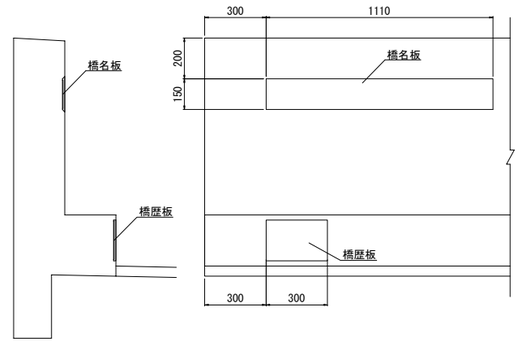




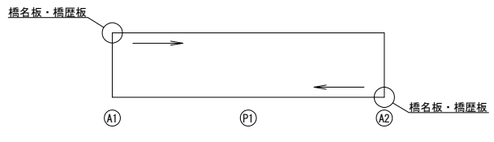
橋歴板　　S=1:3



橋名板・橋歴板設置位置図



配　置　図

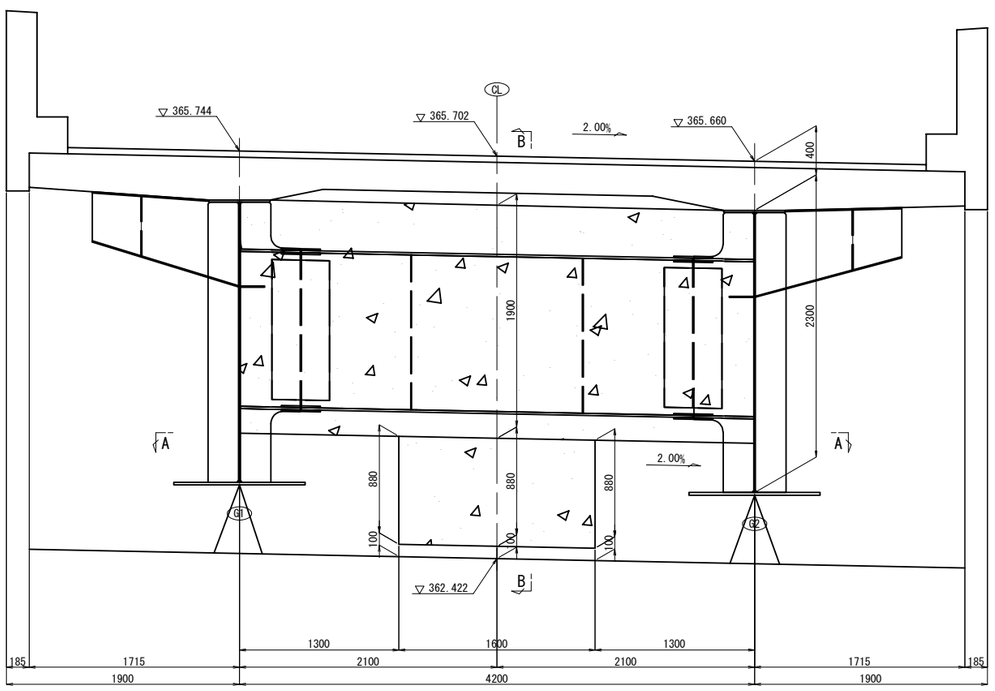


注記
1．JIS H4000 A 5052P（アルミニウム板）
2．表面は高耐候性フィルム被覆とする。
3．地：黒色　　文字：金文字とする。
4．字体は橋名板は丸ゴシック、橋歴板はゴシックとする。
5．取付後、シール材を施すものとする。

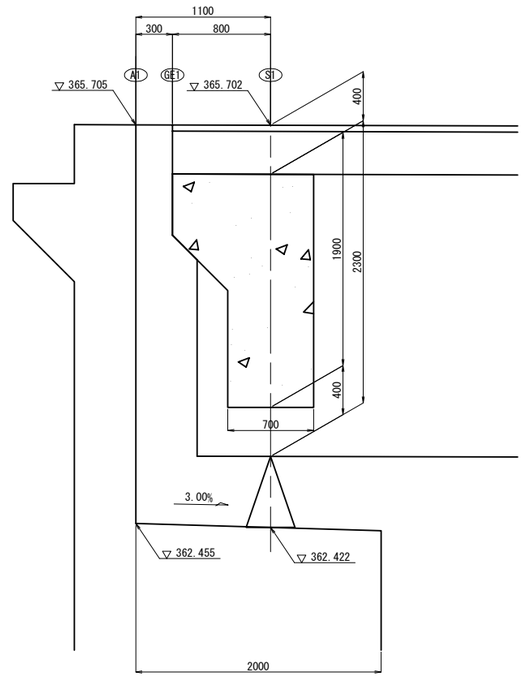
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 橋名板・橋歴板		
縮　　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　段差防止配置図（その１）S=1:50

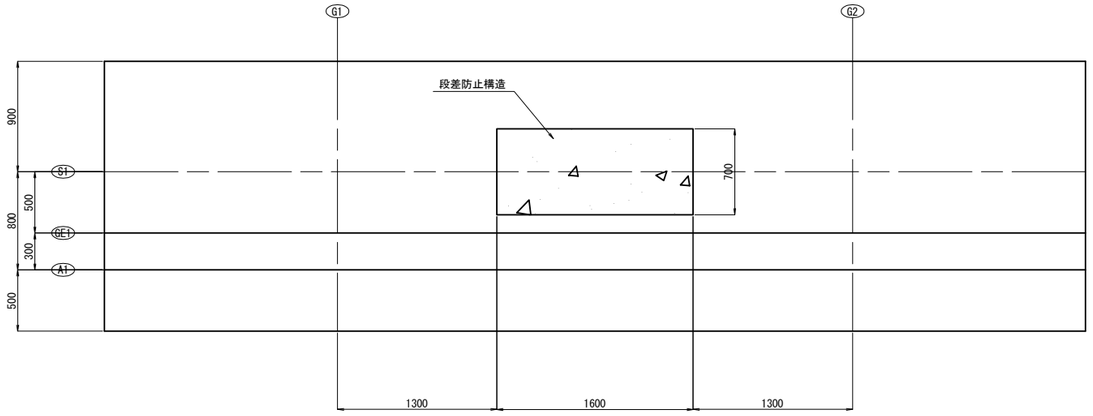
S1



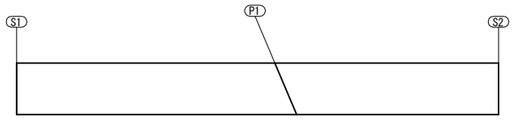
B － B



A － A



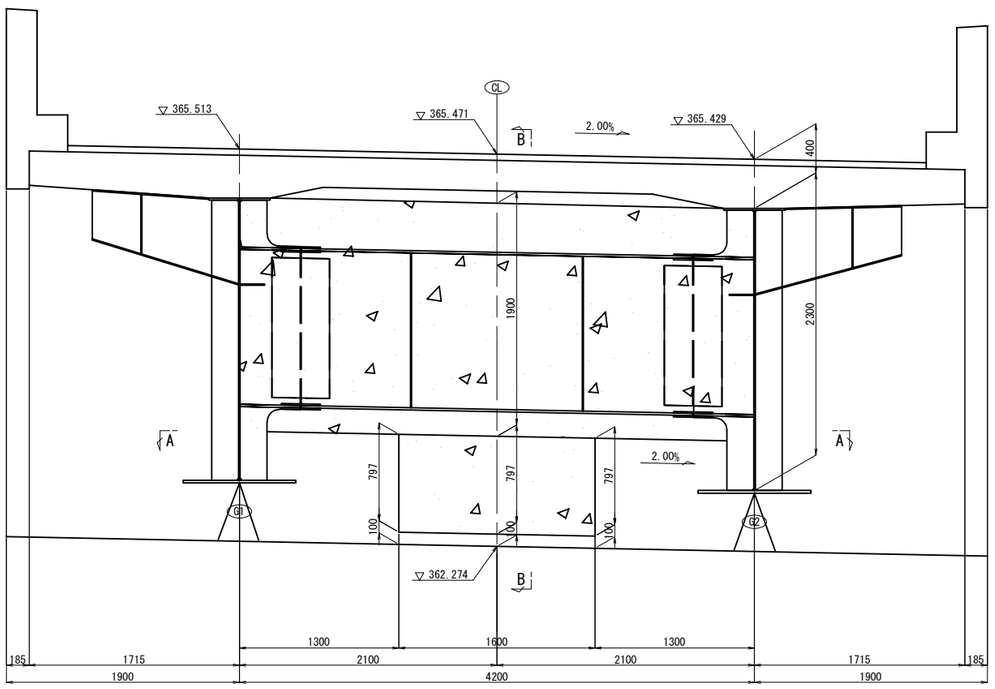
配　置　図



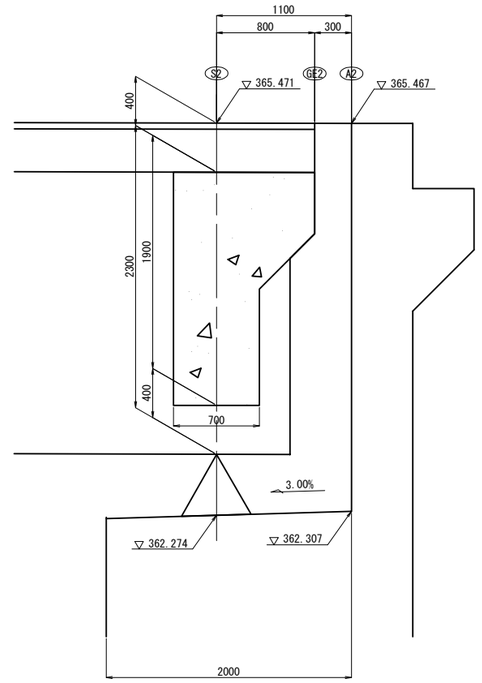
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事				
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 段差防止配置図（その１）			
縮　　尺	図 示	図面番号	－	
設計会社名	株式会社　建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所			

占冠ＰＡアクセス路橋　段差防止配置図（その２）S=1:50

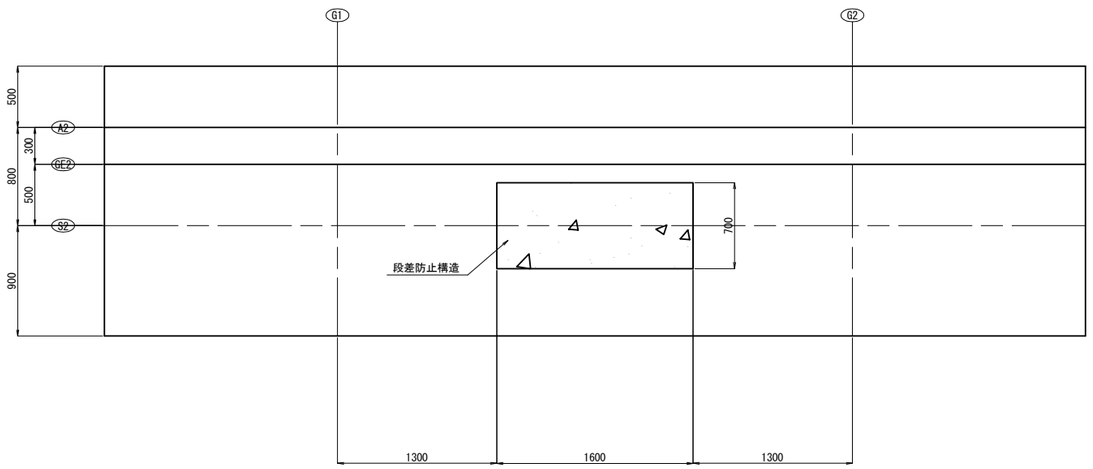
S2



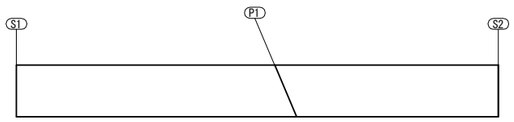
B － B



A － A



配　置　図

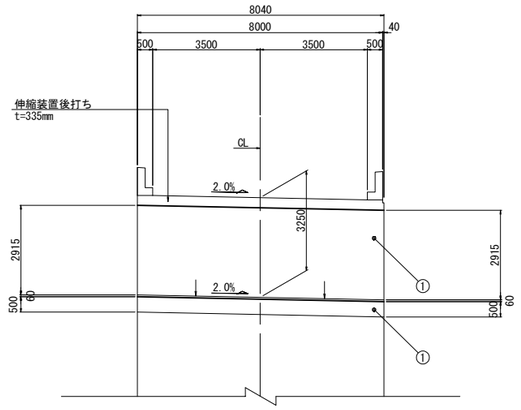


道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 段差防止配置図（その２）		
縮　　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

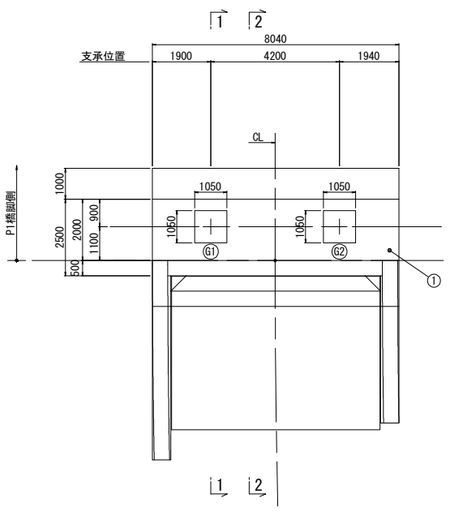
占冠ＰＡアクセス路橋　コンクリート表面被覆工詳細図 S=1:200

【A1橋台】

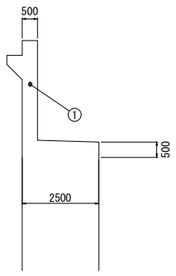
正　面　図



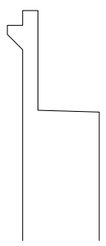
平　面　図



1 － 1

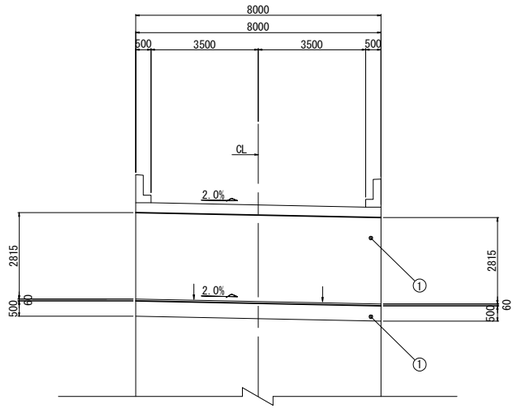


2 － 2

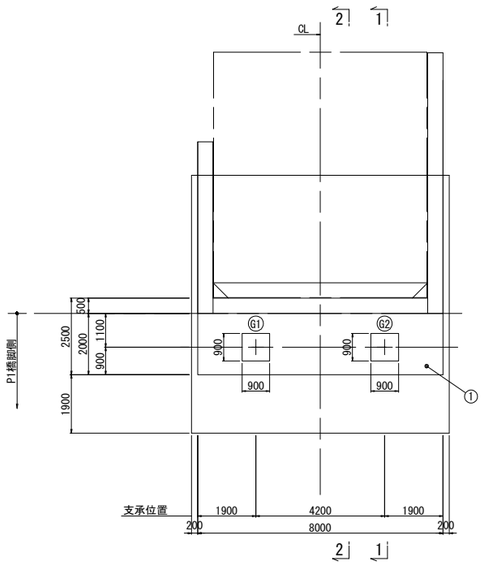


【A2橋台】

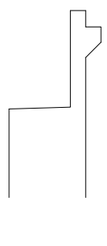
正　面　図



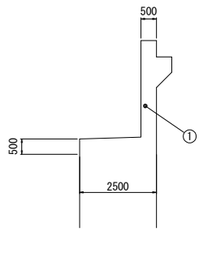
平　面　図



2 － 2



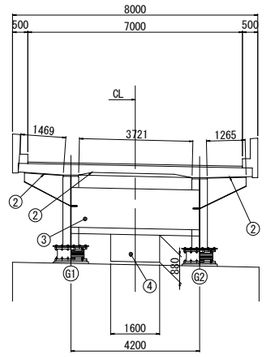
1 － 1



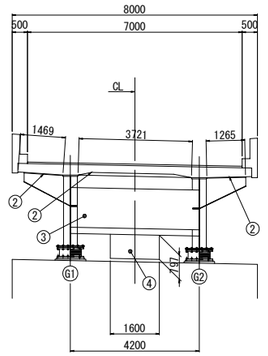
上部工側

上部工断面図

端支点上横桁部　S1

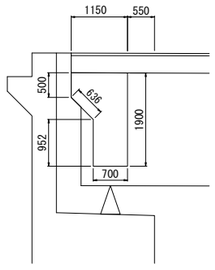


端支点上横桁部　S2

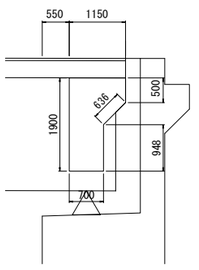


側　面　図 S=1:125

S1支点上



S2支点上



数量表（A1橋台側）

(m2)

橋台部	①	46.8
床版下面	②	11.0
巻き立てコンクリート	③	18.6
段差防止構造	④	5.2
合計		81.6

数量表（A2橋台側）

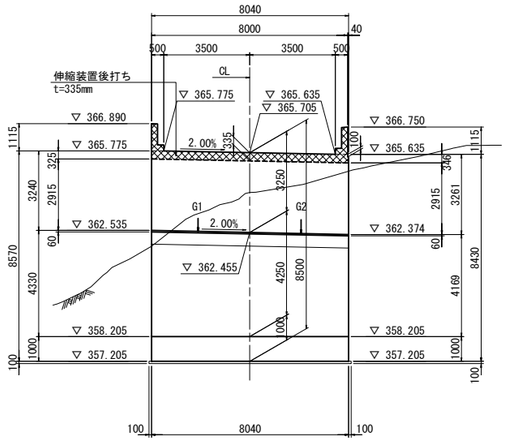
(m2)

橋台部	①	46.2
床版下面	②	11.0
巻き立てコンクリート	③	18.6
段差防止構造	④	4.8
合計		80.6

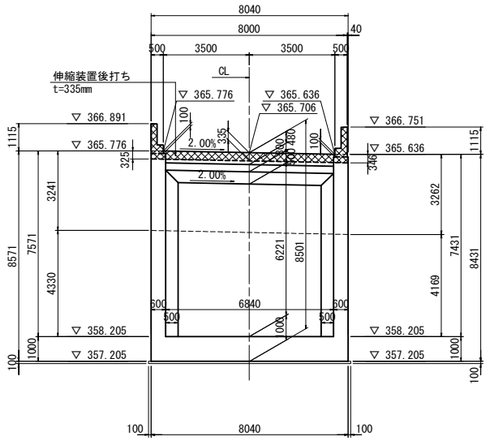
道東自動車道 本流覇川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 コンクリート表面被覆工詳細図		
縮　　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ１橋台構造一般図（その１）　S= 1:250

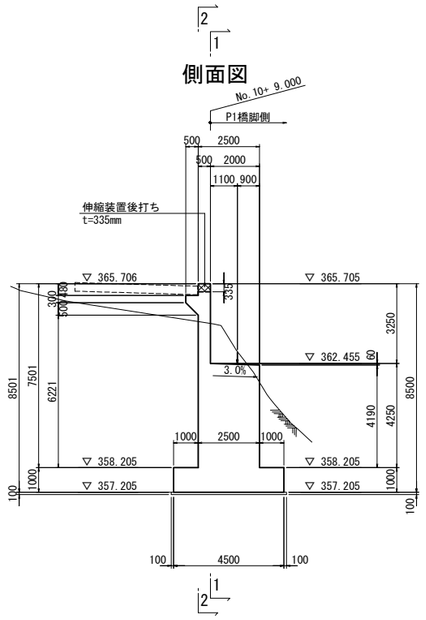
正面図
1-1



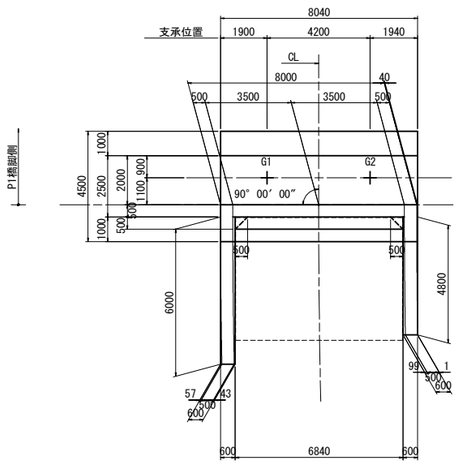
背面図
2-2



側面図

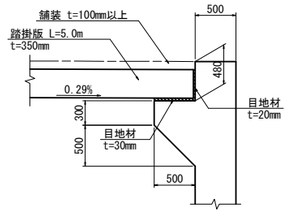


平面図



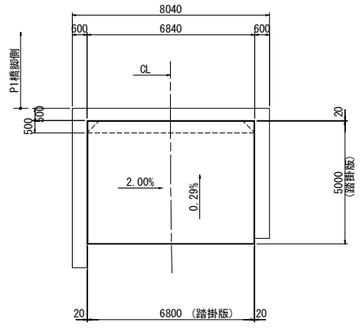
踏掛版詳細図

側面図　S=1:75



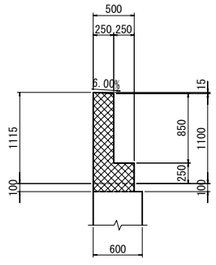
※：縦断勾配は、踏掛版延長方向(L=5.0m)を示す。

平面図　S=1:250

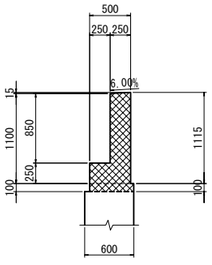


壁高欄詳細図　S=1:75

左側



右側

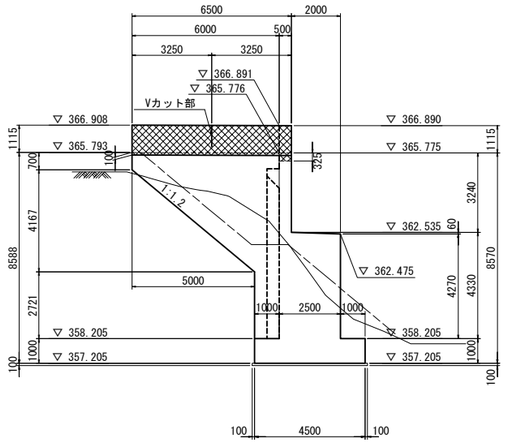


注）：▨ 本工事施工範囲を表す。

道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ１橋台構造一般図（その１）		
縮　　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

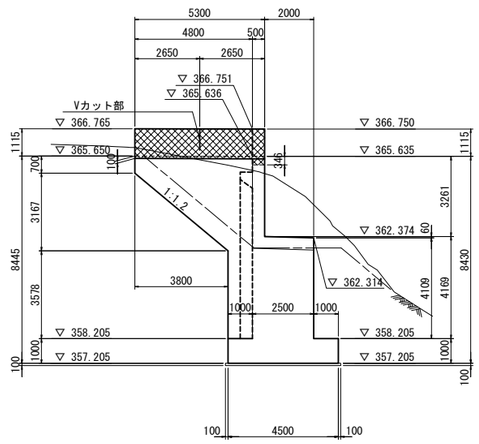
占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ１橋台構造一般図（その２）　S= 1:250

左翼壁



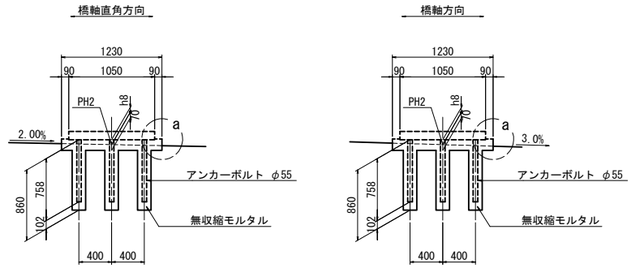
DL= 355.0

右翼壁

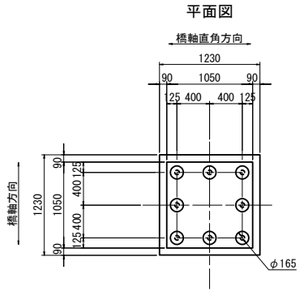


支承部詳細図　S=1:75

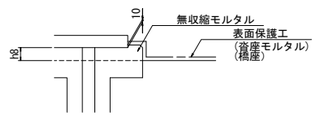
G1,G2



平面図

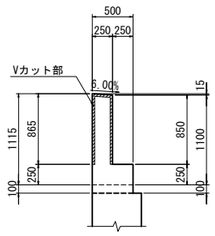


″a″部詳細図　S=1:25

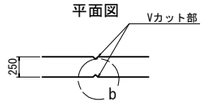


Vカット部詳細図　S=1:75

断面図

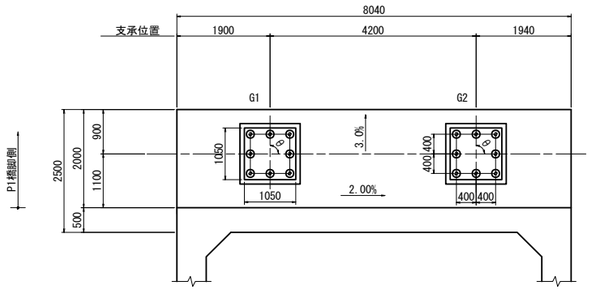


平面図



″ b ″部詳細図　S=1:25

支承配置図　S=1:125

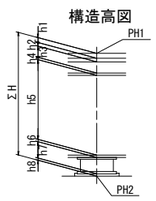


構造高表

（単位:m）

		G1	G2
路面計画高	PH1	365.744	365.660
舗装厚	h1	0.050	0.050
床版厚	h2	0.250	0.250
ハンチ高	h3	0.100	0.100
桁高	h4	2.300	2.300
下フランジ厚	h5	0.022	0.022
ソールプレート厚	h6	0.040	0.040
支承高	h7	0.458	0.458
調整モルタル厚	h8	0.060	0.060
合計	ΣH	3.280	3.280
下部工天端標高	PH2	362.464	362.380
支承座標	X	-108664.3935	-108668.4340
	Y	15544.6773	15545.8239
支承設置角度	θ	90° 00′ 00″	90° 00′ 00″

構造高図

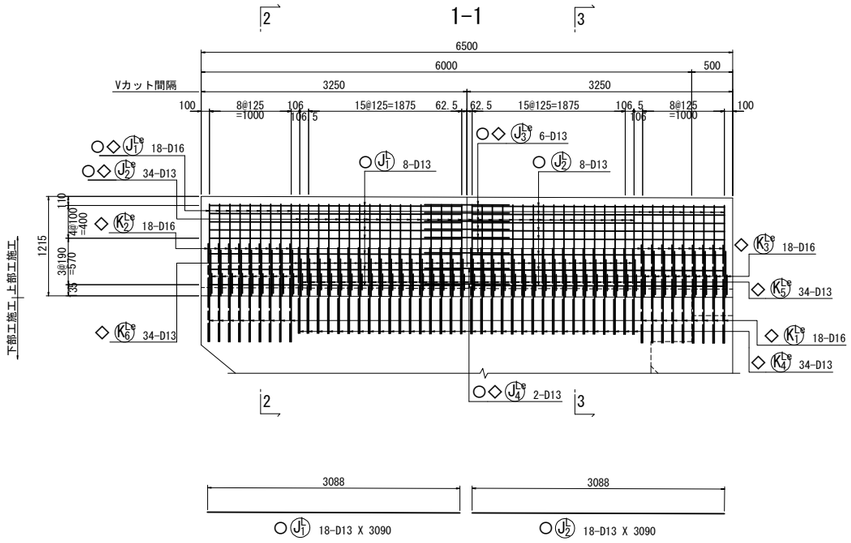


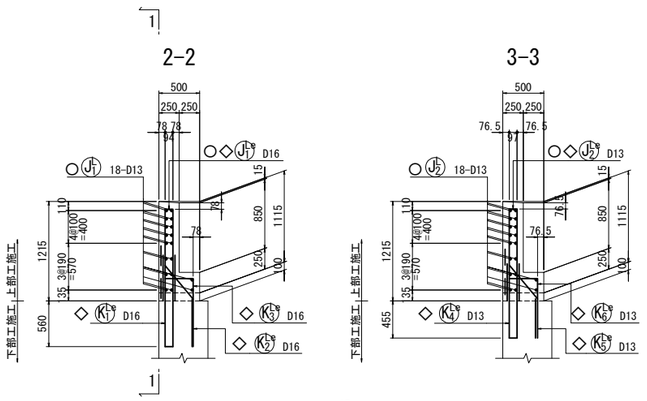
注）：▨ 本工事施工範囲を表す。

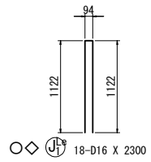
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ１橋台構造一般図（その２）		
縮　　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

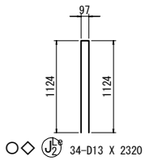
占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ１橋台配筋図（その１）　S= 1:125

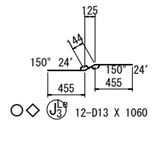
左側壁高欄

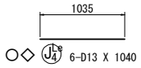


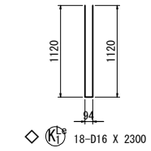


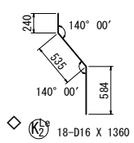


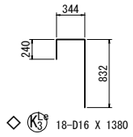


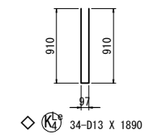


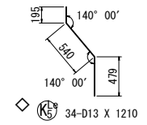


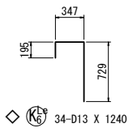




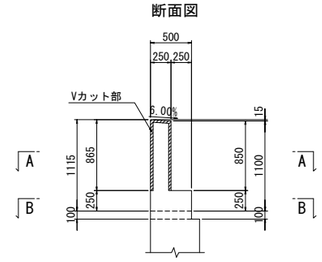




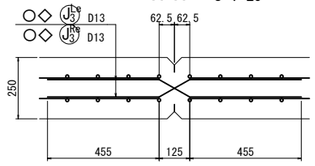




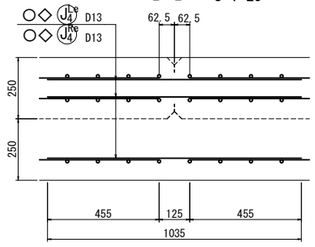
Vカット部詳細図



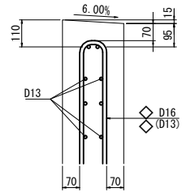
A-A　S=1:25



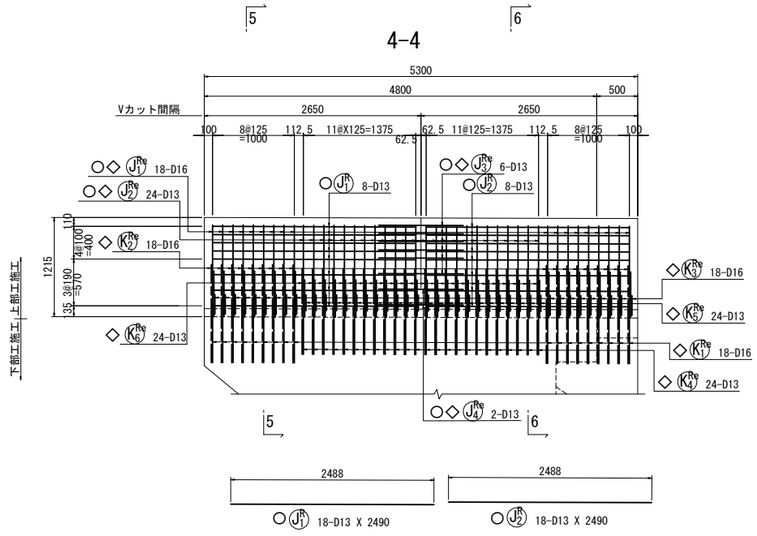
B-B　S=1:25

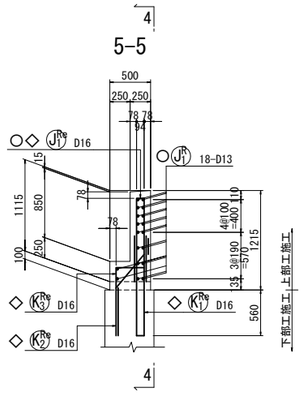


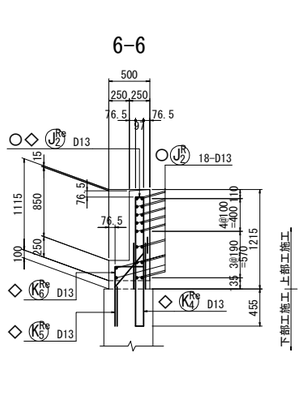
かぶり詳細図　S=1:25

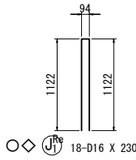


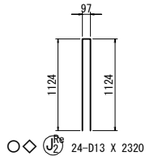
右側壁高欄

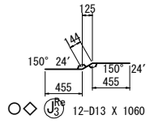


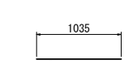


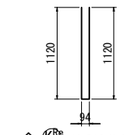


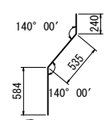


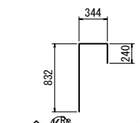


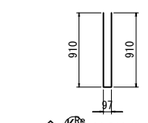


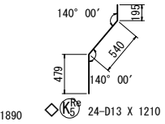


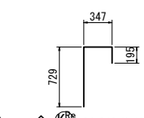












注1）○鉄筋は本工事施工鉄筋を表す。
注2）◇鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3）鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ１橋台配筋図（その１）		
縮　　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ１橋台配筋図（その２）

鉄筋質量表（上部工施工）　普通鉄筋

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
J^{L}_{1}	D13	3090	18	0.995	3.07	55	——
J^{L}_{2}	〃	3090	18	0.995	3.07	55	——
						110	
J^{R}_{1}	D13	2490	18	0.995	2.48	45	——
J^{R}_{2}	〃	2490	18	0.995	2.48	45	——
						90	

	A	B	C	A+B+C
合　計 D13	200 kg	−	−	200 kg
総質量	200 kg	−	−	200 kg

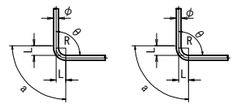
鉄筋質量表（上部工施工）　エポキシ鉄筋

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
J^{Le}_{1}	D16	2300	18	1.56	3.59	65	I
J^{Le}_{2}	D13	2320	34	0.995	2.31	79	I
J^{Le}_{3}	〃	1060	12	0.995	1.05	13	——
J^{Le}_{4}	〃	1040	6	0.995	1.03	6	——
						163	
J^{Re}_{1}	D16	2300	18	1.56	3.59	65	I
J^{Re}_{2}	D13	2320	24	0.995	2.31	55	I
J^{Re}_{3}	〃	1060	12	0.995	1.05	13	——
J^{Re}_{4}	〃	1040	6	0.995	1.03	6	——
						139	

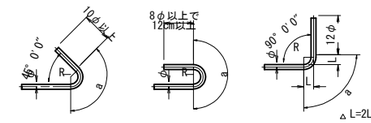
	A	B	C	A+B+C
合　計 D16	130 kg	−	−	130 kg
D13	172 kg	−	−	172 kg
総質量	302 kg	−	−	302 kg

鉄筋加工寸法表

主　筋　　せん断補強筋



鋭角フック　　半円径フック　　直角フック



	径	θ≦90° R=3.0φ	θ＞90° R=5.5φ	θ=45°		θ=60°		θ=90°		θ=135°	
				a	△L	a	△L	a	△L	a	△L
主筋	D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
	D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
	D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
	D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
	D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
	D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
	D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
	D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
	D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
	D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
	D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

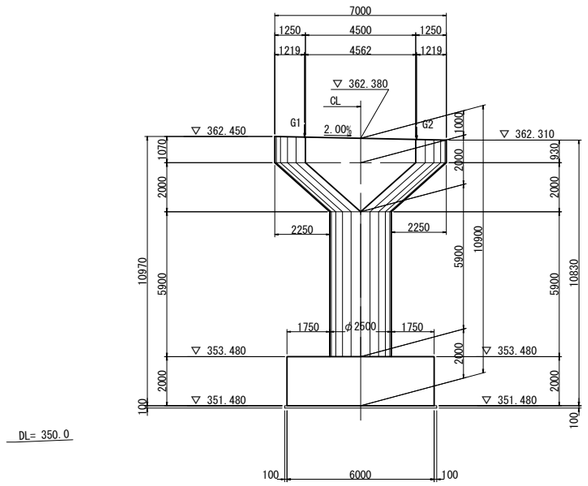
	径	R=2.5φ	θ=45°		θ=60°		θ=90°		――	
			a	△L	a	△L	a	△L		
せん断補強筋及び帯鉄筋	D13	32.5	77	80	68	45	51	14	——	
	D16	40	94	99	84	55	63	17	——	
	D19	47.5	112	117	99	66	75	20	——	
	D22	55	130	136	115	76	86	24	——	
	D25	62.5	147	155	131	86	98	27	——	
	D29	72.5	171	179	152	99	114	31	——	
	D32	80	188	198	168	110	126	34	——	

	径	R=3.0φ	鋭角フック	半円径フック	直角フック	
			a	a	a	△L
フック	D13	39	92	123	61	17
	D16	48	113	151	75	21
	D19	57	134	179	89	25
	D22	66	156	207	104	28
	D25	75	177	236	118	32
	D29	87	205	273	137	37
	D32	96	226	302	151	41

道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事	
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ１橋台配筋図（その２）
縮　尺	図 示　　図面番号　−
設計会社名	株式会社　建設技術研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所

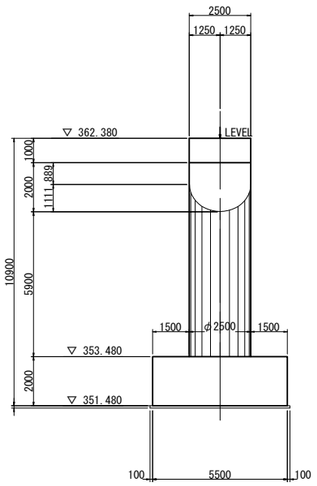
占冠ＰＡアクセス路橋 P1橋脚構造一般図　S= 1:250

正面図



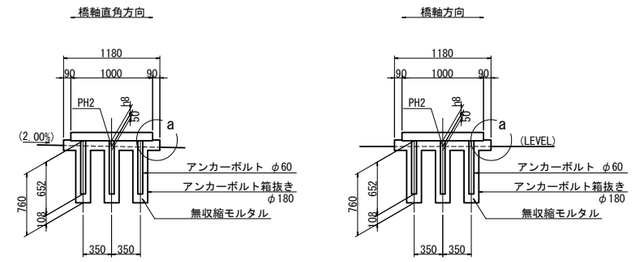
DL= 350.0

側面図

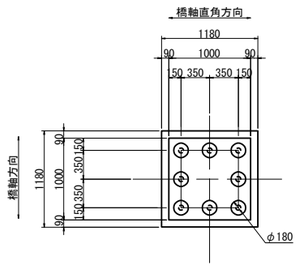


支承箱抜き詳細図　S=1:75

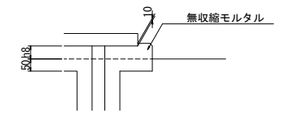
G1, G2



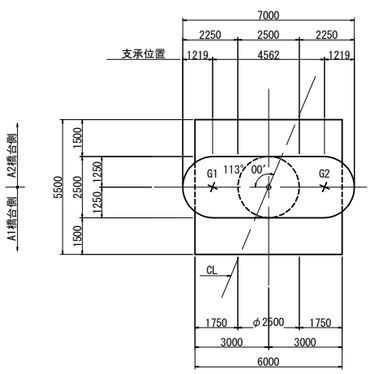
平面図



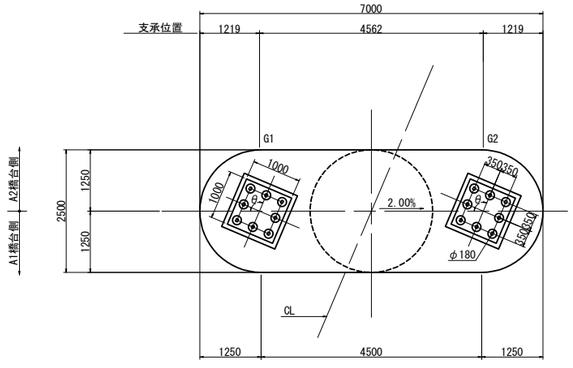
"a"部詳細図　S=1:25



平面図



橋座平面図　S=1:125

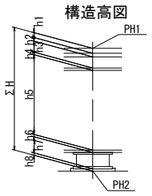


構造高表

（単位：m）

		G1	G2
路面計画高	PH1	365.618	365.529
舗装厚	h1	0.050	0.050
床版厚	h2	0.250	0.250
ハンチ高	h3	0.100	0.100
桁高	h4	2.300	2.300
下フランジ厚	h5	0.051	0.053
ソールプレート厚	h6	0.040	0.040
支承高	h7	0.333	0.333
調整モルタル厚	h8	0.068	0.069
合計	ΣH	3.192	3.195
下部工天端標高	PH2	362.426	362.334
支承座標	X	-108652.5973	-108656.1510
	Y	15586.2445	15589.1062
支承設置角度	θ	113° 00′ 00″	113° 00′ 00″

構造高図



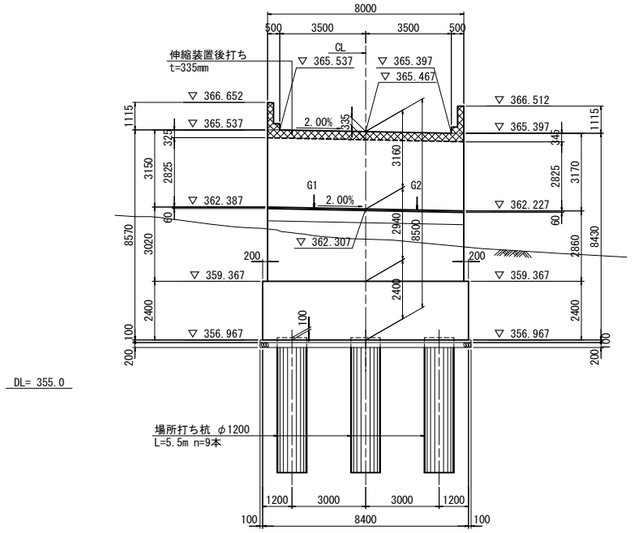
使用材料一覧表

使用区分	コンクリート設計基準強度	鉄筋種別
躯　　体	σck = 30 N/mm2	SD345
フーチング	σck = 24 N/mm2	SD345
均しコンクリート	σck = 18 N/mm2	----

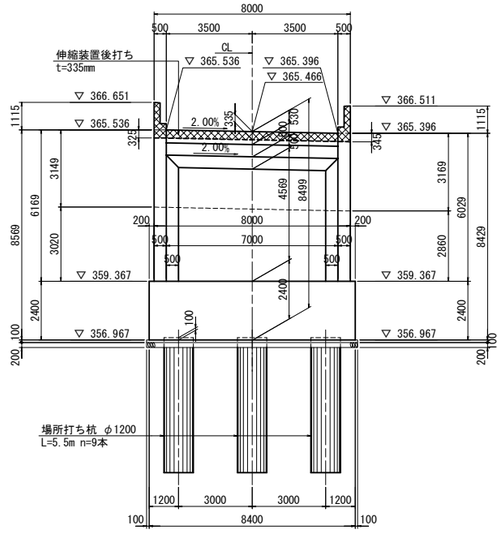
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 P1橋脚構造一般図		
縮　　尺	図 示	図面番号	-
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ２橋台構造一般図（その１）　S= 1:250

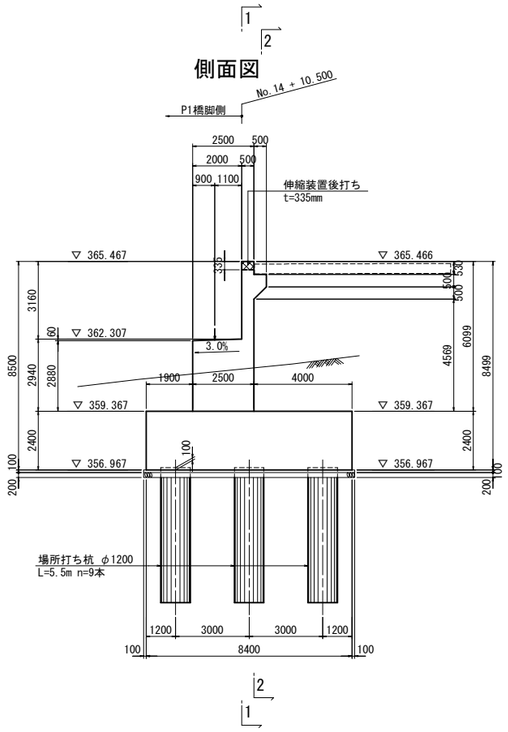
正面図
1-1



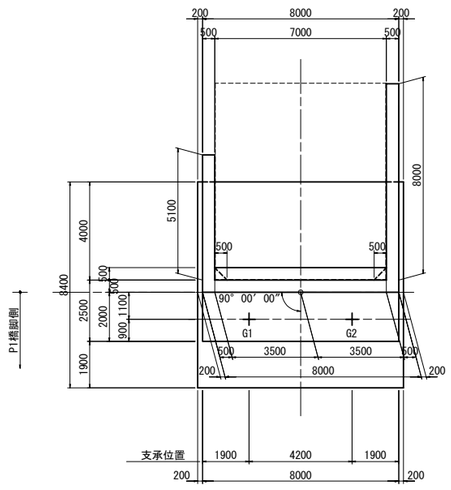
背面図
2-2



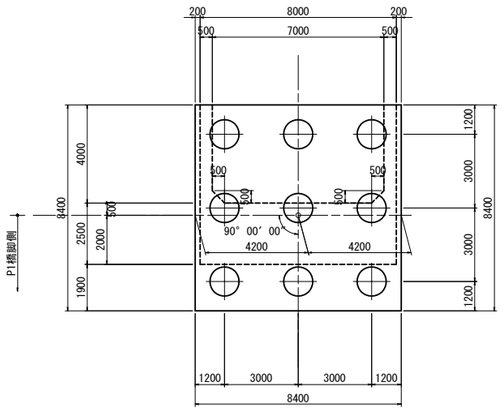
側面図



平面図

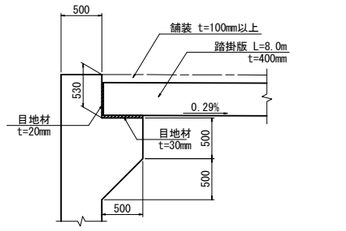


基礎平面図



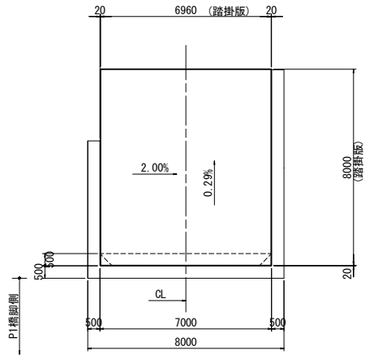
踏掛版詳細図

側面図　S=1:75



※：縦断勾配は、踏掛版延長方向(L=8.0m)を示す。

平面図　S=1:250

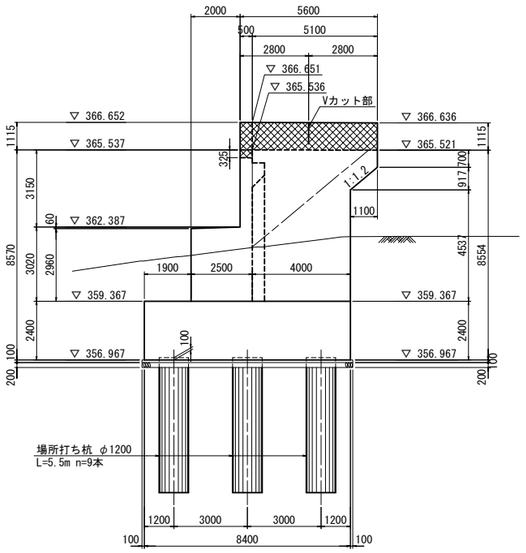


注）：▨ 本工事施工範囲を表す。

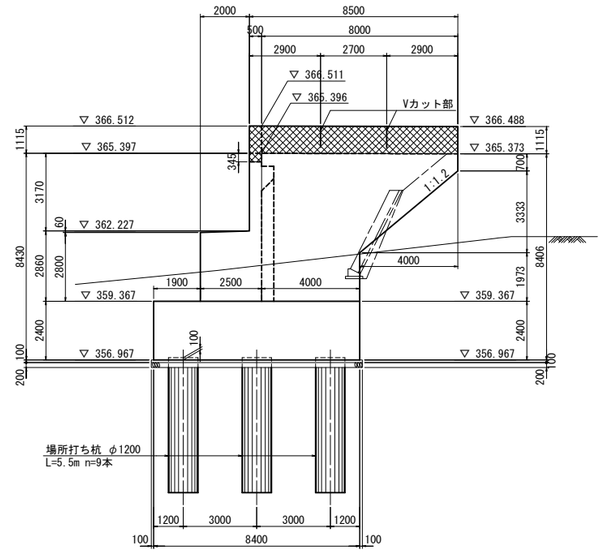
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ２橋台構造一般図（その１）		
縮　　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ２橋台構造一般図（その２）　S= 1:250

左翼壁

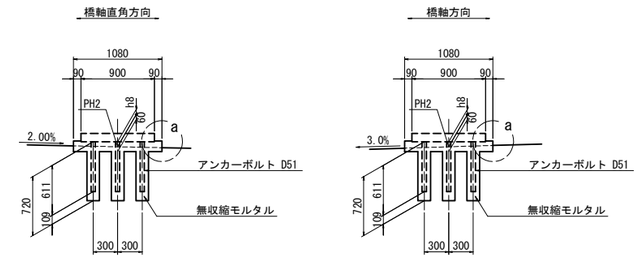


右翼壁

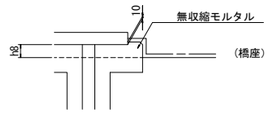


支承部詳細図　S=1:75

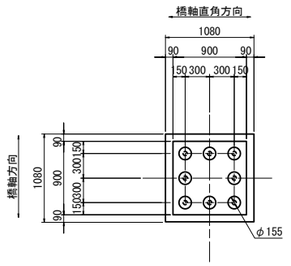
G1,G2



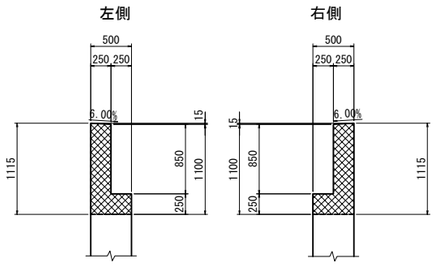
″a″部詳細図　S=1:25



平面図

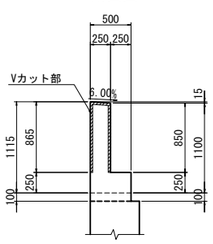


壁高欄詳細　S=1:75

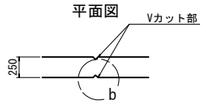


Vカット部詳細図　S=1:75

断面図

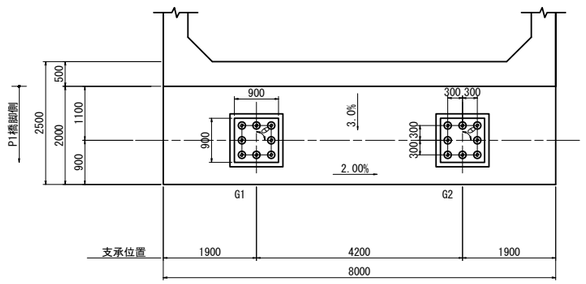


平面図



″ b ″部詳細図　S=1:25

支承配置図　S=1:125

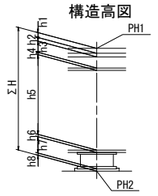


構造高表

（単位:m）

		G1	G2
路面計画高	PH1	365.513	365.429
舗装厚	h1	0.050	0.050
床版厚	h2	0.250	0.250
ハンチ高	h3	0.100	0.100
桁高	h4	2.300	2.300
下フランジ厚	h5	0.022	0.022
ソールプレート厚	h6	0.039	0.039
支承高	h7	0.374	0.374
調整モルタル厚	h8	0.062	0.062
合計	ΣH	3.197	3.197
下部工天端標高	PH2	362.316	362.232
支承座標	X	-108642.7441	-108646.7846
	Y	15620.9649	15622.1115
支承設置角度	θ	90° 00′ 00″	90° 00′ 00″

構造高図

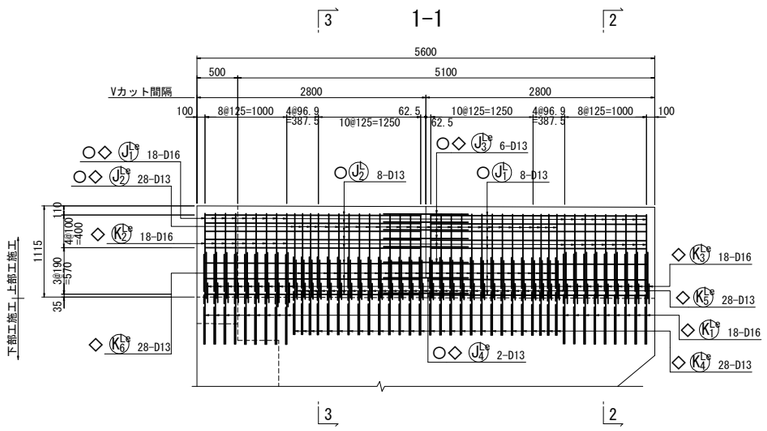


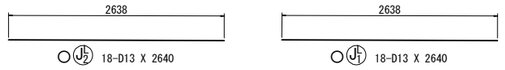
注）：▨ 本工事施工範囲を表す。

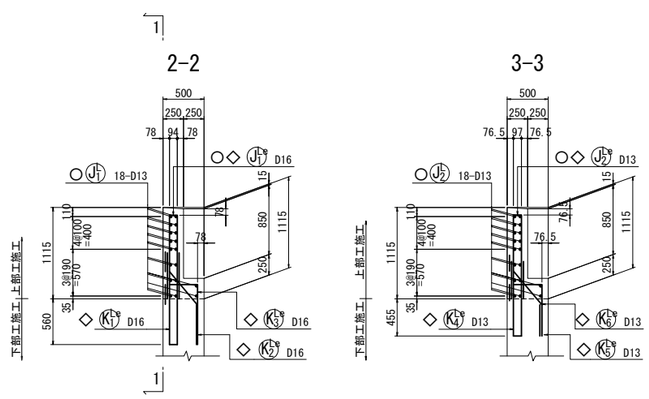
道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ２橋台構造一般図（その２）		
縮　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

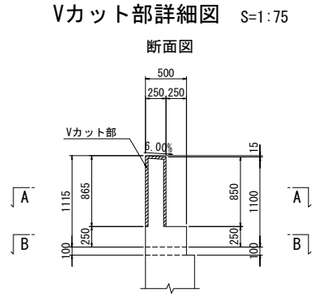
占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ２橋台配筋図（その１）　S= 1:75

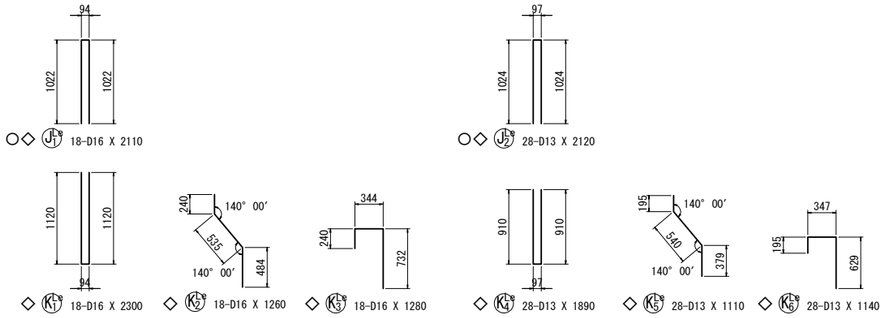
左側壁高欄

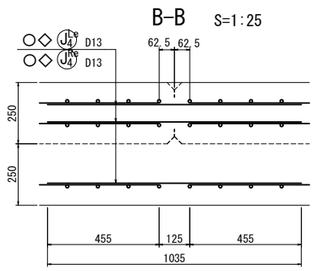




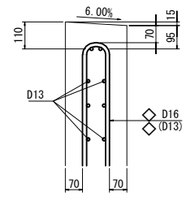




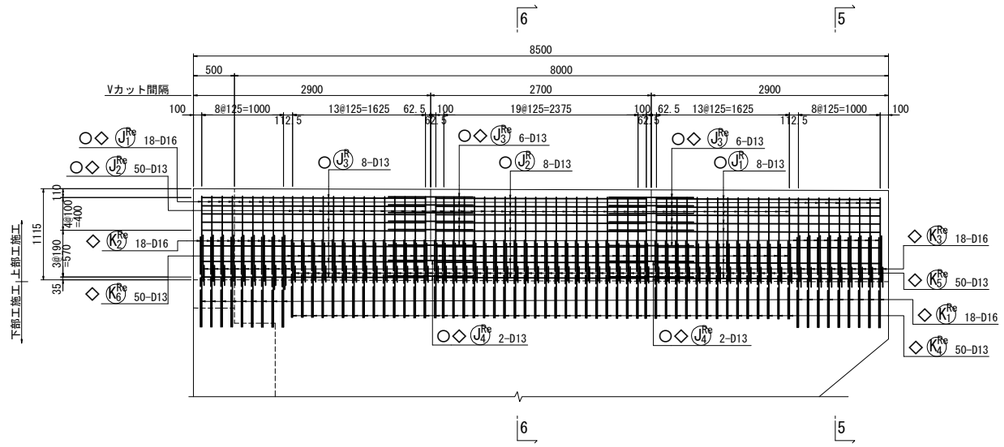


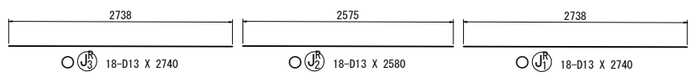


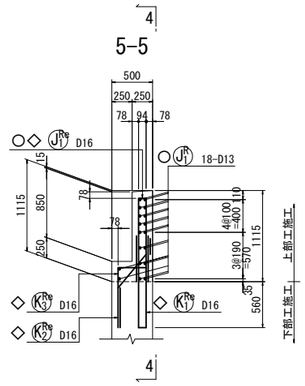
かぶり詳細図 S=1:25

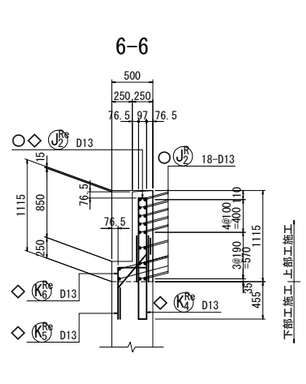


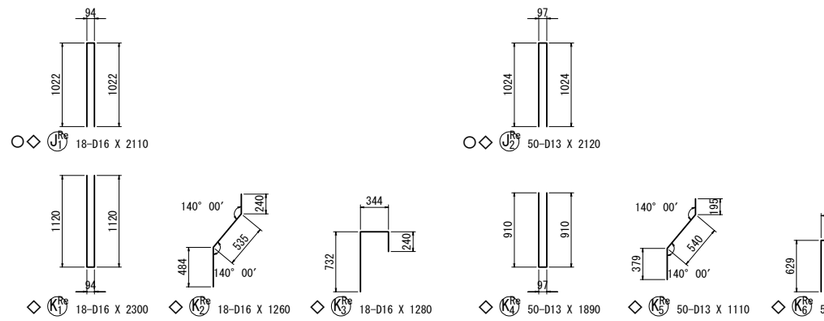
右側壁高欄











注1）○鉄筋は本工事施工鉄筋を表す。
注2）◇鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を表す。
注3）　鉄筋長は切上げの10mm丸めとする。

道東自動車道 本流鵡川第一橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ２橋台配筋図（その１）		
縮　尺	図 示	図面番号	－
設計会社名	株式会社　建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所		

占冠ＰＡアクセス路橋　Ａ２橋台配筋図（その２）

鉄筋質量表

普通鉄筋

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
J^{L}_{1}	D13	2640	18	0.995	2.63	47	——
J^{L}_{2}	〃	2640	18	0.995	2.63	47	——
						94	
J^{R}_{1}	D13	2740	18	0.995	2.73	49	——
J^{R}_{2}	〃	2580	18	0.995	2.57	46	——
J^{R}_{3}	〃	2740	18	0.995	2.73	49	——
						144	
		A		B	C	A+B+C	
合　計 D13		238 kg		−	−	238 kg	
総質量		238 kg		−	−	238 kg	

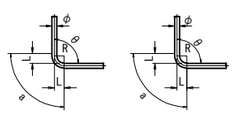
鉄筋質量表

エポキシ鉄筋

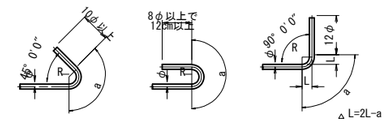
記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
J^{Lg}_{1}	D16	2110	18	1.56	3.29	59	
J^{Lg}_{2}	D13	2120	28	0.995	2.11	59	
J^{Lg}_{3}	〃	1060	12	0.995	1.05	13	——
J^{Lg}_{4}	〃	1040	6	0.995	1.03	6	——
						137	
J^{Rg}_{1}	D16	2110	18	1.56	3.29	59	
J^{Rg}_{2}	D13	2120	50	0.995	2.11	106	
J^{Rg}_{3}	〃	1060	24	0.995	1.05	25	——
J^{Rg}_{4}	〃	1040	12	0.995	1.03	12	——
						202	
		A		B	C	A+B+C	
合　計 D16		118 kg		−	−	118 kg	
D13		221 kg		−	−	221 kg	
総質量		339 kg		−	−	339 kg	

鉄筋加工寸法表

主筋　　せん断補強筋



鋭角フック　　半円径フック　　直角フック



	径	θ≦90° R=3.0φ	θ＞90° R=5.5φ	θ=45°		θ=60°		θ=90°		θ=135°	
				a	△L	a	△L	a	△L	a	△L
主筋	D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
	D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
	D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
	D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
	D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
	D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
	D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
	D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
	D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
	D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
	D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

	径	R=2.5φ	θ=45°		θ=60°		θ=90°		
			a	△L	a	△L	a	△L	
せん断補強筋及び帯鉄筋	D13	32.5	77	80	68	45	51	14	——
	D16	40	94	99	84	55	63	17	——
	D19	47.5	112	117	99	66	75	20	——
	D22	55	130	136	115	76	86	24	——
	D25	62.5	147	155	131	86	98	27	——
	D29	72.5	171	179	152	99	114	31	——
	D32	80	188	198	168	110	126	34	——

	径	R=3.0φ	鋭角フック	半円径フック	直角フック	
			a	a	a	△L
フック	D13	39	92	123	61	17
	D16	48	113	151	75	21
	D19	57	134	179	89	25
	D22	66	156	207	104	28
	D25	75	177	236	118	32
	D29	87	205	273	137	37
	D32	96	226	302	151	41

道東自動車道 本流戸川第一橋（鋼上部工）工事	
図面の種類	占冠ＰＡアクセス路橋 Ａ２橋台配筋図（その２）
縮　尺	図 示　　図面番号　−
設計会社名	株式会社　建設技術研究所
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　北海道支社 帯広工事事務所